

第五十九回帝國議會
衆議院

米穀法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)

會議

昭和六年二月二十一日(土曜日)午前十一時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事 長野 綱良君

理事 關矢 孫一君

理事 風見 章君

理事 東郷 實君

理事 胎中楠右衛門君

佐竹 庄七君

村上 國吉君

小村 俊一君

小池 仁郎君

三田村甚三郎君

出井 兵吉君

東 武君

多木久米次郎君

石井 次郎君

同日委員原惣兵衛君辭任ニ付其ノ補闕トシテ清家吉次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 山田 道兄君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

拓務省殖産局長 殖田 俊吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

○西村委員長

ソレデハ是カラ會議ヲ開キマス

○東郷委員 私ハ昨日我國ノ農村ノ實

狀ガ、所謂恐慌時代ニ入ッテ居ルト云

フ意味カラ、現内閣ノ之ニ對スル根本

概念ヲ總理大臣ニ承ッタノデアリマス

ガ、今日ハ進ンデ此恐慌時代ニ入ッテ

居ル内容ニ付テ、少シク農林大臣ニ御

尋シテ見タイト思ヒマス、今日ノ農村

ノ非常ニ窮迫ニ陥ッタ原因、是ハ申上

ゲルマデモナク色々アリマスガ、最モ

行詰リノ根本ヲ爲シテ居ルノハ、農家

ノ收入ノ激減デアリ、其農家ノ收入ノ

激減ヲ來シタ主ナル理由ハ、農産物ノ

暴落ダラウト思ヒマス、ソコデ最近農

村ノ代表者等ガ、或ハ大藏或ハ農林當

局ヲ御尋ネシテ、此農産物ノ値下リノ

實狀ヲ懇ヘ、而シテソレカラ受ケル所

ノ打撃ノ救済ニ付テ色々陳情シテ居ル

コトハ私が申上ゲルマデモアリマセ

ヌ、ソレバカリデナイ、私共ハ今年特

ニ異常ナ、特殊ナ現象ダト思ッテ居タ

コトハ、今年ノ年賀狀——私共ニ來ル

年賀狀ノ中ニハ、此農村ノ窮迫ヲ何ト

カシテ吳レト謂ッタ意味ノコトガ盛ニ

書加ヘラレテアル、甚シキニ至ルト、

此新年ハ賀スベキモノデナイト云フ意

味デセウ、新年ヲ賀シ奉ラズ候ト云ッ

タ年賀狀ガ飛込ンデ來ル、是ハ本當ニ

農村ノ今日ノ窮狀ヲ、偽ハラザル告白

トシテ年賀狀ニ書イタモノデアルト思

ヒマスガ、ソレ程今日農村ハ行詰ッテ、

而シテ其結果ガ今日ノ農業恐慌時代ヲ

出現シタ、即チ今日ノ農業ハ儲カラヌ、

儲カラヌカラソコニ農民ノ生活ノ惱ミ

ヲ見テ居ル、斯ウ云フコトダラウト思

ヒマスカラ、ドウシテモ此事ヲハッキリ

サセナケレバナラヌ、ソコデ私ハ先ヅ

第一ニ此意味ニ於テ農林大臣ニ御伺ヒ

シマスガ、此農産物ノ大暴落、其原因

ガ一體何處ニアルカ、政府當局ハ他ノ

機會ニ於テ色々御説明ニナッテ居リマ

スケレドモ、私達ニハマダ會得シ得ナ

イ、納得シ得ナイ點ガ多イノデアリマ

スカラ、農林大臣ガ此意味ニ於テ、特

ニハッキリ農産物ノ下落ノ原因ニ付テ

御説明下サレバ仕合セト思ヒマス

○町田國務大臣 農村ノ經濟狀態ノ、

近來稀ナル悲況ニ陥ッテ居ルコトハ御

同感デアリマシテ、當局者トシテハ出

來ルダケ之ヲ緩和シ、救済シタイト日

夜努力シテ居ル次第デアリマス、唯農

産物ノ價格ノ下落シタ原因ヲ、此處ニ

ハッキリト申述ベロト云フ御註文ニ對

シテハ、或ハ御満足ヲ得ルヤウナ答辯

ヲ、此席デ簡單ニ申述ベルト云フコト

ハ困難カモ知レマセヌ、併シ從來ノ農

村ニモ、相當不景氣、不振ヲ來シテ居

ル原因ハアリマスガ、就中昨年来農

産物ノ暴落シタ事情ハ、東郷君ガ御承

知ノ通り經濟上ノ原因モアリマセウ、

併シ往々經濟上以外ノ心理的作用ニ

依ッテ、物價ノ高低ガ生ズル場合ノ多イ

コトハ東郷君ノ御承知ノ通りデアリマ

スカラ、東郷君邊リノ平生御研究ニナッ

テ居ル「サイコロジカリー」ニ生ジタ原

因ヲ、此處デドノ程度ト申スコトハ出

來マスマイト思ヒマスガ、私ハヤハリ

心理作用モ農産物ノ物價ノ高低ニ多少

原因ヲ爲シテ居ルコト、思ヒマス、併

シ其原因ハ姑ク除イテ、私共考ヘテ居

リマスルノハ、第一ハ農産物ガ前年以

上ニ供給ノ分量ガ多カッタト云フコト

モ一ツノ原因ト思ッテ居ル、又經濟界全

體ノ不振ニ伴ッテ、消費ノ分量モ或ル程

度ニ減ッテ居ルト云フコトモ一ツノ原

因ト考ヘマス、同時ニ餘リ農産物ノ方面ニハアリマセスト思ヒマスガ、本會議ニ於テ、私ハ農村不振ノコトニ對スル東君デアリマシタカノ御尋ニ對シテ、農産物下落ノ原因ヲ申述べタ時ニ政友會ノ側カラ御賛成ノ聲モ聞エタ通り、公私經濟ニ於ケル消費節約ノ宣傳ヲシテ、從來弛ンデ居ッタ國民生活ヲ緊張サスル間ニ於テ、戰時中弛ミマシタ生活ニ相當ナ緊張味ガ加ッタ爲ニ、此間ニ自ラ——餘リ關係ガ多クハアリマセマスガ、農産物等ニ於テモ多少節約緊縮ノ意味ガ幾分力加ッテ居ルコトハアリ得ラル、ト私ハ思ヒマス、同時ニ世界一般ノ不景氣ガ日本ノ農産物ニ直接ニ及ビマシタノハ、生絲ガ最モデアリマ

タニ拘ラズ、國稅、就中町村財政ノ膨脹ノ爲ニ府縣町村稅ノ農家ノ負擔ガ、不景氣時代ニ於テモ減ジナイト云フコトガ非常ナ苦痛ヲ與ヘテ居ルコト、思ッテ、出來ル限リハ地租其他ノ點ニ於テ、地方財政ヲ緊縮シ、全國ニ互ル所ノ農民ノ負擔ヲ減ズルコトニ努メテ居ル次第デアリマス、農産物下落ノ原因トシテ只今御尋ニナッタコトニ對シテ、學者ノ方カラ之ヲ順序正シク申シマセマスガ、只今ノ御尋ニ對シマシテ、私ノ平生考ヘテ居ルコトヲ簡單ニ申述べマス

近年稀ナル豐作ニナッタ、ソレガ確ニ米價ガ最近暴落シタ一ツノ原因ニナッテ居ルニハ違ヒナイ、併ナガラ非常ナ増收デアリマスケレドモ、平年ニ比シテ僅ニ一割餘ノ增收、所ガ米價ハ四割以上ノ大暴落ヲ來シテ居ル、斯ウ云フ點カラ考ヘテ見マセバ、米ガ近年非常ニ下ッタト云フコトノ一ツノ原因ハ、豐作モ確ニ原因ヲ成シテ居ルガ、併シサウ云フ風ニ非常ナ、割合ニ米ノ値ガ大

ナ不景氣ヲ招來シタ、特殊ナ原因ガ我國ニナケレバナラス、然ラバ其特殊ノ原因ハ何カト申シマスルト、他ノ機會ニ於テ、他ノ同僚諸君ガ口ヲ極メテ力說セラレタヤウニ、是ハ何ト御辯解ニナッテモ、私ハ金解禁ガ一ツノ原因ヲ成シテ居ル、即チ金解禁ニ依ッテ爲替相場ガ一割何分上ッタ、此一事ガ、貨幣價値ガ上レバ物ノ値ガ下ルト云フコトハ、昨日モ申シマシタヤウニ、是ハ觀面ニ來ル、而モソレ以上ニ、今日ノ一般物價、特ニ農産物が甚シイ値下リヲシタト云フコトデアレバ、其他ニ更ニ之ニ加フベキ特殊ナ理由ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、其特殊ノ理由ハ何カト言ヘバ、是モ他ノ同僚諸君ガ度々口ヲ極メテ主張セラレタヤウニ、是ハ現内閣ノ極端ナ財政上ノ緊縮、ソレト國民ノ消費節約、此消費節約ノ結果購買力ガ非常ニ少クナル、所謂先

ガ我が國ノ商工業ニ及ンデ、其收益ガ減ッテ來ルト、從テ農業者ヲ除イタ消費

者階級ノ生活モ勢ヒ縮マラザルヲ得ナイ、是ガ縮マルニ從テ、自ラ農民ノ生活モ縮マッテ來ル、斯様ナ原因ガ相重ナルト同時ニ、從來カラアリマスル所ノ農産物ノ配給、販賣ノ方法——是ハ昨年アタリカラ特ニアルノデアリマセマスガ、從來カラ努メテ改善シタイト思ッテ居リマスル農産物ノ配給ノ方法ノ不完全ナルコト、同時ニ收入ノ減

説ノ通り確ニサウデアルト思フ、米ガ

氣ガ深刻デアルト云フナラバ、其特別

○町田國務大臣 閣僚ノ一人トシテ私

ガ此處ニ來テ、近年稀ニ見ル所ノ農村

カ、斯ウ申シマシタガ、無論私ハ先程

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

カラ申スコトモ無論當然デアリマス

ノ不況ヲ來シテ、私トシテハ殊ニ憂

農林大臣ノ仰セラレタヤウニ、一割生

是ハ今農林大臣モ御説明ニナッタ所カ

ガ、問題ノ性質ハ、財政當局者ガ主ト

慮ニ堪ヘマセスカラ、出來ルダケ政府

產ガ殖エレバ、ソレト比例シテ物價モ

ラ見テ、全然此意見ハ井上大藏大臣ト

シテ責任ヲ負フベキ問題ニ、其趣旨ガ

當局トシテ爲シ得ラル、努力ト施設ハ

一割下ル、ソシテ單純ナ考ハ持ッテ居ナ

一致シテ居ラレルヤウニ私ハ承知シタ

段々移リツ、アルヤウニ考ヘマス、此

致シテ居リマス、只一ツ東郷サンノ御

イノデス、色々ノ事情カラ、場合ニ依ッ

テハソレ以上ニモ安クナルシ、場合ニ

點ニ付キマシテハ本會議、委員會、有

考ハ左様デナカッタ知レマセヌガ、東

依ッテハ生産ガ一割殖エテモ物價ガソ

レ程下ラヌ場合ガアル、此場合ニ於テ

ユル場合ニ於テ政友會諸君カラ御質問

見トスルト、私ト少シ意見ノ異ル所ガ

一割ノ増産ニ依ッテ四割モ下ッタト云フ

コトハ、非常ニ下リ方ガ大キイカラ、

モアリ、主トシテ財政當局者モ之ヲ答

アリマス、農作物ハ供給高ガ一割位多

其處ニ外ノ原因モアル、ソレヲ申シタ

ニ、亞米利加ノ需要ガ十萬梱モ減ッタ

ハ屢、財政當局者ガ御答辯致シタ範圍

イガ、併シ供給過多ノ一割ニ對シテ價

格ハ四割五割モ下ッテ居ルモノガアル、

ニ於キマシテモ私ハ申シマシタ通り、

ヲ越シマスマイト思ヒマス、唯本會議

斯ウ云フ意味デ、後ノ一割ヲ除イタ外

意味デスカラ、其點ハ誤解ノナイヤウ

ニ御願致シテ置キマス、只今ノ農林大

ニ於キマシテモ私ハ申シマシタ通り、

政策ノ結果ニ多ク其原因ヲ歸サレタヤ

臣ノ御答辯デ、緊縮政策ガ影響シテ、

國民ノ購買力ガ減ジテ、ソレガ影響シ

言葉ノ使ヒ用ガ財政當局者ト違フカ知

ウデアリマスガ、ソレモ見方デアリマ

テ物價ノ下落ヲシテ居ルコトハ認メ

アル、同時ニ此點ガ大切ナ點デアル、

レマセヌガ、私ハ世界ノ不景氣ト云フ

ス、併シ物價高低ノ原則ハ、供給ノ高

ソレト同時ニ橫濱アタリニ二十萬梱ノ

生絲ガ停滯シテ居ルノデアアル、即チ二

大潮流ニハ、日本單リ之ニ對抗スルコ

ス、併シ物價高低ノ原則ハ、供給ノ高

十萬梱ノ生絲ノ停滯シテ居ルノハ、サ

ウ云フ意味デ停滯シテ居ルノデアアル、

トモ出來ナイ、世界ノ不景氣ハ勿論最モ

ニ正比例シテ、物價ガ騰落致スモノデ

アルト思フ、サウデナケレバナラス等デ

アル、サウコトヲ仰セラレテ居リマスガ、農

大ナル原因デアリマスガ、ソレト同時

ヤナイト云フ事ダケハ御認メ下サレ

アル、其外ニ生産過剰ト申シマスカ、

云フコトヲ仰セラレテ居リマスガ、農

ニ、農産物ノ出來高ガ例年ヨリモ多カッ

バ、農産物ノ價格ガ一割供給ガ多イ爲

ソレカラ貨幣價值ノ上ッタト云フコト

林大臣ハサウ云フ方面ノ御所見トシテ

タト云フ、供給過多ノ爲ニ物價ノ下落

ニ三四割下ッタ、一割以外ノ部分ハ其外

モ原因デアアルト仰セラレマシタガ、是

ハ、此大藏大臣ノ御意見ニ御同感デア

ヲ來シタコトモ一ツノ原因トシテ居リ

デアアルト御推論下サルノハ如何デアラ

モ原因ヲ爲シテ居ルコトハ御説ノ通り

リマセウカ、其點ヲ確メテ置キタイ

マス、爲替相場ノ騰貴シタガ爲ニ、東

ウカ、私ガ申ス事ヲ一言ニスレバ、物

ト思ヒマス、ソコデ私ハ更ニ進ンデ御

○町田國務大臣 大體ハ同意見デアリ

郷サンノ所謂貨幣價值ガ上ッタガ爲ニ

價ノ低落ハ供給高ノ分量ニ正比例スル

色ノ機會ニ於テ、議會ニ於テ、其他ノ

マス

物價ガ下落シタコトモ一ツノ原因ト私

モノデヤナイ、其點ハ御同感デアラウ

委員會ノ機會ニ於テ、或ハ其著述ニ於

テ、物價下落ノ原因ヲ説明シテ居ラレ

ハ考ヘテ居リマス、消費節約ト云フコ

ト思ヒマス

ル、其中デ主ナ原因ハ、先程農林大臣

ノ仰セラレタヤウニ、生産過剰ト、モ

トガ、從來多少緩ミツ、アル生活ヲ緊

○東郷委員 只今最後ノ農林大臣ノ仰

セラレタ事ハ、私先ニ言葉ガ足ラナ

カッタカモ知レマセヌガ、其通りデアリ

張サシタ爲ニ、農産物ニ對スル關係ハ

比較的小イガ、購買力ヲ幾分力減ジタ

テ居ルノデアリマス、是等ノ諸原因ガ、

相互ニ因トナリ果トナッテ、物價ノ下落

ト云フコトノ事實モ私ハハッキリ認メ

マ、一割餘生産ガ増加シタ、然ルニ

價格ハ四割以上モ下落シタデヤナイ

ノ生絲ガ滯貨トシテ積マレテ居ル、斯

テ居ルノデアリマス、是等ノ諸原因ガ、

價格ハ四割以上モ下落シタデヤナイ

ウ一ツハ此經濟界ノ不況ニ因ル購買力

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

相互ニ因トナリ果トナッテ、物價ノ下落

價格ハ四割以上モ下落シタデヤナイ

ウ一ツハ此經濟界ノ不況ニ因ル購買力

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

價格ハ四割以上モ下落シタデヤナイ

ウ一ツハ此經濟界ノ不況ニ因ル購買力

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

價格ハ四割以上モ下落シタデヤナイ

ウ一ツハ此經濟界ノ不況ニ因ル購買力

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

價格ハ四割以上モ下落シタデヤナイ

ウ一ツハ此經濟界ノ不況ニ因ル購買力

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

價格ハ四割以上モ下落シタデヤナイ

ウ一ツハ此經濟界ノ不況ニ因ル購買力

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

價格ハ四割以上モ下落シタデヤナイ

ウ一ツハ此經濟界ノ不況ニ因ル購買力

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

ノ減退、是ガ主ナ原因ダト仰セラレタ、

ウ云フコトハ一面ニ於テハ生産過剰——主トシテ生産過剰デアリマス、サウ云フ結果自然ニ彼處ニアレダケノ滞貨ガ出来タノデアルト云フ意味ノ政府當局ノ説明デアリマスケレドモ、是ハ逆デナイカ、是モ他ノ機會ニ於テ他ノ同僚諸君ガ詳シク質問サレタコトデアリマスカラ、私ハ内容ニ互ッテ管々シクハ申上ゲマセスケレドモ、是ハ現内閣ノ政策ノ結果、二十萬梱今日滞貨ヲ見テ居ルト云フコトデハナイカ、即チ生絲ノ絲價補償法ヲ出動セシメラレテ、所謂千五百圓ニ維持スル場合ニ、之ヲ千二百五十圓ニ維持スル云フ意味デ以テ、アノ補償法ガ出動シタ、其爲ニ二十萬梱ヲ積ンデ置カナケレバナラス、即チ現内閣ノ政策ノ必然的手段トシテ、二十萬梱ノ生絲ガ先ヅ積マレタノデス、アノ時分ニ生絲補償法ヲ出動セシメナイデ、自然ニ置カレタシタナラバ、或ハ二十萬梱ノ滞貨ハ今日ナイモノト考ヘルノデアアル、農林當局ハ、私説明スルマデモナク御承知デアリマセウガ、年々五萬梱位ノ生絲ハ常ニ「ストック」ガアッタノデアアル、然ルニ一躍シテ二十萬梱ノ滞貨ヲ見タト云フコトハ、是ハ全ク政策ノ結果デアアル、私ハ斯ウ思ヒマス、是ハ砂田君ガ豫算委員會デ詳シク申述べラレタノデ、重複致シマスカラ申上ゲマセスケレドモ、爲替相場ガ上ッタノデアリマスカラ、其差額ダケ當然生絲モ下ルノガ自然デアアル、即チ千五百圓臺千三百圓臺ガ——千五百圓臺ニ下ルノガ當然デアアル、ソレヲ千二百五十圓ニ吊上ゲルコトニナレバ、砂田君モ言ハレタヤウニ、先方ノ不景氣ナリ、需要ノ減退シタ以上ニ、日本ニ對スル生絲ノ需要ガ減退シテ、即チ我國ノ生絲ガ賣レナカッタ、斯ウ云フコトデアアル、之ヲ自然ニ放任シテ置ケバ價格ガ安クナルカモ知レマセヌガ、生絲ノ處分ハモット出来タラウト、斯ウ思フノデアリマス、斯ウ考ヘレバ、二十萬梱ノアノ停滞ガ、單ニ生産過剰若ハ亞米利加ノ不景氣ノ爲ノ需要減退、是ノミニ罪ヲ歸シテ、サウシテ政府ノ政策ノ失敗ヲ、知ラス顔ヲシテ居ラレルト云フコトハ、餘リニモ無責任デヤナイカト私ハ考ヘル、之ニ對シテ農林大臣ハドウ御考デアリマセウカ

○町田國務大臣 只今ノコトハ、東君モ本會議デ御尋モアッタと思ヒマスシ、東君幸ヒ御出デ、ゴザイマスカラ、甚ダ米穀法ノ問題ニハ如何カと思ヒマシガ、是ハ重要問題デアリマスカラ、皆サンノ御許ヲ得テ僅カバカリノ時間ヲ此問題ノ爲ニ御與ヘ下サレバ私モ仕合デアリマス、是ハ幸ヒ東君モ此處ニ御出デ、アリマスカラ、今ノ東郷サンノ御尋ニ對シテ、出来ルダケ簡單ニ私ノ申シテ見タイト思フノハ、第一ニ屢、能ク伺ヒマスノハ、當時價ガ千五百圓マデ暴落シタ際ニ、千二百五十圓ト云フ高イ價デ買ッタノハ、是ガ失敗ダト云フコトヲ屢、承リマス、是ハ昨年ノ六月頃カラ非常ニ暴落ヲシテ、支ヘ切レナカッタ、其當時出動シテ、考ヘ得ラレヌ程ノ暴落ヲ其後ニシタ、其暴落ヲシタ結果カラ溯ッテ、私共ハ補償法ヲ出動シタ場合ヲ逆ニ溯ッテ想像スレバ、左様ナ議論ノ出ルノモ當然デアリマス、併シ當時ノ事情ハ左様デナイ、唯申上ゲタイノハ、千二百五十圓ト云フ數ハ何カラ出タカト言ヘバ、アレヲ補償法ニ依テ六箇月ノ間抑ヘテ置クト、其間ノ金利倉敷マデモ皆拂ッテ、價ガ千二百五十圓トナッタノデアリマス、ソレデアルカラ若シ補償法ヲ出動シタ場合ニ、生絲ノ價ガ千二百圓マデ參リマス、今後六箇月ノ間ニ掛ルベキ金利息數ノ五十圓ヲ差引イテ、千二百圓ニナレバ生絲業者ガ賣ルノデアリマスカラ、將來ノ金利息數ヲ除イテ計算スルト、補償法ガ千二百圓ヲ目當トシテ出動シタ、斯ウ御覽下サルノガ當然デアリマス、而シテ千二百圓ト云フ數ガ何カラ出タカト申セバ、只今金解禁ヲスルト云フコトニ依ッテ貨幣價値ガ上ッタガ爲ニ、一般物價ガ下ッタデヤナイカ、生絲モソレニ從ッテ下ルノガ當然デハナイカ、ソレヲ千二百五十圓ニシタノハ甚ダ當ヲ得テ居ラスト云フ御尋ネデアリマスガ、第一ニ其點ヲ申上ゲマス、昨年ノ七月ヲ基準ト致シマシテ、當時ハ千三百二十圓ト私ハ記憶シテ居リマス、數字ハ細カナ所ハ多少違フカモ知レマセヌガ、大體違ヒナイ積リデス、昨年ノ七月頃ハ千三百二十圓カラ四五圓ノ間ヲ往來シテ居ッタと思ヒマス、而シテ一般物價ガ、金解禁ノ聲明ト其他ノ理由ニ依ッテ下落シマシタ、同時ニ生絲モ下落シタノデアリマス、ソコデ物價指數ヲ作りマシテ、昨年ノ七月カラ融資補償法ヲ出動スル七八箇月ノ間ノ一般物價ノ下落シタト同ジ割合ノ生絲ノ下落シタ部分ハソレカラ除イタノデアリマス、價格ガ低落シタコトノ全部ヲ以テ、融資補償法ヲ出動スル原因ト致サズニ、一般物價ノ低落ノ程度ダケノ生絲ノ低落ヲバ差引イタ殘ガ千九百九十圓、大難把ニ申スト千二百圓ト云フ數ガ生ジテ、諸物價ノ平均カラ見レバ、生絲ハ銀ノ下落ニ依ッテ支那ノ生絲輸出、ソレカラ前年多ク亞米利加ニ生絲ヲ輸出シマシタガ、昨年ノ正月ニハ紐育ニ於ケル生絲ノ滞貨——在貨ガ、例年カラ見レバ倍以上、去年ノ春ハ紐育ノ生絲市場ニ溜ッテ居ッタ、前年ニ輸出致シマシタ生絲ガ例年ニ比シテ倍以上紐育ニ堆高ク積ンデ居ッタト云フコト

ガ原因トナツタ、其他ノ原因モアリマセ
ウガ、ソレガ主ナル原因デアッタ、故ニ
一般物價ノ低落ノ程度ダケヲ差引イ
テ、特ニ生絲ニ對シテ特別ナ原因ニ依ッ
テ生ジタル生絲ノ價ノ値下リガ百圓
アッタノデス、之ニ依ッテ千二百圓ト致
シタノデアリマス、當時内地ノ闇相場
ハ千五十圓、或ハ千圓位ニナツタ、闇相
場ト申セバ大抵御承知デモアリマセウ
ガ、取引所ノ清算價格ニ現ハレタ價格
以外ニ、實際ノ取引ガ左様ニ行ハレテ
居ッテ、之ヲ其儘打捨テ、置クト九百圓
トナリ八百圓トナル虞ガアッタ時代デ
アル、而シテ内地ノ一般製絲家ノ狀態
ヲ見マス、昨年ノ夏千三百圓位ヲ前
後トシテ銀行ニ對スル取引モ行ハレ、
繭ノ買入モ行ハレテ居ッテ、是ガ千二百
圓以下ニナリマス、是ガ爲ニ三千ノ
製絲家ノ中ノ半分以上ハ破産スル狀態
ニ陥ル虞ガアリ、半分以上——千五百
以上ノ製絲家が破産ノ狀態ニ陥ッタ結
果ハ、二百萬ノ養蠶家ガ作ッテ居ル所
ノ繭ノ價ヲ一層暴落スル虞ガ甚ダ多
カッタガ爲ニ、世間或ハ、ハ一部ノ銀
行機關、或ハ製絲家ヲ救助スルノデ、
養蠶家ニ何等關係ガ無イ、寧ロ害ガア
ルナドト唱ヘラレタ人ガアリマスガ、
其點ハ私共ハ確信致シマシテ、アノ當
時出動致サナケレバ、製絲家が倒レ、
隨テ繭ヲ買入レル者ガナクナリ、養蠶

家ノ上ニモ非常ナ打撃ガ來ルト云フ考
ガ根據トナツテ、製絲家ト養蠶家ノ利害
ガ一致シテ居ルモノトノ信念ノ上ニ之
ヲ行ッタノデアリマス、其補償法デモ世
界ノ大勢ニ抗スルコトガ出來ズシテ、一
時五百何十圓マデ下ッタ、先頃三土君ガ
豫算總會デ、若シ承ルコトガ出來レバト
云フ節ニ、私ハ此效果ガ著シク現ハレ
ナカッタコトヲ遺憾トシテ、何カ遺方ノ
間違ガアルカ、或ハ斯ウ云フ方法デヤ
タラ宜カッタト云フ御考ガアレバ、ドナ
タノ御考デモ聽キタイト虚心坦懷ニ御
尋ネシタラバ、千百圓デヤレバ宜カッタ
ト斯ウ仰シヤル、成程ソレハ私ガ千二
百圓ト立テタノト、當時ノ清算市場ニ
現レタ千百圓トノ間ニハ百圓ノ差ガア
リマス、併シ千百圓デ此補償法ガ出動
シテモ、世界ノ大勢——歐羅巴ノ大體
ノ大キナ波ガ動イテ居ル時ニ、五百七
十圓マデ下ル、此大勢ヲ千百圓デ喰止
メ得タカ否ヤハ、是ハ事實ニ現ハレマ
セスガ、常識ヲ以テ考ヘマスレバ、千
百圓デヤッテモヤハリ下ッテ居ッタノデ
ハナイカト、私ハ其點ヲ左様ニ考ヘテ
居リマス、而シテ是ハ政友會ノ方々モ
御同感ノ方モアルト思ヒマスガ、融資
補償法ハ、大體ニ於テ小委員デ此融資
補償法ヲ作ッタ人達モ、今日ハアノ融資
補償法ガ不完全デアッタト云フコトヲ
自白シテ居リマス、ヤハリ當初前内閣

ガ御考ヘニナツタ通り、政府自ラ買取レ
バ宜シカッタノデス、ドウ云フモノカ斯
ウ云フ方法ヲヤラレテ、銀行家ニ生絲
ヲ擔保ニ金ヲ貸サセテ、銀行家が損ヲ
シタ時ハ國家ガ銀行ニ向ッテ補償シテ
ヤルト云フ生溫イモノガ一ツノ原因ヲ
ナシテ居ル、ソレカラ前内閣ガ御苦心
ノ下ニ出來マシタ融資補償法ハ、從來
私モ一遍當局者トシテ救済ヲヤッタコ
トガアリマスガ、從來ハ五萬圓カ七萬
圓買フ方法ヲ付ケルト、ソレデ收マッテ
居ッタ、昨年ノ如キハ此法律ヲ作ラレ
タ方々モ豫想セヌ大キナ波ニ漂ハサレ
タノデアリマス、即チ前内閣ガ力ヲ入
レテ此法律ヲ作ラレタ時ハ、十五萬圓
ヲ極度トシテ、一圓ニ對シテ二百圓、
即チ一俵三百圓ダケ補償ヲスレバ大丈
夫行ケルダラウト、斯ウ云フ推算ノ下
ニ是ハ御作リニナツタノデアリマス、左
様御考ヘナサルノモ尤モデアリマス、
從來ハ大抵五萬圓カ七萬圓、或ハ政府
ガ買フカ、養蠶倉庫、養蠶組合等ニヤ
ラセレバソレデ收マッテ居ッタコトガ三
四回カアリマスカラ、多ク積ッテモ十五
萬圓ヤッタ大丈夫ダラウト云フ御考
ノアッタノハ、私ハ常識判斷ノ上ニ於テ
是ハ惡イトハ申シマセス、併シ實際ノ
事情ハ、十五萬圓ヲ罐詰ニシテモマダ
足リナイト云フ事情ガアッテ、從來稀ニ
見ル所ノ世界ノ不景氣ノ爲ニ十五萬圓

デ足ラナカッタノデス、サウ云フ事情ガ
複雑シテ、斯様ナ結果ヲ來シタコトニ
付テハ御諒解ヲ得タイト思ヒマス、私
ハ此法律ヲ無効トハ如何ナル席ニ於テ
モ申シマセス、唯效果ガ十分デナカッタ、
其原因ハアナタ方ハ私ノヤリ方ヲ御非
難サル、ソレハ致方ナイトシテ、法
ソレ自身ニ於テモ、昨年ノ如キ場合ニ
於テハ十分ナル效果ヲ現ハス程ノ威力
ガ融資法ノ中ニモナカッタノガ一ツノ
原因デアル、斯様ニ申シタ次第デアリ
マス

○東郷委員 色々御話ガゴザイマシタ
ガ、併シ私此問題ヲ茲ニ彼此レ論議シ
ヨウトハ思ヒマセヌ、既ニ他ノ機會ニ
於テ十分論議サレテ、趣旨ハ明ニナッテ
居ルト思ヒマスカラ申上ゲマセヌ、唯
私ハ前内閣時代ノコトヲ彼此レ辯護ス
ル必要ハアリマセヌガ、併シアノ法ヲ
制定シタ場合ノ根本ノ精神ハ、生絲ニ
對シテ特別ニ金融ノ梗塞シタ場合ニ、
其金融ヲ付ケテヤル、斯ウ云フノガ精
神デアリマス、一般的ニ總テノモノガ
斯ウ云ッタヤウナ場合ニナツタ時ニモ、
ア、云ッタヤウナモノノ出動ヲスルト
云フ精神デナカッタカ、ドウカト云フコ
トニ付テハ、色々ノ疑念ガアリマス、
デスカラサウ云フコトヲ論議シテ居ル
ト非常ニ永クナリマスカラ私申上ゲマ
セヌ、唯今ノ農林大臣ノ仰セニナツタ

ヤウニ、折角最善ヲ盡シテヤッテ見タガ、其結果ガ豫期ニ反シテ思フヤウナ成績ヲ擧ゲ得ナカッタコトヲ甚ダ遺憾ニ思フ、斯ウ言ハレタノデスガ、アノ出動ガ——言葉ハ適切カドウカ知ラスケレドモ、要スルニ大體ニ於テ失敗ニ歸シタノダ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、尙ホ此出動、此政策ノ結果ガ、養蠶家ニ對シテ何等ノ直接ノ效果ヲ齎ラサナカッタ、寧ロ二十萬桐ヲ保留シタ爲ニ、是ガ繭ノ値ニハ面白クナイ結果ヲ來タシタノダ、斯ウ云フコトモ事實デアラウト思フノデアリマス、故ニ繭ノ値ノ非常ニ大暴落ヲシタ原因ハ、ソコラニモヤハリ潛ンデ居ル、斯ウ考ヘテ宜カラウト思ヒマス、大體私農產物ノ下落ノ原因等ニ付テノ疑問ハ、盡キタト思ヒマスカラ、是ハ此程度ニシテ次ニ移リタイト思ヒマス

ソコデ吾々ハ米穀法ノ問題、米ノ問題ヲ審議スルニハ、ドウシテモ農村ノ現狀ヲハッキリ見定メテ行カナケレバ、正シイ判斷ハ出來マセスカラ、私ハ昨日來申上ゲテ居ルノデスカラ、其意味デ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマスガ、サウ云フヤウニ農產物ガ非常ナ下落ヲシタ、農產物ノ下落ダケデハナイ、農家收入ガ色々ノ方面ニ於テ前年ニ比シテ大減收ヲシタ、斯ウ云フコトデ、農

家ガ今日非常ナ窮迫ノ實情ニ陷ッテ居ルノデアリマス、此問題ニ付テハ、砂田君ガ豫算總會ニ於テ數字のニ其窮狀ヲ明ニサレタ、然ルニ農林大臣ハ、成程サウ云フ風ニ今日物價ノ下落、其他ノ原因カラ大減收ヲ來シテ、困ッテ居ルコトハ認メルガ、數字のニ此處ニ説明スルコトハ出來ナイト云フ御答辯デアッテ、其儘ニナッテ居リマス、ソコデ私ハ今日政府當局ニ御尋致シタイノデアリマスガ、今日ノ農村ノ行詰リガ物價下落、ソレガ農家經濟收入ノ激減ノ基デアルト云フナラバ、農林當局ニハ是等ノ正確ナ御調ガアル等デアルト思ヒマス、ソレヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 只今仰セノ通り、砂田君ヨリ色々統計ヲ出シテ御尋デアッタガ、其數字ヲ直ニ根據トシテ、其儘受入レル譯ニイカスト私ガ申シタノハ事實デアリマス、併シ砂田君ノ御示シニナッテ統計モ、多クハ農林省ガ主トシテ集メテ居リマス農業統計ニ現ハレテ居ル數字デアリマスカラ、大體ヲ達觀スルニ付テ、アノ數字ヲ私共考ヘテ居ルコトハ勿論デアリマス、唯アノ數字ハ果シテ正確カ否ヤト云フコトハ、地方長官、或ハ農會、町村長アタリニ色々ナ方法デ問合セテ集メテ統計ガ現ハレテ居リマスカラ、アレヲ必ズ正確ナ數トハ申サレスト云フ意味デ申シタ

ノデアッテ、砂田君ノ示サレタ統計ハ、恐ラクハ農業統計トシテ私共ノ手許ニアル所ノ發表シタモノ、若クハ發表セントシツ、アルモノ、集ツタ所ノ統計デアルト思ヒマス、農林當局カラ出シマスモノハ皆差上ゲルコト、致シマスガ、唯私ノ達觀シテ居ル所ハ、農產物ノ供給モ多カッタ、消費力モ減ツタ、其他農產物ノ暴落ヲ來シタ原因ハ色々ナ原因ガアルノデアリマス、東郷君ノ御話デハ、現内閣ノ政策ノ結果ニ依ッテ騰落シタ部分ガ多イト云フ意味ノ御話デアルガ、多イ少イハ一寸容易ニ出來ル計算デアリマセスガ、現内閣ノ政策モ、農產物其他諸物價ノ下落ヲ來ス一ツノ原因ニナッテ居ルト云フコトハ認メマス、併シ是ハ金解禁ト云フコト、是レナカリセバ將來我國ノ經濟界ハ、今日見ルガ如キ以上ノ大慘狀ヲ來ス虞ガアルト云フ確信ノ下ニ之ヲ斷行シタノデアリマスカラ、是ハ議論ノ岐レデアリマスガ、私共ハ此斷行ハ我國將來ノ經濟界ノ發達、經濟界ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲ニハ、已ムヲ得ザル、避クベカラザル方法デアル、此點ノ信念ハ動キマセス、併シ此物價ノ下落ヲ來ス原因トナッタ間ニハ、消費ノ分量ガ減ツタト云フコトモ、現内閣ノ政策ノ結果トシテ物價ニ現ハレタ一ツノ原因ト御算ヘナサルコトハ、私モ御同感デアリマ

ス、又金解禁ヲシタガ爲ニ、貨幣價値ガ上ッテ、諸物價下落、隨ッテ是モ農產物ノ價格ノ下落ノ一ツノ原因ヲ成シタト云フ、原因ノ中ニ御加ヘ下サルコトハ私トシテ異論ハアリマセス、而シテ農產物ノ供給ノ過剩ノ原因ト、其他ノ原因ガ相加リマシテ、農產物ノ或ハ一割、或ハ甚シキニ至ッテハ五割減ジタモノモアルコトハ認メマス、唯農產物ノ價格ノ下落シタ總高ヲ出シマシテ、是ガ農家ノ總テノ不況ヲ來シタ原因、斯ウ大難把ニ御考下サルニ付テハ、其間ニ斯ウ云フコトヲ入レテ御計算ヲ願ヒタイノデアリマス、農產物ノ總高ニ對シテ、物價下落ノ爲ニ農家ノ經濟ニ大影響ヲ及ボシタコト勿論デアリマスガ、更ニ之ヲ貨幣經濟ノ方ニ引直シテ見マス、農產物ノ總高カラ農家自身ガ自ラ消費スル分量ヲ差引イテ、一旦貨幣ト交換スベキモノトシテノ農家ノ收入ガ幾ラ減ツタカト云フ、其總數量ヲ一ツ御考下サツテ置イテ、或ハ七億トカ八億ト云フ農家ノ手ニ入ル貨幣ヲ交換サレタモノ、減ツテ居ルコトハ、後程申上ゲマセウガ、或ハ七億トカ八億トカ、凡ソノ數ガアリマセウ、是ダケハ農家ノ全收入ニナッテ居ルト云フコトハ申サレマス、諸物價下落ノ爲ニ、農家ノ生活費ニ於テ金錢ヲ以テ支拂フ分量ガ幾ラ節約ニナッタカト云フ其分量ト、

勞銀其他諸物價下落ノ爲ニ、農產物デ申シマスレバ、硫安ガ百三十圓シテ居ッタガ七十圓ニナツタト云フヤウニ、肥料ダケデモ七八千萬圓農家ノ負擔ガ減ジテ居リマスガ故ニ農家ノ生産費ニ於テ凡ソ幾億節約ガ出來テ居ルカ、生産費ノ減ジタ部分ト、生活費ノ節約ガ出來タ部分ヲ差引イテ、其残りガ初メテ眞ノ農家トシテノ收入ノ減ジタ部分ト云フ、其加減モ御加ヘニナサツテ御議論ノ御根柢ニナサルコトヲ私ハ希望シテ、其詳シイコトハ農務當局カラ申スコトニ致シマス

○東郷委員 只今農林大臣ノ御説明ハ御尤モデアリマス、私共其意味デ農家ノ收入減ガドウ云フ狀態ニナツテ居ルカ、其正確ナル御調査ヲ御示シテ願ヒタイ、斯ウ云フ要求デアリマスカ質問ナノデアリマス、農林大臣ガ農產物全體ノ價額ヲ見テハイカナイ、所謂是ガ貨幣ヲ換ヘラレル現金收入ダケヲ見ルノガ至當デアルト云フ、ソレハ其通りデアリマス、ソレカラ今度支出ニ於テモ、諸物價下落ノ爲ニ支出ガ少クナツテ居レバ、ソレモ差引キセラルベキデアル、砂田君ガ豫算總會ニ於テ御話ニナツタノモ、其基礎ノ下ニ計算シタノデアリマスカラ、若シ砂田君ガ示サレタコトヲ政府デ先ヅアンナモノデアラウ多クハ相違ガアルガアンナモノデ

アラウト御認メ下サレバ、改メテ此處ニ御調査ヲ御示シ下サラヌデモ宜イノデゴザイマス、併シアレハ違ッテ居ル、政府ノ調査デハモット變ッテ居ルモノガ出來テ居ル、斯ウ云フコトデアレバソレヲ御示シテ願ヒタイト云フノデス、是ハ主トシテ確實ナル農家ノ收支ノ計算ヲ見テ、大體ドウ云フ程度ニアルカ、農林大臣ガ農政ヲ運行サレル上ニ御存ジナケレバナラヌ筈デアアル、ソレガナクテ農政ガ出來ル筈ガナイ、當然御調べガ出來テ居ル筈ト思ヒマス、砂田君ガ既ニ調査ガ出來、新聞ヲ見テモ色々ナ新聞ニ色々ノ推算ナゾシテ居リマス、相當立派ナ推算ガ出來テ居ルト思ヒマス、併シソレハ信賴ガ出來マセス、ソレ故農務當局ガ責任ヲ以テ此程度デアルト云フコトノ御調査ヲ御示シ下サレバ非常ニ結構ダト斯ウ云フ意味デアリマス

○石黒政府委員 只今ノ調査ノ御話デアリマスガ、砂田サンノ會テ御示シナツタ推算ト農林當局ノ考ヘテ居ル推算トガ同ジデアルナラバ出サナクテモ宜シイガ、違ヘバ正確ナルモノヲ出スヤウニト云フ御話デアリマス、砂田サンノ御示シナリマシタ數字ハ、私共モ政府委員席デ伺ッテ居リマシタガ、詳細ナルコトヲ伺ッテ居リマセス、ソレデソレガ同意スルヤ否ヤト云フコトニ

付テハ、ソレヲ一ツ何時デモ宜ウゴザイマスカラ東郷サンノ方カラ御示シテ願ヒマスレバ、ソレニ付キマシテ能ク調べマシテ申上ゲルコトニ致シタイト思ッテ居リマス

○東郷委員 ソレデハ議事ヲ進行スル上ニ於テ斯ウ御願ヒ致シマス、速記録ヲ御覽下サレバハッキリ出テ居リマス、政府デ御覽ニナルノデモ是ガ一番正確ダト思ヒマス、併シ多分控ガアルダラウト思ヒマスカラ、砂田君ト相談シテ、アッタラ差上ゲルコトニ致シマス、政府トシテハ速記録ヲ御覽下サレバ、是ハ間違ヒナイカラ、サウ御願ヒシテ置キマス、サウシテ其上デ成ベク至急ニ、別ニ農林省ノ御調べヲ御示シ下サルコトガ適切デアルト御考下スッタ御提案ヲ願ッテ、其上デ更ニ御尋ネスルコトニシタイ、ソレハ保留シテ置キマス、其次ニ農村ノ現狀ヲハッキリ知ルニハ、ドウシテモ農家ノ負擔ノ現狀ヲモット明瞭ニ吾々ガ認識シナケレバナラスト思ヒマスカラ、其點ニ付テ引續イテ御尋ネ致シマス、農家ノ負擔ノ問題ニ付テ少シ御尋ネ致シマス、先程農林大臣モ御話ニナリマシタガ、農產物下落、農家ノ收入ガ激減シタ、然ルニ負擔ハ一向減ラナイト云フノデ、非常ニ農家ハ困ッテ居ルト云フ御話デアリマス、其通リデアリマス、私達常ニ遺憾ニ思フコ

トハ、從來ト雖モ農村ノ負擔ハ重イ、何トカシナケレバナラス、斯ウ常ニ考ヘテ居ル、是ハ恐ラク農林當局モ御同感デアラウト思ヒマス、農政ノ當局トシテ御同感デアラウト思ヒマス、特ニ吾々ガ遺憾ニ思ッテ居タコトハ、同ジ負擔ノ義務ヲ持ッテ居ル國民デアリナガラ、農村ノ人ノ負擔ハ農村以外ノ人達ノ負擔ヨリモ遙ニ重イ、斯ウ云フ事實ガアリマス、私ハ斯ウ云フコトヲ申上ゲル必要ハナイト思ヒマスガ、此概念ヲハッキリスル爲ニ申上ゲテ見マスガ、例ヘバ京都大學ノ沙見君ガ大正八年度ノ支出ニ付テ調査シテ居ラレマスガ國民所得ノ一〇〇ニ對シテ直接税ノ割合ガ出テ居リマス、商工業地方デハ平均ガ一七・七、農業地方ノ平均ガ三四・五、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、即チ商工業地方ノ一人ノ負擔一〇〇ノ所得ニ對シテ税ガ一七・七ノ割合ニナツテ居リマス、然ルニ農業地方デハソレガ一〇〇ノ所得ニ對シテ三四・五斯ウ云フコトニナツテ居ルカラ約二倍ノ負擔ヲ農村ノ人達ハ商工業地方ノ人達ヨリモ負擔シテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ大藏省ノ調査ガアリマスガ、是ハ大正九年度ノモノデアリマス、是モハッキリスル爲ニ申上ゲテ見マスガ、收益一〇〇ニ對スル公租公課負擔額、農業者ガ三一・三六、營業者、主ト

シテ商工業者デアリマセウガ、ソレガ
一三・五三、ソレカラ工業者ガ五・二七、
獨立業者ガ一・〇〇トナッテ居リマス、
是カラ見テモ沙見君ノ調査ニ大同小異
デ、詰リ農業者ノ所得ニ對スル公課負擔
ノ割合ト云フモノハ驚クベキ大キナ率
ニナッテ居ル、農林當局ハ此現在ノ事實
ヲ御認メニナッテ居リマセウカ、先ヅソ
レヲ承ッテ置キマス

○町田國務大臣 農家ノ負擔ノ重イコ

トハ認メテ居リマス、併シ商工業者ト
比較シテノ只今ノ統計ハ、其儘私ガ御
同意スルト云フマデニ行キマセヌ、殊
ニ相當古イ統計カト思ヒマス、又農家
ノ收入ヲ調べルト云フコトガ、他ノ商
工業者ノ收入ヲ調べル困難ト同様、若
クハソレ以上ニ困難デアリマセウト思
ヒマス、農家ノ收入若クハ農家ノ純收
入ヲ精シク調べルト云フコトハ、餘程
面倒ナコトデアリマシテ、統計學者モ
困難ト致ス所デアリマスカラ、大體
ニ於テハ左様ニ感ジマス、殊ニ只今東
郷サンガ公課マデ御入レニナッテノ御
計算ノヤウデアリマスガ、無論公課モ
入ルノガ當然デアリマセウ、國稅ノミ
ナラズ、就中地方稅、町村稅ガ殖エマ
シタ爲ニ、町村ニ於テハ如何ニモ商工
業者ヨリモ主トシテ農民ノ負擔ニ參リ
マスルノデアリマスカラ、單リ國稅
ノミナラズ、十數年ノ間次第々々ニ地

方稅並ニ町村稅ガ著シク町村財政府縣
財政ノ上ニ於テ膨脹シタコトガ、農家
ノ負擔ヲ著シク増加シタ原因ト相成ッ
テ居ルコトト思ッテ、出來ルナラバ相
當ノ程度ニ之ヲ緊縮サセルト同時ニ、
少シタリトモ此負擔ヲ、此度ノ軍縮會
議ニ依ッテ得タル剩餘金ヲ、ヤハリ重
キヲ地租輕減——賃賃價格ニ變ヘルト
同時ニ、農業方面ニ於ケル地租ノ負擔
ヲ減ズルコトニ折角努力シタノデアリ
マシテ、甚ダ其金額ハ希望スル通り參ッ
テ居リマセヌガ、農村ノ負擔ヲ出來ル
ダケ輕クシタイト云フコトノ私共ノ意
思ハ、國民トシテ諒解シテ呉レルコト
ト思ッテ居リマス、是ハ臨機ノ策デアリ
マシテ、今ノ狀態カラ申シタノデアリ
マスガ、大體ニ於テ將來ハ農林省ノ施
設ト致シマシテ、農家經濟ノ上ニ出來
ルダケ生産費ヲ減ズル方法ト同時ニ、
生産費ノ値ヲ——農家ノ手ヲ離レテ消
費者ノ手ニ參ルマデノ中間ノ費用ヲ、
出來ルダケ節約スル施設ヲシテ、其中
間ニ失ハル、所ノ經費ハ、主トシテ農
家ノ收益ニ加ハルヤウニト云フ施設ヲ
致シテ居ル譯デアリマス

○東郷委員 農家ノ負擔ガ他ノ商工業

者等ニ比較シテ重イ、從來ト雖モ重イ、
約二倍位デハナイカト思ヒマスガ、斯
ウ云フコトニ對シテハ其儘認メル譯ニ
ハ行カヌガ、要スルニ非常ニ重イ、斯

ウ云フコトダケハ御認メニナッタノデ
アリマス、サウシテ此負擔輕減ニ對ス
ル政府ノ御計畫ヲ御話ニナリマシタガ
ソレハモット後デ其問題ヲオ尋スルコ
トニシマシテ、尙ホ其前ニ御尋ヲ致シ
マスガ、從來ト雖モ農村ノ負擔ガ、色
色ノ事情カラ他ノ商工業者等ニ比較致
シテ非常ニ重イ、是ハドウ考ヘテモ不
公平デアアル、納稅ノ義務ヲ國民ガ負擔
スルノハ無論當然デアリマスケレド
モ、其負擔ニ色々ナ不公平ガアルト云
フコトハ、ドウシテモ是正シナケレバ
ナラス、然ルニサウ云フ必要ニ驅ラレ
テ居ル農村ガ、最近ノ經濟界ノ行詰リ
ノ爲ニ、特ニ農產物ガ大暴落ヲシタ、而
モ其農產物ハ、先程申シマシタヤウニ、
他ノ商工業ト違ッテ、其値下リノ損失ヲ
他ニ轉嫁スル何モノヲモ持タナイ、農
產物ノ値下リハ、農家其モノノ損失デ
アル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、私
ハ農林省ノ正確ナ農家ノ收入輕減ノ計
畫ノ調査ガ出來ナイ中ハ、ハッキリ申上
ゲラレマセヌガ、大體ニ於テ砂田君ア
タリノ調査ガ近イモノト思ヒマスカ
ラ、ソレ等カラ考ヘテモ、收支ヲ差引
イテ見テモ、農家ガ七億ナリ八億ノ減
收ニナル、サウ云フ事ニナッテ居ルト從
來ノ負擔ガ其儘デアッテモ非常ナ苦痛
デアリマス、貨幣價值ガ上ツタ關係カラ

加スルコトニナル、況ヤ物價ガソレ以
上ニ大暴落シテ居ルノデアリマスカ
ラ、是ハ非常ナ打撃デアアル、私達ガ農
村ノ立場カラ考ヘテ見ルト、此經濟界
ノ不況、或ハ諸物價ノ暴落カラ來ル所
ノ國民ノ收入減ト云フコトハ農民ニ
限ッタコトデナイ、併ナガラ特ニ農村ガ
酷イ、ノミナラズ租稅其モノカラ考ヘ
テ見マシテモ、農村ノ租稅ノ性質カラ
考ヘテ見テ、都會ノ人達ヨリモ此窮迫
シタ經濟界ニ處シテ特ニ非常ナ打撃ガ
アル、ソレハドウ云フ譯カト申シマス
レバ、農林省カラ農村負擔調査ヲ吾々
ニ御示シニナッタ材料カラ見マシテモ、
農家一戸ノ負擔ガ全部デ九十二圓九十
七錢、一人當リ十六圓、隨分大キナ負
擔デアリマス、而モ其内譯ヲ見マスレ
バ、國稅ハ僅ニ一割六分餘ニ過ギナイ、
他ノ八割三分七厘幾ラト云フモノハ、
是ハ府縣稅、村稅、其他ノ公課、斯ウ
云フコトニナッテ居リマス、ダカラ此地
方稅ヲ輕減セザル以上、國稅ヲ少シバ
カリ輕減シテ見テモ農家ノ負擔ノ輕減
ニハ左程ナラナイ、先程農林大臣モ言
ハレルヤウニ、地方費ガ非常ニ殖エテ
居ルト云フ其通りデアリマス、而シテ
モウ一ツ農村ガ非常ナ不利益ニ置カレ
テ居ル實情ハ、都會地ノ租稅ノ根幹ヲ
ナスモノハ申上ゲルマデモナク所得稅
ナリ營業收益稅デアリマス、所得稅、

營業收益稅ハ、其稅率ヲ低メナクテモ、所謂輕減ヲシナクテモ、不景氣ニナレバ收入ガ減ルガ、其收入ニ此率ヲ掛ケルノデスカラ幾分カ負擔ハ輕減サレ、現ニ政府ノ豫算ヲ見マシテモ、所得稅、營業收益稅ハ今回ノ減稅計畫ニ入レナイデモ前年度ヨリモ二割内外ノ輕減ニナツテ居リマス、ソレハ當然デア、デスカラ幾分カ收入減ニナレバ負擔モ其割合ニ減サレテ來ルノデアリマスケレドモ、農村ハサウハ行カナイ、農村ハ主トシテ地租及ビ戶數割、斯ウ言ッ

特殊ナ事情ニアル農家ノ負擔狀態デア、之ニ對シテ今回政府ガ御計畫ニナツタ軍縮剩餘金ヲ負擔ノ輕減ニ充テルト云フコトガ、ドレダケノ效果ヲ齎ラステデアリマセウカ、私共其效果ニ對シテ非常ナ疑ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、農林大臣ハ農政ノ立場カラ見テ、此負擔ノ輕減デ十分ナリト御考デアリマセウカ、アレニ依ッテ農家ノ行詰リガ救ハレルト御考ニナリマセウカ御所見ヲ承ハリタイト存ジマス

○町田國務大臣 平常御研究ニナツテ居ル農政經濟ノ權威アル東郷サンノ御意見ハ、大體私共今後ノ施設ニ對シテ十分考慮致スコトハ勿論デアリマス、併シ實際ノ事情カラ申シマス、財界全體ノ不振ニ基キテ國庫ノ收入ガ減テ居ル、是ガ爲ニ緊縮豫算ヲ作レバ、一方カラ何等見ルベキ施設ガナイト御叱リヲ受ケテ居ル程ノ、國庫全體ノ收入ノ狀態カラ見マシテ、農村ノ現情ニ酷ク同情シマシタ結果トシテ、金高ハ少イガ、農村地方ニ向ッテ恆久のニ一千五百萬圓モ減ル結果ト相成ル減稅法案ヲ今御審議願ッテ居ルト云フ吾々ノ誠意ハ、國民モ諒トシテ呉レルコト、思ヒマス、併シ今後收入ノ増加ト共ニ、一面ニハ地方財政ニ相當ノ緊縮ヲ加ヘマシテ、相成ベクハ今後府縣並ニ町村ノ公共團體ハ、政黨政派ヲ超越シテ、地

方公共ノ爲ニ出來ルダケ府縣並ニ町村ニ於テハ政黨ノ爭ヲ避ケテ、一面ニハ地方財政ノ緊縮ヲ圖リ、一方ニハ地方產業ノ發達ヲ圖ル施設ヲ共々ニ致シテ行キタイト思ヒマス、遺憾ナガラ其金額ノ少ナイコトハ御同感デアリマスルガ、現内閣ガ此窮乏シタル財政狀態ノ現狀ヲ以テシテ、幾分タリトモ農村ニ利益ノアルヤウニト云フ方針ノ下ニ施設ヲ致シツ、アルコトニ對シテハ、ドウゾ御諒解ヲ得タイト思ヒマス

○東郷委員 政府ノ御計畫ノ減稅ガ甚ダ遺憾ナ程度ダト云フ農林大臣ノ御話デアリマスガ、其通りデアリマス、昭和六年度ニ於テ僅ニ九百十萬圓、之ヲ前年度ノ實行豫算ニ比シ割合デ出シマス、僅ニ一分ニ當リマス、ソレカラ七年度以後ハ二千五百六十萬圓ノ減稅ニシテモ、前々年度ノ實行豫算ニ比較シマス、僅ニ二分八厘五毛ニシカ當ラナイ、是ハ減稅ノ效果カラ言ヘバ實ニ少イモノダト思フ、殊ニ農村ガ先程來言フヤウニ、色々ナ事情ニ依ッテ財政ノ點ニ於テ不利益ナ立場ニ在ッテ、農產物ノ收入激減ノ結果、前年度ニ比シテ七八億圓ノ減收デアルト云フ場合ニ、大シタ效果ノナイモノデアルト云フコトヲ私ハ遺憾ニ思ヒマス、ソコデ先程農林大臣カラモ御話ガアリマシタシ、是ハ殊ニ米ノ問題ト重要ナル關係

營業收益稅ハ、其稅率ヲ低メナクテモ、所謂輕減ヲシナクテモ、不景氣ニナレバ收入ガ減ルガ、其收入ニ此率ヲ掛ケルノデスカラ幾分カ負擔ハ輕減サレ、現ニ政府ノ豫算ヲ見マシテモ、所得稅、營業收益稅ハ今回ノ減稅計畫ニ入レナイデモ前年度ヨリモ二割内外ノ輕減ニナツテ居リマス、ソレハ當然デア、デスカラ幾分カ收入減ニナレバ負擔モ其割合ニ減サレテ來ルノデアリマスケレドモ、農村ハサウハ行カナイ、農村ハ主トシテ地租及ビ戶數割、斯ウ言ッ

特殊ナ事情ニアル農家ノ負擔狀態デア、之ニ對シテ今回政府ガ御計畫ニナツタ軍縮剩餘金ヲ負擔ノ輕減ニ充テルト云フコトガ、ドレダケノ效果ヲ齎ラステデアリマセウカ、私共其效果ニ對シテ非常ナ疑ヲ持ッテ居ルモノデアリマス、農林大臣ハ農政ノ立場カラ見テ、此負擔ノ輕減デ十分ナリト御考デアリマセウカ、アレニ依ッテ農家ノ行詰リガ救ハレルト御考ニナリマセウカ御所見ヲ承ハリタイト存ジマス

○町田國務大臣 平常御研究ニナツテ居ル農政經濟ノ權威アル東郷サンノ御意見ハ、大體私共今後ノ施設ニ對シテ十分考慮致スコトハ勿論デアリマス、併シ實際ノ事情カラ申シマス、財界全體ノ不振ニ基キテ國庫ノ收入ガ減テ居ル、是ガ爲ニ緊縮豫算ヲ作レバ、一方カラ何等見ルベキ施設ガナイト御叱リヲ受ケテ居ル程ノ、國庫全體ノ收入ノ狀態カラ見マシテ、農村ノ現情ニ酷ク同情シマシタ結果トシテ、金高ハ少イガ、農村地方ニ向ッテ恆久のニ一千五百萬圓モ減ル結果ト相成ル減稅法案ヲ今御審議願ッテ居ルト云フ吾々ノ誠意ハ、國民モ諒トシテ呉レルコト、思ヒマス、併シ今後收入ノ増加ト共ニ、一面ニハ地方財政ニ相當ノ緊縮ヲ加ヘマシテ、相成ベクハ今後府縣並ニ町村ノ公共團體ハ、政黨政派ヲ超越シテ、地

方公共ノ爲ニ出來ルダケ府縣並ニ町村ニ於テハ政黨ノ爭ヲ避ケテ、一面ニハ地方財政ノ緊縮ヲ圖リ、一方ニハ地方產業ノ發達ヲ圖ル施設ヲ共々ニ致シテ行キタイト思ヒマス、遺憾ナガラ其金額ノ少ナイコトハ御同感デアリマスルガ、現内閣ガ此窮乏シタル財政狀態ノ現狀ヲ以テシテ、幾分タリトモ農村ニ利益ノアルヤウニト云フ方針ノ下ニ施設ヲ致シツ、アルコトニ對シテハ、ドウゾ御諒解ヲ得タイト思ヒマス

○東郷委員 政府ノ御計畫ノ減稅ガ甚ダ遺憾ナ程度ダト云フ農林大臣ノ御話デアリマスガ、其通りデアリマス、昭和六年度ニ於テ僅ニ九百十萬圓、之ヲ前年度ノ實行豫算ニ比シ割合デ出シマス、僅ニ一分ニ當リマス、ソレカラ七年度以後ハ二千五百六十萬圓ノ減稅ニシテモ、前々年度ノ實行豫算ニ比較シマス、僅ニ二分八厘五毛ニシカ當ラナイ、是ハ減稅ノ效果カラ言ヘバ實ニ少イモノダト思フ、殊ニ農村ガ先程來言フヤウニ、色々ナ事情ニ依ッテ財政ノ點ニ於テ不利益ナ立場ニ在ッテ、農產物ノ收入激減ノ結果、前年度ニ比シテ七八億圓ノ減收デアルト云フ場合ニ、大シタ效果ノナイモノデアルト云フコトヲ私ハ遺憾ニ思ヒマス、ソコデ先程農林大臣カラモ御話ガアリマシタシ、是ハ殊ニ米ノ問題ト重要ナル關係

ト、思ヒマスガ、是ハ重大ナ問題デス、米價ノ問題、農家ノ負擔、收入ノ問題モアリマスカラ、此機會ニ御尋致シタ

○町田國務大臣 賃賃價格ニ依ッテ從

來ノ五十年前ニ地租改正ヲヤッタ其基礎ヲ改メテ、賃賃價格ニ依ッテ公正ニ之ヲ改正スルト云フコトニ對シテハ、無論私モ同意シ共同ノ責任ヲ持ッテ居ルコトハ申スマデモアリマセス、併シ其内容ノ細カイ計算方法等ニ付キマシテハ、東郷君ガ或ハ減稅委員會ニ於テ大藏當局ト直接ニ御話下サルカ、或ハ大藏大臣ヲ此席ニ招クヤウニト云フ御希望モアリマスカラ、私ノ答辯デハ或ハ十分満足ニハ參ラヌカモ知レマセヌノデ、此委員會ノ内ニ大藏大臣モ此處ニ招キマシテ、私モ立會ッテ御答辯スルコト、シテ、暫ク御保留下サルコトヲ希望致シマス

○東郷委員 私ハ其計算ノ細カイ内容

ヲ農林大臣ニ御聽キシヨウトハ思ハナイ、ソレハ非常ナ無理ナ注文デアリマス、唯地租法ガ今度新シク制定サレル賃賃價格ヲ基礎トシテ、全ク從來ヨリモヤリ方ヲ違ヘテ行ク譯ナノデスカラ、サウ云フ場合ニ法律ノ内容ガ、大正十五年ヲ基礎トシテ、遡ッテ五箇年間ノ平均米價カラ賃賃價格ヲ出シタノヲ、其儘今日ノ此米價安ノ場合、殊ニ

此米穀法ノ基礎ヲナス率勢米價デ將來行カウト言ッタヤウナコトカラ考ヘテ見マシテ、將來ガドウナルカ知レマセヌガ、米ノ價格ト云フモノハサウ上ニ行カナイデヤナイカト云フ心配ガアリマス、サウスレバ今後ズット米ノ値ハ三十二圓ヨリ餘程下値ヲ行クノデヤナイカト言ッタヤウナ豫測モ出來マスル此際デアリマスカラ、サウ云フモノヲ今作ルノガ適切デアルカ、或ハソレガ出タトシテ、今日ノ米價ヲ標準トシテ、農家ノ基礎ヲナス米價ヲ標準トシテ、ソレガ出タ場合ニ農家ハ、立派ニ負擔ノ義務ヲ果シテ行クコトガ出來ルデアラウガドウカ、斯ウ云フ問題ハ、是ハ大藏省モ無論デスガ、農林當局トシテハ御考ヘニナラナケレバナラヌ筈ダト思ヒマス、是ハ大藏大臣ガ居ラナクモ、農林大臣ガ御答辯ガ出來ヤセヌカト思ヒマス

○町田國務大臣 能ク分リマシタ、私

モ御質問ノ趣意ニハ大體ニ於テ御同意致シマス、併シ此度ノ賃賃價格ニ依リマスル地租法ノ改正ハ、所謂國家百年ニ互ッテ根本的改正デアリマス、偶、今日ハ種々ナル原因ガ綜合シテ、米價並ニ農產物ノ暴落ヲ來シタト云フ時ニ出逢ッタコトハ如何ニモ場合ガ宜シクナカッタ、是ガ爲ニ農家ハ餘程困難ヲスルト云フコトノ意見ニ對シテモ、亦大

體ニ於テ御同意致シマス、故ニ農林當局トシテハ、此根本的改正ニ同意スルト同時ニ、今日之ヲヤッタガ爲ニ農家ニ對シテ、受ケル不利益ニ對シテハ、ソレハ低利資金ヲ貸出ストカ、マダ此處ニ公言シテ責任ヲ以テ申上ゲルマデニハ多少ノ時日ガ掛リマスガ、農林當局トシテハ從來農家ニ貸出シテ居ル耕地整理或ハ畜產水產各方面ニ向ッテ低利資金ヲ貸出シテ居ル年賦償還ノ金ガ一億四五千萬圓アルト思ヒマス、斯カル際ニ年賦償還ヲ取ルノハ、農家ノ現情ニ對シテ甚ダ氣ノ毒デアルト云フ點カラ、今折角大藏當局トモ相談シテ、此年賦償還ノ事ヲ何等カ緩和シタイコトヲ講ジツ、アリマシテ、今日起リマシタ所ノ農村ノ不振ニ依ッテ農家ガ困ッテ居ルコトノ救濟策ハ他ニ之ヲ講ズルト致シマシテ、此根本的改正ヲ今日見合ハスト云フコトニハ相成ラスコトハ、百年ノ長計ニ關スル從來ノ地租ニ依ル農家ノ負擔ガ不公平デアッタ、公平ヲ得テ居ラスコトヲ公正ニスルト云フ此根本改正ハ見合ハス譯ニ參ラス、同時ニ農產物下落ノ爲ニ賃賃價格等ニ變動ヲ來シテ、農家ガ困ルト云フコトニ對シテハ、同じ同情ヲ私モ持ッテ居ルト同時ニ、他ノ方法施設ニ依ッテ緩和スルト云フヨリ外ニアリマセス

○東郷委員 大體私ノ質問ニ趣旨ニ於

テ賛成シタ、時機ノ宜シキヲ得テ居ナイト云フコトモ賛成ダ、併ナガラ國家百年ノ大計ダカラシテ、此地租條例ヲ廢シテ、新シク地租法ヲ制定スルト云フ根本的改正ハ此際見合ハス譯ニ行カナイ、斯ウシタ御意見デアリマスガ、更ニ私ハ御尋致シマスガ、私ハ國家百年ノ長計ノ基礎ヲ成ス重要ナ地租法ノ改正デアリマスカラ、此際政府トシテハ御見合ハセニナッタ方ガ本當ノ百年大計ヲ御樹テニナルノニ於テ結構デハナイカト、斯ウ考ヘルノデアリマス、ト云フノハ今言フヤウニ高イ場合ノ米價ヲ以テ賃賃價格ヲ出シタノデ、所ガ今日ノ實情ナリ將來ヲ吾々ガ豫測シテタ時分ニ、此米ノ値デハ賃賃價格其モノガ適當デヤナイノデハナイカ、又ソレヲヤッタトシテモ、此米ノ値デ農家ノ收入ヲ考ヘテ見タ場合ニハ、負擔力ガナイデハナイカ、サウ云フノナラバ今日ノ經濟界ハ非常ナ場合デスカラ、政府當局ノ言ハレル通り、其内ニ何トカ安定スルダラウト言ハレマスカラシテ、其安定ノ時ヲ待ッテ徐ロニ新シキ經濟界ノ事情ニ即シタヤウナ根本的改正ヲヤラレタ方ガ、本當ニ國家特ニ農民ニ對シテ親切ナヤリ方デヤナイカ、現ニ政府ハ來年度ニ於テ行政財政並ニ稅制ノ根本整理ヲヤルノダト云ッテ調査會ヲ起ス、其費用マデ要求ニナッテ居

ル今日デスカラ、一年ヲ争ッテ此重要ナル地租法ダケヲ急イデオヤリニナルコトハ適當デハナイノデハナイカト私ハ考ヘマスガ、併シソレハ意見ノ相違デアルト云フコトデアレバ已ムヲ得マセヌガ、農林當局ノ方デヤッテ行ク、其結果ガ農村ニドウ云フ影響ヲ及ボスカ、ソレハ已ムヲ得ナイト云フコトデ御賛成ニナッテ居ルコト、承知致シテ居リマス

○町田國務大臣 簡單ニ御答シマス、大體ハ左様御考ヘ下サッテモ宜シイカモ知レマヒヌガ、私ガ付加ヘテ申シテ居リマシタ通り、此國家百年ノ長計タル根本的ニ改正シテ、負擔ノ公正ヲ圖リ、受クベカラザルモノニ負擔ヲ受ケサセ、モット負擔ヲ受ケテモ宜イモノヲ輕クシテ居ルト云フ此公正ヲ缺クト云フコトハ、税法ノ上カラ言ヒマシテモ、人心ノ思想上ニ關シテモ、重大ナ問題デアリマス、故ニ負擔ノ公正ヲ圖ルト云フコト、同時ニ、少クモ千五百萬圓減ルノデアリマス、農村ニ對シテハ

——ダカラ此改正ガ農村ノ爲ニ不利益ダト云フコトハ、丁度今ノ經濟事情ハ甚ダ農村ニ於テ窮迫ナル時デアルト云フコトヲ問題トサレルカラ其御議論モ出マスガ、暫ク農村ノ今日ノ狀態ト云フコトヲ取除イテ、此根本趣旨カラ申シマス、負擔ヲ公正ニシテ、幾分タ

リトモ之ヲ輕クスルト云フコトニ於テハ、此改正ヲ是認下サレ、農家經濟ノ窮狀ニ對シテハ有ユル施設ヲ致シテ、現内閣ノ力ノアラン限りハ私トシテモ致ス積リデアリマスカラ、應急ノ施設ハ別ニ致シテ置イテ此二ツニ分ケテ、ドウゾ御批評御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス

○西村委員長 一寸御待チ下サイ、モウ時間モ十二時ヲ過ギテ居リマス、ソレカラ書類ヲ昨日御請求ニナッタ、其參考書ヲ此際配付致サセマス、尙ホ其書類ヲ配付スルニ付テ、一寸農務局長カラ申上ゲタイコトガアルト云フコトデアリマス

○石黒政府委員 昨日御要求ニナリマシタ府縣ニ於テ粃玄米ノ貯藏ヲヤッテ居リマスル者ニ對シテ、利子ヲ補給スル、獎勵金ヲ交付スルヤウナ例ガアレバソレノ調ベタモノヲ欲シイト云フコトデシタカラ、ソレヲ只今刷ッテ參リマシタカラ御配付致シマス、ソレカラ農村負債ノ狀況ヲト云フコトデアリマシガ、ハ調査ト申スダケノモノハゴザイマセスト云フコトヲ再三申上ゲタノデアリマスガ、推算ヲト云フコトデアリマシタカラ、ソレデハ此處バカリノ參考トシテモ宜シイカラ出サウニシタイト云フノデ、私共ノ推算ヲ差上ゲマス、其方ニ付キマシテ、急イデ

ヤリマシタノデ、訂正ヲ要スルモノガアルノデアリマスガ、是ハ大シタコトデヤゴザイマセヌカラ速記ヲ止メテ……

○西村委員長 ソレデハ速記ヲ止メテ……

「速記中止」

○西村委員長 ソレデハ午後一時マデ休憩致シマス

午後零時十五分休憩

午後一時二十六分開議

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續イテ開會致シマス

○關矢委員 議事進行ニ付テ一言申上ゲマス、私ハ委員ノ方ノ質問ヲ阻止スル意味デハナイノデアリマスカラ、誤解ノナイヤウニ御願シタイノデアリマシガ、段々御質問ノ内容ヲ伺ッテ居リマシト、御質問ノ内容ガ非常ニ廣汎ニ互リマシテ、殊ニ東郷委員ノ如キハ我が日本ニ於テモ農政ノ權威者デ居ラシヤル、サウ云フ非常ナ廣汎ナ御知識デ御質問ニナリマス、是ハ何日御質問ニナリマシテモ中々此法案ノ本質ニ觸レルト云フコトハ容易デナイト私ハ思フノデアリマス、無論此法案ノ内容ニ關係ノアル御質問デアルトハ信ジテ居リマスケレドモ、サウ致シマス此法案ノ審議ガ非常ニ滑カニ參ラスノデア

リマスガ故ニ、委員長ニ於テハ御質問ヲ御通告ニナッテ居ラシヤル委員ノ方方トモ御打合せ下サイマシテ、成ベク本案ニ直接關係ノアリマスル質問ニ速ニ進ミマスヤウニ、特ニ御打合下サイマスコトヲ御願シタイ、サウスルコトガ取りモ直サズヤハリ私共議員ノ職責ヲ盡ス所以デアルトモ思ヒマスガ故ニ、一言議事進行ニ付テ申上ゲテ置キマス

○西村委員長 關矢君ニモ申上ゲ、尙ホ皆サンニモ申上ゲタイト思ヒマスガ、只今ノ議事進行ニ關スル關矢委員ノ御意見ハ、御尤ノ點モアリマス、實ハ東郷委員ノ御質問ガドウモ餘リ本案カラ遠イヤウナ感ガナキニシモ非ズデアリマスガ、強テ之ヲ御止メスルノモドウカト思ヒマシタノデスケレドモ、今後質問ヲナサル御方モ成ベク本案ニ近イヤウニ、エライ遠イヤウナコトハ何カ他ノ機會ガアリマセウカラサウ云フ機會ニ御譲リ下サッテ、成ベク本案ニ密接シタ範圍ニ御質問ヲドウカ限ッテナサルヤウニ御願ヲ致シタイト思フノデアリマス

○東郷委員 只今關矢委員ヨリ議事進行ニ付テ御意見ガアリ、又委員長ヨリ御注意モアリマシタ、御尤ト思ヒマス、御尤トハ思ヒマスガ、私昨日來御尋申上ゲテ居ルコトハ、只今此委員會ニ提

案ニナッテ居ル兩法案ト決シテ懸離レト云フコトモ承知致シテ居リマス、又テ居ハシナイ、米ノ問題、米價ヲ調節スル、斯ウ云フコトノ基礎ニナル法律案、ソレヲ吾々ガ審議スルノニハ、我國ニ於テ特ニ農家經濟ノ中心ヲ爲シテ居ル米ノ問題ヲ審議スルノニハ、農村ノ經濟農家ノ經濟狀態ヲハッキリシテ行カナケレバ、正シキ判斷ヲ致スコトハ出來ナイと思フ、其意味ニ於テ私達ノ今マデ御尋シマシタ質問ノ範圍ト云フモノハ、少シモ茲ニ御提案ニナッテ居ル法律案審議ノ範圍ヲ脱シテ居ナイト信ジテ居リマス、御注意ハ飽マデ拜承シテ、成ベク私ハ問題外ニ涉ルコトハ申上ゲマセヌガ、併ナガラ今言、タヤウナ意味ニ於テ、過去ニ於ケル私ノ御尋ハ決シテ範圍ヲ脱シテ居ナイト信ジマス、是ダケハ一言申上ゲテ置キマス

先程農林大臣ト新地租法ノ問題デ質疑ヲ續ケテ居ッタノデアリマスガ、最後ニ農林大臣ガ新地租法ニ依ッテ相當農家ノ負擔ノ輕減ガ出來ル、負擔ノ公正ガ是デ出來ルノデアルカラ、此際ヤルコトガ宜イト云フ御答辯デアリマス、私ハ是レ以上此問題ニハ觸レナイ積リデアリマスガ誤解ガアルトイケマセヌカラ、モウ一點申上ゲテ置キタイと思フ、農林大臣ノ御話ノヤウニ、無論新地租法ハ地租納稅者ノ負擔ノ公正ヲ保ツト云フ意味ニ於テ、苦心サレテ居ル

ト云フコトモ承知致シテ居リマス、又地價ヲ標準トスル賦課ヨリモ、賃賃價格ヲ標準トスル方ガ私ハ是モ時代ニ副ウタ方法ダト思ヒマス、サウ云ッタコトニハ私ハ何モ異論ヲ申上ゲマセヌ、異論ハ申上ゲマセヌガ、先程申上ゲマシタヤウニ米價ノ非常ニ高イ場合ノ小作料デ換算シタ賃賃價格、ソレヲ今日ノ此米價ノ低落シタ際、而モ將來大正十五年ノ前ノ狀態ニ歸ルカ歸ラヌカ疑問デアル、率勢米價等カラ調節ヲ御圖リニナルト、非常ナ經濟界ノ大變動ガナイ限リサウ云フコトハ出來ハシナイカト思フ、サウスルト折角出來タ地租法デ或ハ地租ノ納稅者個々ノ負擔ノ公正ハ出來ルカモ知レス、是ハ疑問ハアリマ

スガ、サウ云フコトハ是ハ問題外デアリマスカラ申上ゲマセヌガ、假ニ農林大臣ノ仰シヤルヤウニ、地租納稅者個々ノ間ニハ從來ヨリモ公正ナル結果ヲ得タトシテモ、地租ノ負擔者ト其他ノ租稅ノ負擔者、例ヘバ所得稅ノ負擔營業收益稅ノ負擔、サウ云フモノト比較シマス、今度ノ地租法ニ據ルト地租ノ負擔者ハ非常ナ不公平ガ茲ニ出テ來ル、先程申シマシタヤウニ營業收益稅、所得稅ハ所謂純益主義ノ課稅デアリマスカラ、今日ノヤウナ經濟界ノ不況デ收益ガ減ズレバ從ッテ稅モ減ル、ソレバカリデハナイ、今度ノ減稅ノ御計畫デ

ハソレノ賦課率ヲ御減ラシニナッテ居ル、殊ニ營業收益稅ノ如キハ低イ價格ノモノニ對シテ、特ニ率ヲ低クシテ減稅ノ目的ヲ達スルヤウナ風ニナッテ居ル、然ルニ地租ハドウカト云フト、先程來申シマシタヤウニ、是ハ一旦キマレバ固定ノモノデアアル、收入ガ減ラウガ殖エヤウガ、サウ云フコトハ一切オ構ヒナク負擔シナケレバナラヌノデスカラ、茲ニ米價ノ問題ト地租トノ關係ハドウシテモ密接デ離レルコトガ出來ナイ實情ニアリマス、即チ私ガ斯ウ云フ問題ニマデ觸レナケレバナラヌ

ノハ、今度ノ米穀法ノ適否ヲ考ヘル上ニ於テモドウシテモ觸レナケレバナラヌ、サウスレバ此實情カラ考ヘテモ、此際平均三十二圓ノ米價ヲ基準トシタヤウナ賃賃價格ヲ以テ、課稅ノ基礎ニサレルヤウナ法案ヲ、今度急イデ出サレルノハドウ云フモノカ、斯ウ考ヘマス、現ニ實際ノ實例ヲ見マシテモ、今日ノ地租ノ負擔ハ米價ニ比較シテ非常ニ重イ、ダカラ同ジヤウナコトヲ繰返サナケレバナラヌノデアアル、寧ロ是ハ先程申シマシタヤウニ、他ノ稅制ト一緒ニ根本的ニ御調査ニナルナラバ、ソレヲ御待チニナッタ方ガ宜クハナイカ、其方ガ地租ノ負擔ガ其他ノ營業收益稅ナリ所得稅トノ負擔ノ方ニ比較シテ、非常ナ公平ヲ得ル所以デハナイカト考

ヘテ居ルノデアリマス、併シ是ハ先程ノ農林大臣ノ御答辯ニ對シテ私ノ考ヲ申上ゲルダケデスカラ、之ニ對シテハ別ニ私ハ答辯ハ求メマセヌ、私ハ引續イテ御伺シテ見タイコトハ、租稅ノ問題ハ、又米價ノ問題ハ、米穀法ト關係ハナイト仰シヤルカモ知レマセヌケレドモ、サウデハナイ、米價ト云フモノガ農家經濟ノ主體ヲナスノデアアルカラ地租、戶數割等ヲ基本トスル農家ノ諸稅公課ノ負擔ハドウシテモ米價ニ依ッテ其擔稅力ノ決定ヲ見ナケレバナラヌ、所ガ現在ハドウデアアルカト云フト、今日ノ米ノ値デハ擔稅力ガアルカナイカ、私非常ニ疑問ニ考ヘテ居ルノデアリマス、例ヘバ實際ノ實例ニ付テ考ヘテ見マシテモ、新潟縣アタリガ米作ノ盛ナ所デアアルコトハ申上ゲルマデモアリマセヌガ、新潟縣デ田地ヲ約四百町步持ッテ居ル、是ハ日本トシテハ大地主デスガ、其人ノ米ノ收入ト、租稅ノ割合ヲ調べテ見マス、細カイコトハ拔キマシテ、玄米二千六百石小作米ヲ取ル、ソレガ庭相場十五圓、是モ適當ナ現在ノ値デアリマスガ、サウシマスルト三萬九千圓ニナリマス、之ヲ十五圓ニ換算シマスと三萬九千圓ノ收入ノアル人ガ、ドレダケノ租稅公課ヲ負擔シテ居ルカト云フト、是ハ細カイコトハ拔キニシテ、總額四萬八千七百六十五

ト云フコトモ承知致シテ居リマス、又地價ヲ標準トスル賦課ヨリモ、賃賃價格ヲ標準トスル方ガ私ハ是モ時代ニ副ウタ方法ダト思ヒマス、サウ云ッタコトニハ私ハ何モ異論ヲ申上ゲマセヌ、異論ハ申上ゲマシタヤウニ米價ノ非常ニ高イ場合ノ小作料デ換算シタ賃賃價格、ソレヲ今日ノ此米價ノ低落シタ際、而モ將來大正十五年ノ前ノ狀態ニ歸ルカ歸ラヌカ疑問デアル、率勢米價等カラ調節ヲ御圖リニナルト、非常ナ經濟界ノ大變動ガナイ限リサウ云フコトハ出來ハシナイカト思フ、サウスルト折角出來タ地租法デ或ハ地租ノ納稅者個々ノ負擔ノ公正ハ出來ルカモ知レス、是ハ疑問ハアリマ

圓何ガシト云フ負擔ヲシテ居ル、差引九千七百六十五圓何ガシノ缺損ニナッテ居ル、斯ウ云フヤウナ實情ニ現在ハナッテ居ルノデアリマス、是ハ大キナ場合デアリマスガ、尙ホモット地主ニ付テ考ヘテ見マスルト、私ノ郷里ノ鹿兒島縣デアリマスガ、鹿兒島縣ノ或村デ昨年ノ十一月行ッテ調べルト、二百俵ノ小作米ヲ取ッテ居ル地主ガ千二百圓ノ租稅ヲ負擔シテ居ル、サウスルト一俵六圓ノ現在庭相場カラ云フト、二六ノ十二、丁度租稅公課ヲ拂フダケノ收入シカナイ、ソレヲ差引ケバ後ハ何モナイ、斯ウ云フ實情デアリマス、又他ノ村デ是ハ中位ノ村ノ中堅ヲ爲ス者ニ付テ私聽イタ、此者ハ丁度百俵小作米ヲ取ッテ居ル、庭相場一俵六圓トスレバ六百圓此六百圓ノ收入ガアル者ハ、租稅公課ハ三百五十圓負擔シテ居ル、即チ六百圓ニ對シ五割八分餘ノ負擔ニナッテ居リマス、差引僅カ二百五十圓シカ殘ラナイ、此外養蠶ヲヤッテ八十圓位ノ收入ガアッテモ、三百三十圓ノ收入シカナイ、斯様ナ村ニ於ケル中堅階級デアル者ガ、斯ウ云フ調子デハ到底暮シガ出來ナイ、來年ハ八百圓カ千圓位ドウシテモ負債ヲシナケレバナラス、ソレニ土地ヲ賣ッテドウカシヤウト思ヘバ買手ガナイ、土地ガ安イ、進退谷ッテ居ルト云フ窮狀ヲ訴ヘタ實例モアリマス

ガ、サウ云フヤウニ現在私ハ米作ヲ中心トスル農家ハ、到底擔稅能力ガナイヤウニ思ヒマス、隨テ租稅ノ滯納ト云ッテヤウナコトモ盛ニナッテ來テ居ルヤウニ思ヒマス、農林大臣ハ斯ウ云フ問題ヲ農村ノ立場カラドウ御考下サルデアリマセウカ、斯ウ云フコトヲ頭ニ入レテ米ノ問題ヲ御考下サラナケレバナラスト思ヒマス、御意見ヲ承ッテ置キマス

○町田國務大臣 東郷サンノ御話ハ私

モ大體御同感デアリマス、常ニ其邊ニ對シテ十分ナ考慮ヲ拂ッテ苦心モ致シテ、出來ルダケノ施設ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ中農、若クハ大地主邊リノ計算ニ於テ、往々米價ガ安イ爲ニ公租公課ヲ拂フト一切ノ餘裕ガナイト云フ實情モ、屢々承ッテ居リマス、或ル甚シキ大キナ地主ニ至ッテハ、公租公課ノ總高ガ或ハ所得稅ガ累進率デ行ッテ居ルトカ云フヤウナ關係カラ、今ノ米價ヲ以テスレバ、殆ド全部ヲ租稅及ビ公課ニシテモ足リスナドト云フ陳情モ稀ニ聞クコトモアリマス、左様ナコトハアラウト思ヒマス、累進稅ノ課ル大キナ地主ノ中ニハ、左様ナコトモアラウト思ヒマス、同時ニ其陳情、苦情ノ中ニハ國稅トシテ納メル分量ハ割合ニ少ナイ、比較的多少課ルノハ、府縣稅並ニ町村稅其他ノ公課デアルト云フ

コトモ承リマシテ、是モ大體左様デアラウト私共認メマス、國稅ノ負擔ヲ減ジ得ラルレバ、ソレダケ苦情ヲ凌グコトハ勿論デアリマスガ、此十數年來ノ趨勢カラ見マスルト、先刻御話ノ通り國稅ヲ納メル分量ハ大體ニ於テ動カナイノデアリマス、地方稅町村稅ノ附加稅ニ於テ動ク分量ガ多イノデス、故ニ米價對策ノ點カラ見マスレバ、何レノ内閣モ出來ルダケ米穀法ヲ運用致シマシテ、出來ルダケ米價ノ維持ヲ圖ルト共ニ、屢々申上ゲマシタガ、其他ノ施設ニ依ッテ農家經濟ノ改善ニ資シ、農業經營ノ改良ニ依ッテ生産費ヲ減ズルト云フ恆久的施設ト、此不況ニ對スル臨時ノ對策ヲ講ズルコトヲ主ト致シテ居ルト共ニ、此度モ豫算デ今御協賛ヲ願ッテ居リマス、農林審議會等ガ出來マスルト、農家ノ四五十億ノ負債ヲ如何ニ整理シ、農家ノ負擔ヲ出來ルダケ減ズルカト云フ方面、竝ニ現ニ貸出シテ居リマス所ノ低利資金ハ、斯ル不景氣ノ現狀ニ徴シテ年賦金トシテ支拂フベキ者ニ、相當ノ緩和ヲ致シタイト云フコトニ考慮ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ他ノ收益稅トカ、所得稅トカ其他其年ノ調ベノ模様ニ依ッテ自ラ制限ガ出來ルノデアリマス、御意見ノ通り地租ノ方ハ今度ノ案ニ依リマス、十年毎ニ改訂スルノデアリマス

ラ、其間ハ財界ノ振不振ニ依ッテ、或ハ他ノ原因カラ特別ナ理由ニ依ッテ米ノ價が大變高クナッテ、サウ云フ時ニハ農家ノ負擔ガ割合ニ減ルノデアリマス、併シ其場合ニハ地租ニ依ッテ餘計取ルト云フコトハ致シマセス、收益稅其他商業家ノ方ニハ、何等カノ原因ニ依ッテ財界ガ良クナッタ、收益ガ良クナッタスレバ、其年ニ直チニ多ク課スルノデアリマス、其點カラ見マスルト、地租法ガ十年固定シタコトニナルカラ、年々ノ經濟狀態ニ順應シテ毎年改メテ行クコトニ參ラス立テ方デス、是ハ致方ガナイ、寧ロ是ハ其弊ヲ言ヒマスレバ何ト言ヒマス、甚ダ外國語ヲ使ッテ相濟ミマセスガ、若シ東郷サンノ御意見ニ副フヤウナ言葉ヲ使ヒマスレバ「ネセサリー、エビル」ト申シマス、之ハ稅法ニ屬スル已ヲ得スコトデ之ヲ改メルト云フコトデアレバ地租法ヲ年々變ヘナケレバナラス、年々變ヘルトハ實際出來ナイ、斯ウ云フコトニナリハセヌカト思ヒマス

○東郷委員 御說ノ通りデスガ、所謂今度ノ地租法ヲ十年間ハ變ヘナイト云フコトデアリマス、故ニ米ノ値ガ非常ニ高クナッテ收入ガ殖エテモ、稅額ガ同じデアルカラ、其場合ニハ農家ガ非常ニ利益スルト云フコトモアリ得ルノデアリマス、アリ得マスガ、今ノ經濟界

ノ實情カラ申セバ、サウ云フコトハ中
中アリ得ナイノデハナイカ、是マデアッ
タモノヲドウトカ改メルト云フノナラ
鬼モ角、是カラ新ニ作ルト云フノデア
リマスカラ、餘リニ御急ギニナラステ
モ、來年外ノ稅制ト一緒ニ御考ニナッ
テ、サウシテ經濟界ガ安定シテ色々ナ
目安ガ付イタ場合ニソレヲ御覽ニナッ
テ、今後十年間變ラナイデモ宜イ程度
ノ、現下ノ實情ニ適スル、殊ニ米價ヲ
中心トシタ實情ニ適スルヤウナ地租法
ヲ御定メニナッタ方ガ、本當ニ親切ナ
本當ニ公正ナ、本當ニ農民ノ擔稅能力
ヲ目標ニ置イタ理想的ナモノガ出來ハ
シナイカ、斯ウ云フコトヲ私考ヘルノ
デスガ、是ハマア意見ニナリマスカラ、
是レ以上申上ゲマセス

序デスカラ私希望のナコトヲ申上ゲ
テ置キマス、私ガ申上ゲルマデモナク、
今日實際地方農村ハ農林大臣御承知ノ
通り困ッテ居ル、國稅ノ滯納ハソレ程ナ
イカモ知レナイガ、私實際農村ニ入ッテ
聽イテ見ルト、國稅モ納メル能力ハナ
イ、併ナガラ從來非常ニ稅ノ納入ニ付
テハ獎勵ガアリ、完納スレバ村トシテ
稅務監督局カラ賞狀ヲ貰フト云々、ヤ
ウナコトデ、所謂國民ノ納稅ノ義務ヲ
完成スルト云フ此美風ヲ飽マデモ維持
スルト云々、ヤウナ行懸リカラ、或ハ團
體ノ金ヲ立替ヘテ置イテ、サウシテ滯

納者ノナイヤウナ工夫モ村當局者ハ
ヤッテ居ル、併ナガラソレハ何レハ借リ
タ先ニ返サナケレバナラヌト云々、ヤ
ウナコトデ、所謂借金ヲシテ國稅ハ納
メテ居ル、斯ウ云フ實情デアル、大藏
大臣ハ、私慥カ十月初デアッタと思ヒ
マスガ、御目ニ懸ッタ時分ニ、國稅ハソ
ンナニ滯納ハナイト仰シヤイマシタ
ガ、其通りデアルカモ知レナイ、併ナ
ガラ其後ハ其當時トハ違ッテ餘程滯納
ガ多イコトハ、先程來私ガ言ヒ、農林
大臣ガ仰シヤルヤウニ、農家ノ負擔ノ
大部分ハ地方稅デアル、ソレハ今日非
常ナ滯納ニナッテ居ル、或ハ不納同盟見
タヤウナモノガ出來ル、ダカラシテ町
村デハ教員ノ俸給支拂モ出來ナイ、此
間私宮城縣ニ參リマシタガ、宮城縣邊
リデハ教員ノ俸給ガ數箇月モ未拂ニ
ナッテ、高利貸カラ借リテ居ル、節季ニ
ナッテ之ヲ返スコトガ出來ナイデ、強制
處分ヲ教員ガ盛ニ受ケテ居ルト云々、
ヤウナコトヲ聞イテ參ッタ、斯ウ云フコ
トハ他ニモ澤山例ガアルコトデアリマ
ス、ソコデ教員ノ初任給ヲ引下ゲルト
カ、平均給ヲ引下ゲテ行ク、文部省邊
リデサウ云フコトヲシテハイケナイト
言ッテモ、脊ニ腹ハ代ヘラレナイ、已ム
ヲ得ナイカラ町村邊リデハアノ薄給ニ
甘ンジナケレバナラナイ教員ノ俸給ヲ
引下ゲ、其他役場吏員ノ減員ヲ澤山ヤッ

テ居ル、此間町村長會議ニ行ッテ見マ
シテモ、委員長ノ西村君モ參ラレマシ
タガ、同ジヤウナコトヲ訴ヘテ居ル、
又町村會カラ衆議院、貴族院ニモ所謂
負擔輕減ノ請願ヲ出シ、其窮狀ヲ訴ヘ
テ居ル、此點カラ見テモ國家ノ財政ハ
鬼モ角トシテ、地方自治體ノ財政ハ今
ニ破綻ニ陥リハセヌカト云々、ヤウナ
窮狀ニアルコトヲ私ハ確認セザルヲ得
ナイ、サウ云フ場合デアリマスカラ、
農林大臣ト致シマシテハ、農家經濟ノ
中心ヲナス負擔能力ノ基礎財源デアル
所ノ、此米ノ問題ヲ特ニ御考慮ヲ願ハ
ナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ意味
デ此問題ノ實情ヲ確メ、御意見ヲ承ッ
次第デアリマス、今日負擔ガ非常ニ過
重デアリ、而モ現在ノ米價ノ實情カラ
見レバ負擔能力ガ殆ドナクナッテ居ル
ト云フヤウナ實情ニアルコトハ、大體
ニ於テ諒解出來マシタカラ、此程度ニ
置キマシテ、其次ニハ農家ノ負債ノ狀
態ニ付テ少シバカリ御尋申上ゲタイト
思ヒマス

農家ノ負債ガ現在或ハ四十億圓乃至
六十億圓ニ達スル、斯ウ云フヤウナコ
トハ、或ハ帝國農會ノ調査其他ニ依ッ
テモ先ヅ推定ガ出來ル、農林當局ガ先程
御示シ下サレマシタ調べニ依ッテモ、約
ソ四十億カラ五十億ノ間ダラウ、斯ウ
云フ御話デアリマス、シテ見レバ今日
農家ガ一面ニ於テハ物價下落ノ爲ニ收
入減デ惱ンデ居ル、一面ニ於テハ負擔
ノ過重デ惱ミ、一面ニ於テハ五十億ノ
負債ニ惱ミ、而モソレハ利率モ色々ア
リマセウケレドモ、一割乃至一割二分
ト云々、ヤウナ高率ニ惱マサレテ居ル、
數億圓ノ利子ヲ拂フ餘裕モナイト云フ
ノデ、色々ノ困難ニ遭遇シテ居ルコト
ハ、私ガ此處デ改メテ申上ゲル必要モ
ナイ、而モ是ガ生産的ナモノバカリデ
アルナラバマダ宜イノデスケレドモ、
不生産的ノ負債ガ多イ、生活ノ爲ノ借
金ガ多イ、斯ウ云フ點カラ見テモ、如
何ニ今日此大ナル負債ノ額ガ農村經濟
ヲ壓迫シテ居ルカモ明カデアリマス、
サレバト云ッテ諸物價下落ノ爲ニ、此經
濟界ノ不況ノ影響ニ依ッテ地價ハ大暴
落ヲシテ居ル、勸銀ノ調査ニ依レバ最
近田畑ノ價格ガ五十四億圓モ暴落シ
タ、サウ云フヤウナ有様デアリマス
カ、所謂擔保物トシテノ價值モ低落ス
ル、隨テ金融ノ梗塞モ其處ニ起ッテ來
ト云フ譯デ、農村ハ負債ノ爲ニ二進モ
三進モ行カナクナッテ居ルト云フヤウ
ナ實情ニアルコトハ、是ハ御認メ下サ
ルコト、思ヒマス、サウスレバ此問題
ヲ解決スルト云フコトハ、非常ナ當面
ノ大問題デアルト思フノデアリマス
ガ、是ハ米價ノ問題ト關聯シテ負債ノ
整理ナリ或ハ負債ノ救済ナリト云々

ヤウナコトニ付テ、政府當局ハ當然御考慮ガアルコト、思ヒマスガ、ドウ云フヤウナ御方策ヲ御考ニナッテ居ルカ、是モ簡單デ宜シウゴザイマスカラ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 御尤ナ御尋デアリマス、當局トシテモ農家ノ莫大ナル負債ヲ如何ニシテ低利ニ引換ヘ、相當年數ノ間ニ此負債ヲ次第々々ニ減ラシテ行クカト云フコトニ對シテ、相當考慮シテ居リマスガ、差當リ此處デ申上ゲル程ノ確定ナ案ガ立ッテ居リマセヌ、遺憾デアリマスガ、何人ガ局ニ當ッテモ之ヲ整理スル案ヲ立テルト云フコトハ、相當困難ナ問題タルコトハ御承知ノ通りデアリマス、又負債ハ不況ニ依ッテ増シタ部分ガアルトモ申シ得ラレマセウガ、大體ニ於テハ今日始ッテ負債デハナク、長イ間ニ此農家ノ負債ガ巨額ニ達シテ居ルト云フコトハ明カナル事實デアリマス、幸ニ農村ノ不況ガ今日ノ如クデナカッタガ故ニ、此問題ニ對スル注意又心配ガ今日程深刻デナカッタト云フコトモ言ヒ得ラレマセウ、私ハ從來アッタモノヲバ何人モ考ヘナカッタチャナイカト云フヤウナ意味カラ、責任ヲ通レル意味デハアリマセヌ、此困難ナ問題ハ何レノ内閣ノ當局者モ相當考ヘラレタガ、今マデハ的確ナ案ハ出來ナカッタ、併シ此不況ニ際シテハ一層此間

題ヲ重大視シナケレバナラスト云フ必要ノ迫ッテ居ル事實ハ私モ明ニ認メマス、故ニ從來立ッテ居ラナイカラ私モ立テナイト云フ無責任ナコトハ斷ジテ申シマセヌ、一層此整理スル方式ヲ立テル必要ニ迫ッテ居ルト云フコトダケハ明カニ申上ゲテ置キマス、併シ同時ニ先刻御廻シタノハ、大抵私ノ記憶シテ居ル案ト同ジヤウデアリマセウ、負債ノ種類竝ニ負債ヲ起シテ居ル所謂個人無盡等ノ關係、或ハ勸業銀行、信用組合ト云フ金融機關ガ貸シテ居ル分量、或ハ動産、不動産ニ依ッテノ變化ノアル關係、サウ云フヤウナコトハ十分マダ明カナッテ居ラスノガ大體ノ推測デアリマス、ソコデ勸業農工及ビ信用組合等カラ貸出シテ居ルモノハ出來ルダケ中間ノ——低利資金等ニ參リマスル部分竝ニ勸業債券等ニ依ッテ貸出シテ居ル部分モ、出來ルダケ中間手数料ヲ減ラシテ、少シデモ農家ノ負擔ニ屬スルモノヲ減ジマス云フ考ハ致シテ居リマス、同時ニ個人等ノ貸出ヲ或ハ不動産ニ、個人竝ニ無盡等ノ貸出シテ居ルノ凡ソ半額ト見テ居リマス、四十億ト見ルカ五十億ト見ルカ、假ニ其中間ヲ取ッテ四十五億トスレバ、二十億乃至二十五億ハ個人若クハ無盡等ガ貸出シテ居ルモノト大體推測シテ居リマスガ、其中ノ多クハ個人ノ貸出ハ不動産登記

等ニ依ッタモノガ多イト思ヒマス、併ナガラ御承知ノ通り不動産デ貸出シテ居ルモノモ、登記セズニ信用ノ意味ヲ加ヘテ不動産ニ貸出スノモアリマスカラ、是トノ區別ヲモシナケレバナラス、少シ酷ナ議論ト御考ヘ下サルカ知レマセヌガ、出來ルナラ負債ヲ起シタ原因等モ調査シテ見タイト思ヒマス、此全部ガ不生産の負債トモ考ヘラレナイノデアリマス、農家ガ負債ヲ致シテモ、所謂生産資金トシテ借入レノ分量モ相當アリハセヌカト思ヒマス、農家ノ困憊ノ爲ニ已ムヲ得ズ生活其他公租公課ヲ拂フ爲ニ借リタト云フ量ガ多イデアリマセウ、或ハ米價ガ高カッタ大戰前後ノ大景氣時代ノ生活ノ程度ガ——米ガ五十圓モシタト云フ時ニ生活ノ程度ガ高マッテ、之ヲ引下グルコトガ稍、困難ノ爲ニ、農家一般ノ生活程度ガ收入ニ比較シテ比較的高マッテ、負債ヲ起スノ已ムヲ得ザルニ出タ者モ或ハ相當アリハセヌカト思ヒマス、併ナガラ此點ニ私ハ負債ノ多クヲ追入レテ、可哀相ナ意味ノ原因デ負債ガ出來タコトヲ考ヘナイト云フヤウナ無情ナ考ヲ持ッテ居リマセヌガ、實際事情ヲ調べテ見マス、負債ヲ起シタ原因ニ依ッテ是ガ整理ノ方法モ自ラ産レ出ヤセヌカ、斯ウ思フ、一例ヲ申シマス、信州ノ或ル信用アル町村長ガ負債整理組合ヲ作ラウトシ

テ、昨年來熱心シテ居リマス、併シ放漫ナ生活ヲスルトカ、酒食ニ依ッテ借金ヲ得タヤウナ種類ハ此仲間ニ入レズシテ、謹嚴ナル、眞面目ナル人ガ種々ナル事情ノ下ニ負債ヲ得タ人ダケヲ組合員トシテ、放埒ナ生活ノ者ハ入レヌト云フ組合ヲ作ルト云フコトヲヤッテ居リマス、是モ全部同意スルトハ參ラヌガ、一ツノ組合精神ヲ發揮シテ、共同デ安イ金ヲ借リテ整理スルト云フコトニ對スル一種ノ方法ト見テ居リマス、何レニシマシテモ此四五十億ノ負債ヲ出來ルダケ低利ノ金ニ引直シテ、農家ノ收入ノ中カラ永イ間ニ漸次之ヲ輕クスルト云フコトハ、此不況ニ際シテ一層必要デアルト云フコトヲ認メマシテ、大藏大臣ト折角協議中デアッテ、大藏大臣モ議會ガ濟シタナラバ何トカ此農家ノ負債ノ大整理ヲスル案ヲ共同デ立テヤウヂヤナイカト云フコトヲバ、餘程固ク話合ヲ致シテ居リマス、其程度デ如何ナル方法ト云フコトハ今案出シ、御答ヲ致シ兼ネマスガ、當局トシテハ怠ラズ此事ヲバ御注意モアリマシ、御同感デモアリマスカラ、深ク考慮ヲ拂ッテ相當ナ案ヲ立テル考ヲ持ッテ居ルト云フ御答ヲシテ、御満足ナガラ御了解ヲ得テ置キマス

○東郷委員 農林大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、今日ノ農家負債ノ救済ニ付テ

努力シナケレバナラヌ必要ハ認メル、又折角色々考ヘテ居ル、斯ウ云フ御話デアリマス、併シ現在斯ウト云フ具體的ノ案ハ出來テオキデニナラヌヤウニ思ハレマスカラ、サウ了解致シテ置キマス、ソコデ私ハ諄イヤウナ御尋ヲ致シマシタケレドモ、以上申上ゲタ點ヲ能ク御尋シ、或ル意味ニ於テ此處デ當局トモ研究ヲシテ、サウシテ農家ノ實情ヲ吾々ガハッキリ見定メテ、而シテ米ノ對策ヲ考ヘナケレバナラヌト斯ウ考ヘテ御尋シマシタ、大體農家ノ實情ハ御説明ニ依ッテ分リマシタ、更ニ私ハ一歩進ンデ農村ノ行詰リニ對シマシテ、現內閣ガ執ッテ居ラル、色々ノ對策、色々ナ機會ニ於テ政府當局ガ御施設ニナッテ居ル主要ナモノハ何デアルカト云ヘバ、低利資金ノ融通、是ガ非常ナ現內閣トシテ、農村對策、殊ニ米價暴落ニ對スル應急對策トシテ御執リニナッテ居ル主ナル御施設ヲ爲シテ居ルモノデヤナイカト考ヘマス、ソコデ此間モ此低利資金ノ供給ニ對シテノ材料ヲ要求致シマシタガ、私ハ此全體ヲ此處ニ色々申上ゲルコトハ時間ヲ取リマスカラ、御尋致シマセヌガ、或ルモノハ既ニ融通濟ミニナリ、而シテ是ガ償還ノ途中ニアル、而シテ償還ノ途中ニアルモノガ米穀其他ノ農產物ノ價格ノ下落ノ爲非常ニ困難ヲシテ居ル、其意時ニ、何故ニ御希望ノヤウニ早ク行カ

ナカッタカト云フ、行政上ノ實際ヲ御考ヘ下サルコトヲ私ハ希望シテ置キマス、例ヘバ七千萬圓ノ低利資金ト申シマシテモ、多クハ十二月ニ於テ初メテ府縣ガ自ラ府縣債ヲ起債シテ、預金部ノ低利資金ヲ借受ケルト云フ決議ヲ致シタノハ多クハ十二月デアル、勿論出來ルダケ之ヲ早ク致シタイト云フ考カラ、從來ハ低利資金ガ定ッテカラ始メテ府縣ニ斯ウ云フ金ガアルカラ、オ前ノ縣デドウスルカト云フコトヲ問合セ

ルノガ普通デアリマス、併シ私共ハ取急ギマスカラ、昨年ノ九月カ十月ト思ヒマス、今後ハ低利資金デ斯様ナ金ヲ借りテ農村ノ救済ノ一助トスル積リデアルカラ、豫メオ前ノ縣デハ山林ニハ幾ラ、開墾ニハ幾ラ、或ハ漁村ニハ幾ラト云フコトヲバ取調ベテ、直チニ借入レルダケノ準備ヲセイト云フコトヲ早ク申出デ、居ルノデアリマス、其申出ヲ致シタガ爲ニ、アナタ方ハ非常ニ遅イト仰シヤラレルガ、割合平生ヨリモ是デモマダ早く進ンデ居ル、行政上ノヤリ方ヲ見レバ相當早く進ンデ居リマス、恐ラクハ今月中ニ三十縣以上ハ進ムト思ヒマス、農務局長カラモ先頃其點ニ付テ——東君デアリマシタト思ヒマスガ、定メシ東君モ斯ウ云フ低利資金ヲ貸出ス實情ハ御承知デアラウト云フ事務的ノ御話ヲシテ、皆様ノ御諒

解ヲ得ル爲ニ農務局長カラモ申シタヤウデアリマスガ、實ハ前以テ斯様ナ貸出ヲスルカラ早く準備ヲシテ置ケト云フコトヲ言ウタガ、何村デハ幾ラ借りルトカ、何ノ仕事ヲドウスルトカ云フ、各府縣數百ニ分レテ居ル細カイコトノ準備ハ、割ニ早く進ンデ居ルト私共ハ思ッテ居リマス、一層急ギマスコトハ急ギマスガ、ソレヲ府縣カラ內務省ニ參リマシテ、內務省ノ地方局ニ於テ、又各府縣ノ各村ニ割ッテヤルヤツヲ一調ベル、御承知ノ通り事務當局ト云フノハ、中々責任ヲ重ンジマシテ、私ノヤウニ官判ニ近イモノハヤラスノデアリマス、ソレガ內務省モ大藏省モ課長ヤ掛長ガヤツテ、是デ間違ナイト云フコトニシテ、始メテ府縣ノ起債ヲ許スト云フ準備ヲ私ノ方デハ極力督勵、或ハ事情ヲ兩省ニ申シマシテ、內務ニモ督勵シ、兩省ニ向ッテ事務的ニ此進行ヲ進メテ居ルノデアリマシテ、從來ノ例ニ較ブレバ、此進行ハ餘程早く進ンデ居ルト云フコトノ事實ヲ併セテ申上ゲマシテ、出來ルダケ一日モ早クヤルコトニ付テ御注意モアリマスシ、一層努力スルコト、御諒承ヲ願ヒマス

○東郷委員 七千萬圓ノ失業救済ニ關スル仕事ガ、思フヤウニ進捗シナイ内面ノ御事情ヲ御話下サイマシテ、事務的ニ御手數ノ掛ルコトハ私モ役人ヲシ

テ居リマシタ經驗カラ能ク諒承シテ居
リマス、併ナガラハ是非常ノ場合ニハ
非常ノ手段ヲ御執リニナラナケレバ間
ニ合ハナイデハナイカト思フ、現ニ私
地方ノコトハ申上ゲ兼ネマスケレド
モ、或ル縣ナド此問題ニ付テ大藏省ナ
リ内務省アタリニ書類ヲ持ッテ來タ、其
審議ノ模様ナドヲ聽イテ見マスルト、
隨分面倒臭ク、普通ノ場合ト何等變リ
ガナイヤウナ取扱ヲシテ居ラレタコト
ヲ見聞致シテ居リマス、事務上カラ云
ヘバ色々御手数數ガアルニ違ヒナイガ、
併ナガラ失業救済ノ爲ニ出スノダト云
フノデアレバ、農閑期ヲ目標ニシテ大
ニ御努力ニナリ、又一面カラ云ヘバ、
是ハ端境期ニ於テ農村ノ經濟ノ窮迫シ
テ居ル場合ニ、幾ラカ援助ニモナルト
云フヤウナ御方針デナケレバナラヌモ
ノト思フ、サウ考ヘルト御事情ハ御説
ノ通りデアリマセウガ、私達甚ダ遺憾
ニ思フノデアリマス、併シソレハソレ
デ宜シイトシテ、私非常ニ疑問ガアリ
マスカラ、其疑問ノ點ヲ御説明願ヒタ
イト思フノデアリマスガ、此七千萬圓
ノ融資ガ今云ッタヤウナ事情デ中々進
マナイト云フ話デスガ、其外ニ之ガ思
フヤウニ進マナイ幾多ノ事情ガアリハ
シナイカト吾々ハ察スル、ソレハ第一
此金ヲ融通シテヤル仕事ニ限定ガアリ
マス、開墾或ハ耕地ノ改良、林道ノ開

鑿、桑園ノ改植、其他水産ニ關スル色
色ノ修築、或ハ牧野整理、失業ニ關ス
ル施設ト云ッタヤウナモノニ限ッテ、此
金ヲ使フト云フコトニナッテ居リマス、
是等ノ仕事ハ農村開發ノ上ニ洵ニ必要
ナ仕事デアリマス、併ナガラ是ハ將來
ノ生産ヲ擧グベキ根本的ノ施設デ、大
體此仕事ヲシテ直グ右カラ左ニ農家ノ
收入ガ殖エベキモノデハナイ、此施設
ヲスレバ、何年カノ後ニ生産ガ大ニ殖
エルト云フモノガ大部分デアリマス、
所ガ今日ノ農村ノ實情ハ、先程來御説
明モアルヤウニ、收入減、負擔ノ過重、
借金ニ困ッテ居ルト云フノデアル、其日
ノ生活ガ困難デアル、將來ノ生産ヲ助
長シヤウト云フヤウナ餘裕ガナイ、サ
ウ云フ場合ニ借金ヲシテサウ云ッタヤ
ウナ仕事ヲヤラセルト云フコトハ、是
ハ失業救済ニハナルカモ知レナイガ、
今日ノ行詰ツタ農材ノ救済ニハナリ得
ナイノデアアル、殊ニ此御發表ニナッ
要綱ノ趣旨ニモ書イテアルヤウニ、此
對應策ハ國家ノ負擔ニ依頼セズシテ實
現スルノ途ヲ開クニ努メタリト仰シ
ヤッテ居ル、國家ノ負擔デハナイ、農民
自體ノ負擔ニ依ッテ之ヲヤル方法ヲ講
ジタノダト仰セラレマス、而モソレハ
失業救済政府ガ緊縮ノ方針ヲ執ラレ、
或ハ民間ニ對シテハ消費節約ヲ唱道サ
レタト云フノデ、色々ノ意味ニ於テ不

景氣ニナリ、而シテ其結果失業者ガ輩
出スル、私ハ繰返シテ申シマセスケレ
ドモ、確ニ今日ノ失業者ノ續出シタ根
本ハ、現内閣ノ諸政策ノ當然ノ結果ガ
大部分ヲ占メテ居ルト思フ、國家自ラ
失業者ヲ製造シナガラ、其失業者ノ救
濟ハ、窮迫シテ居ル農民達自ラヤルガ
宜シイ、而モソレハオ前達金ヲ貸シテ
ヤルカラ、借金デヤレ、斯ウ云ッタヤウ
ナ政策ハ、是ハ農村ニ對シテ私ハ救済
デハナクシテ、實ニ無理ナ注文ヲ國家
ガサレテ居ルノデハナイカト云フヤウ
ナ感ジガシテナラナイノデアリマス、
此實情カラ見テ此七千萬圓ノ融資ガ、
中々政府デモ御考ヘニナルヤウニ旨ク
進捗シナイ本當ノ原因デハナイカト私
ハ考ヘマスガ、政府當局ハサウ御考ヘ
ニナリマセスカ

ニ傾ケテ居ッタコトガ長イ間デアリマ
ス、實ハ此點ハ私ハ餘程力説シタ積リ
デアリマス、内閣ノ閣議ヲ決スルニ付
キマシテモ、私ハ餘程力説シタ積リデ、
此度ノ内務省デアリマスル失業救済
モ、從來ノ六大都市ニ偏セズシテ、出
來ルダケ全國ニ及ブヤウニヤル、其主
ナル根本ノ原因ハ東郷君ノ御承知ノ通
リ、歐米各國ノ失業問題ト日本ノ失業
問題ハ、私ハ違フト云フ信念ヲ固ク持ッ
テ居ル、即チ日本ニ於キマシテハ、都
會ノ餘レル労働者、農村ノ餘レル労働
者ガ常ニ共通シテ居マス、少々遺憾ナ
コトハ何レノ内閣トハ申シマセヌガ、
現内閣ニモ稍、サウ云フ傾キガアッタノ
デヤナイカト思ヒマスコトハ、都會ガ
不景氣ノ爲ニ自由労働者ガ餘ッテ來ル
ト歸農セイ／＼ト云フ、オ前達ハ元ハ
百姓ダカラ田舎ニ歸レ、都會ニ居ラス
ケレバソレデ宜シイヤウナ考ヲスル、
其考ハ私ハ相當努力シテ、日本ニ於ケ
ル失業問題ハ都市ト共通デアルト云フ
風ニ立直シタ積リニ私ハ任ジテ居ル、
故ニ從來六大都市ノ失業者ヲ救済スル
ト云フコトハ、全國ニ互ル失業者ノ救
濟ヲ致シ——一面ニハ歸農々々ト云
フ、成程百姓ハ握飯半分ヅ、食ッテモ家
族制度ノ美風ニ依ッテ之ヲ失業者トセ
ナイ、ゴロ／＼家ニ寢轉ンデ居ッテモ或
ハ餓死セヌカモ知レマセヌガ、是ガ爲

○町田國務大臣

大抵要綱ヲ差上ゲテ

アリマシテ、今御讀ミニナリマシタカ
ラ、私共ハ失業救済ト併セテ農村ノ今
日ノ窮乏ヲ幾分タリトモ緩和スルニ
ハ、此施設ガ一番宜カラウト實ハ固ク
信ジテヤッタノデアリマス、御承知ノ通
リ私カラ申上ゲルマデモアリマセヌ
ガ、或ル機會ニモ私申シテ置キマシタ
ガ、從來ノ何レノ内閣トハ申シマセヌ
ガ、不景氣ノ際ニ失業者ガ起ッテ來ルト
云フ時ハ、能ク都會ノ失業者、六大都
市ニ於ケル自由労働者ヲ救フト云フ方

ニ農村ノ生活狀態ガ非常ニ下ガルノデアリマス、眼ニ著カヌカラ都會ニサヘ居ラヌクレバ宜シイト云フヤウナ考ガ若シ當局者ニアリマシタナラバ、大變ナ誤リデアルト云フコトハ、實ハ私ガ深く主張シテ居ルノデアリマス、故ニ此度モ先頃政友會ノ有力者ノ方々カラ、政府ハ失業者ガ三十六、七萬ト云フケレドモ、農村ヘ歸農シタモノハ既ニ三十萬以上アルト云フ御話ガアッタ、此三十萬ト云フ數字ハ如何デアアルカ知ラヌガ斯ウ云フヤウナ、從來都會ニ自由労働者ガ居ルコトヲウルサガッタト申シテハ語弊ガアルカ知ラヌガ、之ヲ救済スル意味デアリマセウガ、歸農セイ／＼ト云フ、農村ガ今日ノ不景氣ノ際ニ、從來ノ都會ニ出テ居ッタ次男坊三男坊ガ農村ニ歸ッテゴロ／＼寝テ居ルト云フコトハ、農村ノ不景氣ヲ一層激シクスルノデアリマスルガ故ニ、農產物ノ價格ノ下落ニ依ッテ受ケル所ノ此疲弊ト、或ハ都會カラ地方ニウロウロシタ餘レル労働者ガ歸ッテ來テ、農村ハ一層激シク困ルト云フ點カラ、此度ハ中心ハヤハリ失業救済、失業防止ノ意味ヲ以テ行ヒ、之ヲヤリサヘスレバ東郷サンノ御話ノ通り國庫ガ金ヲ出スノデナク、自分ガ負債ヲ致シテ此仕事ヲスルカラ、餘リ有難クナイト云フヤウナ意味ニ近イ御意向ガアッタガ、サウ

モ見ラレマス、併シ御承知ノ通り今マデ金ヲ出シテ居ル、例ヘバ開墾助成ダトカ、用排水幹線工事ノ改良ト云フヤウナコトハ、四割若クハ五割ト云フモノハ國庫ガ出シテ居ッタ、後トハ地方ガ共同デヤッテ居リマス、併シ此度ノハ斯様ナモノニ對シテハ二十九年トカ二十年トカ、長イ間三分五厘デ金ヲ貸シテ、働イタ結果ハ自分ノ富ヲ増スト云フ意味ガ是ニ加ッテ同時ニ剩レル労働ニ向ッテ、自ラ費ス所ノ労働ニ對シテハ此金デ賃銀ヲ拂ッテ貰フト云フ意味デ、凡ソ七千萬圓ノ中ノ平均七割乃至八割ハ労働ノ賃銀デアリマス、労働ノ賃銀即チ農家ガ自ラ自分ノ富ヲ増ス努力ニ對シテ相當ナ値ヲ拂ッテ貰フト云フ意味デ、其數ハ三千百萬ノ延人員トナリ三年間ノ計算ニスルト十九萬圓、之ニ桑ヲ植エタ努力ナント云フヤウナモノヲ皆入レルト、二十一萬圓近ク——此

自分ノ富ヲ増ス、私ハ是ハ一石三鳥位ノ意味ガ是ニ含ンデ居リハセヌカト、餘程得意ナ積リデ居リマスノニ、今ノ御批評ヲ受ケテ甚ダ落膽モ致シ、私共ノ希望ガ徹底シナカッタコトヲ遺憾トスル位ナ積リデアリマス

○東郷委員 農林大臣ハエライ效能ノアルヤウニ御考デヤッテオイデニナルヤウデアリマス、所ガ事實ハ中々サウ思フヤウニ進マナイコトニ承ルノヲ遺憾ニ思ヒマスガ、唯私ハ今農林大臣ノ御話ノ中ニ非常ニ御自慢ノ御考ノヤウニ思ハレルノハ、農林大臣ハ此問題ガ閣議決定ノ場合ニ、所謂昨年ノ八月十九日ニ聲明シテ居ラレル中ニ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居リマス「失業救済ハ目下ノ急務ニシテ都市ト共ニ農山漁村ヲ通ジ夫々應急ノ對策ヲ實行スルハ獨リ村落ノ剩餘努力ヲ動員シ得ルノミナラズ、都市ニ於ケル失業者ノ歸農ヲ容易ナラシメ、自テ國內全般ノ失業ヲ緩和スルニ至ルベシ」云々ト云ッテヤウナ御聲明ガアッタヤウニ記憶致シマス、此御聲明ト同ジヤウナ御趣旨ヲ只今農林大臣ハ御話下サッタト私ハ聽イテ居リマスガ、此從來ノ失業對策ガ専ラ六大都市ニ限ラレテ居ッタト云フ其缺點ノアルコトハ私ハ御同感デアリマス

○西村委員長 一寸御中言デスガ、御承知ノ通り小作法ノ委員會ガ先刻カラ

○東郷委員 農林大臣ハエライ效能ノアルヤウニ御考デヤッテオイデニナルヤウデアリマス、所ガ事實ハ中々サウ思フヤウニ進マナイコトニ承ルノヲ遺憾ニ思ヒマスガ、唯私ハ今農林大臣ノ御話ノ中ニ非常ニ御自慢ノ御考ノヤウニ思ハレルノハ、農林大臣ハ此問題ガ閣議決定ノ場合ニ、所謂昨年ノ八月十九日ニ聲明シテ居ラレル中ニ、斯ウ云フコトヲ言ッテ居リマス「失業救済ハ目下ノ急務ニシテ都市ト共ニ農山漁村ヲ通ジ夫々應急ノ對策ヲ實行スルハ獨リ村落ノ剩餘努力ヲ動員シ得ルノミナラズ、都市ニ於ケル失業者ノ歸農ヲ容易ナラシメ、自テ國內全般ノ失業ヲ緩和スルニ至ルベシ」云々ト云ッテヤウナ御聲明ガアッタヤウニ記憶致シマス、此御聲明ト同ジヤウナ御趣旨ヲ只今農林大臣ハ御話下サッタト私ハ聽イテ居リマスガ、此從來ノ失業對策ガ専ラ六大都市ニ限ラレテ居ッタト云フ其缺點ノアルコトハ私ハ御同感デアリマス

○町田國務大臣 先刻カラ私ガ顔ヲ出サスト散會シナケレバナラヌヤウニ切迫ヲシテ居ルノデスカラ……

○東郷委員 私ノ質問ハモウ少シデ終ルノデスカネ……

○町田國務大臣 先刻カラ私ガ顔ヲ出サスト散會シナケレバナラヌヤウニ切迫ヲシテ居ルノデスカラ……

○東郷委員 ソレデハ暫ク休憩シテハ如何デスカ

○西村委員長 ソレデハ甚ダ失禮デスケレドモ、三時マデ休憩致シマス

午後二時三十分休憩

午後三時五十分開議

○西村委員長 ソレデハ休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス——東郷君

○東郷委員 先程私質問ノ途中休憩ニナリマシタカラ繰返シテ申上ゲナケレバナリマセスガ、七千萬圓ノ低利資金融通ノコトガ八月十九日ニ閣議デ御決定ニナッタ際、農林大臣ガ聲明シテ居ラレル、其御聲明ノ一部ヲ先程私申上ゲマシタカラ、ソレハ繰返シテ申上ゲマセスガ、要スルニ先程農林大臣モ御話ニナッタヤウニ、是ハ單ニ農村ニ於ケル失業者ヲ救済スルバカリデナク、都

○西村委員長 一寸御中言デスガ、御承知ノ通り小作法ノ委員會ガ先刻カラ

○東郷委員 先程私質問ノ途中休憩ニナリマシタカラ繰返シテ申上ゲナケレバナリマセスガ、七千萬圓ノ低利資金融通ノコトガ八月十九日ニ閣議デ御決定ニナッタ際、農林大臣ガ聲明シテ居ラレル、其御聲明ノ一部ヲ先程私申上ゲマシタカラ、ソレハ繰返シテ申上ゲマセスガ、要スルニ先程農林大臣モ御話ニナッタヤウニ、是ハ單ニ農村ニ於ケル失業者ヲ救済スルバカリデナク、都

○西村委員長 一寸御中言デスガ、御承知ノ通り小作法ノ委員會ガ先刻カラ

○東郷委員 先程私質問ノ途中休憩ニナリマシタカラ繰返シテ申上ゲナケレバナリマセスガ、七千萬圓ノ低利資金融通ノコトガ八月十九日ニ閣議デ御決定ニナッタ際、農林大臣ガ聲明シテ居ラレル、其御聲明ノ一部ヲ先程私申上ゲマシタカラ、ソレハ繰返シテ申上ゲマセスガ、要スルニ先程農林大臣モ御話ニナッタヤウニ、是ハ單ニ農村ニ於ケル失業者ヲ救済スルバカリデナク、都

○西村委員長 一寸御中言デスガ、御承知ノ通り小作法ノ委員會ガ先刻カラ

○西村委員長 一寸御中言デスガ、御承知ノ通り小作法ノ委員會ガ先刻カラ

○東郷委員 先程私質問ノ途中休憩ニナリマシタカラ繰返シテ申上ゲナケレバナリマセスガ、七千萬圓ノ低利資金融通ノコトガ八月十九日ニ閣議デ御決定ニナッタ際、農林大臣ガ聲明シテ居ラレル、其御聲明ノ一部ヲ先程私申上ゲマシタカラ、ソレハ繰返シテ申上ゲマセスガ、要スルニ先程農林大臣モ御話ニナッタヤウニ、是ハ單ニ農村ニ於ケル失業者ヲ救済スルバカリデナク、都

○西村委員長 一寸御中言デスガ、御承知ノ通り小作法ノ委員會ガ先刻カラ

○東郷委員 先程私質問ノ途中休憩ニナリマシタカラ繰返シテ申上ゲナケレバナリマセスガ、七千萬圓ノ低利資金融通ノコトガ八月十九日ニ閣議デ御決定ニナッタ際、農林大臣ガ聲明シテ居ラレル、其御聲明ノ一部ヲ先程私申上ゲマシタカラ、ソレハ繰返シテ申上ゲマセスガ、要スルニ先程農林大臣モ御話ニナッタヤウニ、是ハ單ニ農村ニ於ケル失業者ヲ救済スルバカリデナク、都

○西村委員長 一寸御中言デスガ、御承知ノ通り小作法ノ委員會ガ先刻カラ

會其他ノ工業地ニ於テ失業者ニナッタ者ノ、所謂歸農ヲ容易ナラシムル爲ニ、之ヲヤルノデアル、斯ウ云フ意味ノ御聲明ガアッタヤウニ承知致シテ居リマス、デスカラ要スルニ是ハ政府ガ低利資金ノ融通ヲシテ、ソレヲ農村ガ借リテ農村自ラノ經濟ニ依ッテ失業救済ノ任務ヲ全ウスル、而モソレハ單ニ農村ニ於ケル失業者ダケデハナク、都會工業地ニ於ケル失業者ヲモ歸農セシメテ之ヲ救済スル、斯ウ云フコトデアルカラ、救済ノ範圍ヲ御擴張メニナッタ點ニ於テハ私洵ニ結構ト思ヒマスガ、併ナガラ此方法デ以テ歸農者ニ便利ヲ與ヘル、歸農ヲ容易ナラシムルト云フ御方針ガ、果シテ今日ノ行詰ッタ農村ヲ救済スル上ニ於テ適切デアルダラウカト云フコトニ付テ、私ハ非常ニ疑念ヲ持ッテ居ルノデアリマス、第一ニハ斯ウ云フ點カラ考ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、農村デ農村ノ父兄ガ教育費ヲ負擔シテ、一人前ノ働キ盛リノ青年ヲ造リ上ゲルト、其農村ノ青年ハ、申上ゲルマデモナク、盛ンニ都會ナリ工業地ナリニ趨ッテ行ク、サウシテ工業地デ働ク、即チ此勞働者ノ能力ヲ造リ上ゲル負擔ハ農村ガスルガ、其努力ヲ利用スル者ハ都會若クハ工業者デアル、然ルニ一旦此不景氣ノ結果、工業界ガ不況ニナッテ、其損失ヲ補填スル爲ニ或

ハ操短ヲヤリ、或ハ勞銀ノ値下ゲヲスル、或ハ解雇スルト云フコトニナッテ、ソコニ失業者ガ出ル、其失業者ヲ今度ハ農村ニ戻シテ、農村自ラノ經費ニ依テ、農村ニ於ケル失業者ヲ救済スル、斯ウ云フコトニナルト、マルデ農村ハ斯ウ云ッタヤウナ工業勞働者ヲ己レノ手ニ依テ造リ上ゲテヤッテ、而シテ工業者ノ都合ニ依テソレガ失業者ニナリ、農村ニ追返サレルト、又自分ノ經濟ニ於テ之ヲ救ハナケレバナラヌト云フコトニナッテ、洵ニ農民ハ、非常ナ負擔ヲ課セラレルコトニナリマス、是ハサラニダニ負擔ノ不公平ナ農村ニ、此悲境ノ場合ニ、政府ガサウ云ッタヤウナ負擔ヲ課セラレルト云フコトガ適切デアルカ、私ハ非常ナル疑問ダト思フノデアリマスガ、此點ヲ御考ニナッテ此方策ヲ講ゼラレタカドウカ其邊ヲ承リタイ、モウ一ツハ私共ハ申上ゲルマデモナク今日農村ニ於ケル土地ニ對スル人口ノ割合ハ、所謂人口過多デアル、一戸當リガ一町一反何ガシト云フヤウナ平均耕地ニシカ當ラス、今日私ハ日本ノ農村ガ非常ニ經濟的ニ行詰リ、農家ガ困難ナ立場ニ置カレル主ナル原因ノ一ツハ此點ニアリハセヌカ、所謂日本ノ農業經營ガ餘リニ過少デアル、ダカラ一度米ノ値ガ安クナリ、繭ノ値ガ安クナルト、二進モ三進モ行カクナル

ト云フヤウナコトニナルノデアッテ、本當ニ日本ノ農村ヲ堅實ニ、經濟的ニ發達サセルナラバ、モウ少シ農村ノ餘ッタ人間ヲ他ニ移シテ、農家經營ノ面積ヲ殖ヤシテ行ク、斯ウ云フコトガ私ハ農政ノ上ニ於テ最モ必要ナリ方デヤナイカト思フノデアリマス、此點カラ言ヘバ寧ロ農村ノ者ヲ他ニ移スト云フコトガ必要ナノデアアル、サウ云フ實狀ニ在ル所ニ歸農者ヲ獎勵スルヤウナ施設ヲシ、農家自ラノ負擔ニ依テ救済スルヤウナ策ヲ御樹テニナルト云フコトハ、非常ナ是ハ農村ヲ或點ニ於テ窮迫ニ導ク一ツノ導火線ニナルノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ疑ヲ私ハ持ッテ居リマスガ、之ニ付テ農林大臣ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居リマスカ、此二點ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○町田國務大臣 第一問ニ付テ御答申上ゲマスガ、私ハ今書類ヲ持ッテ居リマセヌカラ、歸農ヲ容易ナラシムルト云フ意味ノ言葉ヲ使ッテアッタカ否ヤハッキリシマセヌ、併シ原案ヲ書イタ人ノ心持ハ、多少サウ云フ意味ガアッタカト、私モ其當時カラ懸念シテ居リマシタ、其意味ハ都會ノ失業者ニ對シ、御前達ハ歸農スルガ宜イト云フコトヲ當局者ノ或ル方面デ能ク言フ癪ガアルト云フコトヲハッキリ申シマシタガ此癪ハ私ハ甚ダ氣ニ入ラヌノデアリマス、從來サウ云フヤウナ考ガアリマシタ、當時ハ大抵失業救済ト言ヘバ六大都市ノ自由勞働者デ、何カ道路工事等ハ土木事業ヲ起ストカ、六大都市ニ限ッタヤウナヤリ方ヲ講ジタノデアリマス、歸農ヲ容易ナラシムルト云フノハ、歸農スルコトヲ獎勵セイト云フ強イ意味ノ言葉ニ解シ得ラレル恐ガアルトスレバ、モウ少シ他ノ言葉ヲ使ッタ方ガ宜カッタラウト思フノデアリマス、果シテ其言葉ヲ使ッタカ否ヤ私ハ十分記憶致シマセヌガ、多少ソノナ意味ノ考ガ從來ノ當局者ニアルコトハ私ガ申シタ通りデアリマス、唯其意味ハ斯様デアッタヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、言葉ハ少シハッキリ致シマセヌガ、都會デ仕事ガ無クナルト、農村カラ來テ居ル者ハ、從來ノ習慣ニ依ッテ多クハ農村ニ歸ルノデアリマス、併シ農村今日ノ疲弊ノ際ニ——兄モアリ親モアルト云フ自由勞働者ガ、都會デ失業スレバマア田舎ニ歸ラウト云フ考ヲ當然起スノデアリマスガ、農村ニ歸ッテ此疲弊ノ際、サナキダニ農家經濟ノ困ッテ居ル時ニ次男坊、三男坊ガ又歸ッテ來テ、職業ガ無クシテデットシテ居ルト云フコトニナルト、大層農村ハ困ル、此點ニ私モ重キヲ置イテ、預金部資金ノ乏シクナッタ今日ニ於テ七千萬圓出サセルノハ——實ハ内輪ノ事情ヲ申シテハ相濟ミマ

セヌガ、委員會ヲ通スマデニハ農林當局ノ方ノ努力ガ餘程アッタノデアリマシタガ、ソレハ別トシマシテ、私ガ先刻申上ゲタ通り從來ノ六大都市ノ失業者ヲ救済スルト云フ考ヲモット廣クシマシテ、此度ハ例外トシテ三千萬圓ノ公債ヲ募集シテマデモ失業者ヲ救済シテヤルト云フ意味ヲ各府縣ニ及ボシマシテ、農村ニ勞力ガ餘ッテ居リマス、其勞力ヲ自分ノ生レタ府縣ノ土木工事ノ方ニマデ進ンデ行カレルヤウニ、各府縣ニ行渡ッタ行ノ失業防上、若クハ失業救済ノ爲ニ起ス土木等ノ仕事ニ、農村カラモ出テ來ルヤウニシマシテ、ソコハ入り亂レテ互ニ相救済スルト云フコトニ相成ッタノデアリマスカラ、農村ニバカリ困ッタ者ガアッテ、之ヲ救済スルト申サズニ、一面失業公債ヲ起シテ土木工事ヲヤルニモ、農村ノ餘ッタ人間ガ出テ行カレルト云フ按配ニ、此處ハ互ニ融通ヲ付ケルヤウナ形ニ相成ッタ、即チ六大都市ニ限ッタ從來ノヤリ方ヲ變ヘサシタノデアリマス、ソレニハ私モ相當努力シテ、間接ニ農村ノ餘ッタ勞力モ救済出來ルヤウニト考ヘタノデアリマス

ル農村今日ノ事情カラ見マスカラバ、モウ少シ進ンダ農業經營ヲ致ス——田地、畑地ヲ合セテ平均一町步前後ヲ以テ一農家ノ經營ヲ致シテ居ル今日ノ狀態ヲ、大體ニ於テ東郷君ト同ジク次第ニ農業經營ヲ合理化シテ參リ、共同經營、其他農具ノ使用、畜力ノ使用等、色々農事經營ノ改善ノ方法ニ依リマセスト、農家ノ生活狀態ヲ他ノ商工業者ノ生活狀態ト同ジ水準ニ向上セシムルニハ、今ノヤリ方デハ困難ト思ヒマス、將來ハ餘レル農家ノ農業勞力ヲ、農業以外ノ工業其他ノ方面ニ、漸ク逐ウテ移スコトニシナケレバ、農家ノ生活狀態ノ向上ハ餘程困難ト思ヒマス、併シ之ヲ急ニヤリマス、茲ニ非常ナ勞力ノ過剰ガ生ジマシテ、或ハ就職難ガ一層激シクナリ、隨テ思想問題ニマデ及ボス虞ガアルト云フコトモ一方ニ考慮シナケレバナリマセスカラ、大體ノ御趣意ニハ私共御同感デアリマスガ、餘リニ是ハ急激ニヤルト、日本ノ經濟組織ヲ根柢ヨリ改メルト云フヤウナ狀態ニ相成リマスルガ故ニ、一面ニハ農業以外ノ勞働ノ分量ヲ殖ヤスト同時ニ、出來ルナラバ農業經營方法ヲ變ヘテ勞力ヲ減ラシ、生産費ヲ節約シテ、農家經濟ニ相當ノ餘裕ヲ與ヘル爲ニハ、今ノ耕地面積——獨リ耕地ノミナラズ農業トシテ働イテ居ル總テノモノ

ノ上ニ於テ、農家ノ力ガ剩ルコトガ必ズ起ル、又之ヲ適當ニ按配シテ參ルニ付テハ、農業改善ノ施設モ相當漸ク逐ウテ進マナケレバ相成ラヌ、斯様ナ「ジレンマ」ノ結果ニナルヤウナ傾ガアルノデ、兩方面カラ考ヘテ居リマス

○東郷委員 只今大臣ノ御答辯ノ第一第二段ハ、私ノ御尋シタコト、少シ違ッテ居リマス、詰リ今日農村ハ人口ノ點ニ於テ寧ろ過剰デハナイカ、ソレナノニ政府ガ都會工業地ニ於ケル失業率ヲ歸農マデサシテサウシテ農村デ失業救済ヲサレルト云フコトニナルト益此疲弊ヲ助長スル結果ニナリハセンカト云フコトヲ御尋シタ譯デアリマス、併シ大體ニ於ケル御答辯カラ見マスレバ、サウ云フ結果ニナルコトヲ御認メ下サッヤウニ思ヒマス、ソレカラ第一ノ問題ハ、先程私ガ讀上ゲマシタヤウニ、歸農ヲ容易ナラシメル云々ト、斯ウ御聲明ニナッテ居ルノデアリマスカラ、是カラ見マス、詰リ農村出身ノ者ガ失業シテ都會ニ居ル、ソレヲ郷里ニ容易ニ歸リ得ルヤウニシテ、サウシテ郷里デ失業救済ヲヤルノデアアル、サウシテ其金ハ誰ガ出スカト言ヘバ國家ガ出スノデハナイ、或ハ地方自治體ガ出スノデハナイ、主トシテ農民自ラガ政府ノ低利資金ノ融通ニ依ッテ借金ヲシテヤル、斯ウ云フヤリ方デアリマス、私ハ

サウ解釋シテ居リマス、是ハ間違ッテ居ルト思フ、サウ云フ意味デハナイノダ、歸農スル場合ニソレヲ救済スルト云フ意味ダケナラバ茲ニ御誦ヒニナラヌデ宜イ譯デアリマス、默ッテ此出デニナッテモ何十萬ト云フ歸農者ガアルノデアアル、ソレヲ唯救済スルト云フノナラバ所謂農村ノ失業救済ニナルノデアアルカラ御誦ヒニナラヌ答デアリマス、ソレヲ特ニ御誦ヒニナッタト云フノハ、確ニ何處カニサウ云フ意味ガアルノダラウト解釋致サナケレバナラヌ、併シ農林大臣ガサウデナイト云フナラバ、其御聲明ヲハッキリ御訂正ニナラナケレバイケナイノデハナイカト考ヘマスガ、其點ハ如何デアリマセウ

○町田國務大臣 前ノ御答ハ眞ニ私ノ考ヘテ居ル通りヲ申上ゲマシタ、歸農者ヲ容易ナラシメルト云フ言葉ハ、見方ニ依レバ多少ノ語弊ガアルヤウニ思ヒマス、併シ本來ノ建方ハ、都會ニ於テ失業スルト、俗ニ申ス次男坊三男坊ハ、自分ノ郷里ニ歸ルノデアリマス、其歸ッタノヲ遊バシテ置ク譯ニハ行カヌ意味モ、此間ニ含ンデ居ルコトハ申スマデモナイ、ト同時ニ更ニ進ンデ私ノ考ハ始終唯都會デ餘ッタヤツハ田舎ニ行ケバドウカナルダラウトシテ、中央ニ居ル人ノ目ニ觸レナイ所ニ農村ノ惱ミガ從來アリマスガ故ニ、此點ニ對シテ

ハ、私ナドモ相當ヤカマシク言ウテ、
六大都市ニ限ッテ自由労働者ヲ救済ス
ルダケデハイカヌ、全國ニ及ボスベシ
ト云フ意味ヲ以テ、此度ノ失業公債ニ
依ル所ノ失業救済ガ出來テ居リマス、此
意味カラ申シマスレバ、各府縣ニ於テ
土木事業其他ノ事業ヲヤリマス、又逆
ニ農村ノ餘ッタ人間ガ出テ之ニ從事ス
ルコトモ同様デアリマスカラ、ソコハ
互ニ出入致スコト、御承知下サツテ戴
キタイ、私共ノ容易ナラシムルト云フ意
味ハ、勢ヒ次男坊三男坊ガ、東京カラ失
業者トシテ歸ル者ガ多イノヲ、之ヲ儘
ニシテ置クコトハイカヌト云フ意味モ
入ッテ居リマスルガ、唯東京ノ生活ニ慣
レテ、相當農村カラ見マスレバ、放漫ト
申ス言葉ハ宜シクナイカ知ラスガ、都會
風ノ生活ニ慣レテ、ソレヲ農村ニ傳播
サレルコトニ付テハ、常ニ警戒ヲ致シ
テ居リマスカラ、農村ノ美風ヲ維持スル
爲ニハヤハリ自由労働者ガ東京デ相當
ナ給料ヲ取ツテ、場合ニ依レバ、例ヘバ
敷島ヲ喫ンデ居ルト云フヤウナ形ヲ農
村ニ入レタクナイヤウナ考ハ常ニ持ッテ
居リマス、併シ又失業サヘスレバ、ヤハ
リ自分ノ牛レ故郷ニ歸ルト云フ人情カ
ラ、之ヲ拒ム譯ニ行キマセズ、行ッテサ
ウシテ農村ニ仕事ガ何モ無イト、一層
農村ヲ荒ラスカラ、無論此失業救済ノ
施設ヲ致ス中ニハ、農村ニ歸ル者モア
ルト云フコトハ考慮ノ中ニ入レマシタ
ル、全體ハ農村ノ不景氣ノ爲ニ農
村ニ於ケル労働ノ餘ッタモノヲ救フト
云フコトガ目的デアリマス同時ニ、
更ニ公債ヲ募ッテ、六大都市ニ限ラズ、
各府縣ニ相當ナ失業公債ノ事業ヲヤル
ト云フニハ、ヤハリ農村ニ於ケル餘
ル労働モ茲ニ引付ケル力ガアル、互ニ
相出入ガ其間ニシテ居ルト思ヒマス、
全國ヲ通ジテ農村ニ於テモ都會ニ於テ
モ、失業者ヲ少クシ、失業防止ヲスル
ト云フ、殊ニ失業公債ノ資金ト低利資
金トヲ合セテ、全體ニ及ブツノ完全
ト看做スベキ政策ト相成ツタ、合作デ出
來タ、斯ウ云フヤウニ御考ヲ願ヒタイ
○東郷委員 此失業公債ニ依ル失業者
ノ救済、是ハ別ナ問題デアルト思ヒマ
ス、此低利資金ヲ御融通ニナツタ時分ニ
ハ、失業公債ヲ募集シテ、失業救済ヲ
ヤルト云ツタヤウナコトハマダオキマ
リニナツテ居ラス、是ハ其前ニ出來テ居
ルノデスカラ、切離シテ考ヘナケレバ
イケナイ、ソレカラ失業公債ヲ以テノ
救済ヲ、單ニ六大都市ダケデハナイ、
地方ニモ之ヲ及ボシテ、サウシテ農村
ノ餘レル勞力ヲソレデ救済シテ行ク方
針ヲ探ツタト云フコトヲ頻ニ仰シヤル
ノデアリマス、ソレハ結構ナコトデア
ルト思ヒマスカラ、私ハソレハ反對致
シマセヌ、ガソレト是トハ別ナノデア
ル、私共ハ忌憚ナク言ヘバ、國家ノ緊
縮方針ニ依ッテ、少クトモ今日ノ失業者
ヲ續出サセル主ナル原因ヲナシタト云
フナラバ、自分ノ負擔ヲ以テ、其失業
者救済ニ大ナル努力ヲナサラナケレ
バナラヌ義務ガアルヂヤナイカト思ヒ
マス、然ルニソレハヤラヌデ、先程來
繰返シテ申上ゲマスヤウニ、此困ッテ居
ル農村ニ借金ヲサシテ、オ前達デ失業
救済ヲヤレ、ノミナラズソレハ都會デ
失業者ニナツタモノマデ歸農セシメテ、
サウシテ其救済マデヤレト云フ御政策
ハ、如何ニモ私ハ農村ニ同情アル政策
デハナイヤウナ氣ガ致スノデアリマ
ス、併シ是ハ私ノ意見ニナルカモ知レ
マセヌカラ、是以上申上ゲマセヌ、要
スルニ七千萬圓ノ此失業救済ノ御計畫
ハ、熱心ニ御計畫ニナツタモノデアリ
マセウガ、其結果ニ於テ甚ダ遺憾ナ點
ガアルヤウニ私ハ觀察セザルヲ得ナ
イ、其外ノ低制資金、或ハ米穀ノ應急
低利資金ノ如キハ、昨日大體御伺シマ
シタカラ、其成績ノ思ハシクナイコト
モ分ッテ居ル、又二千五百萬圓ノ中小商
工農業者ニ對スル資金モ、思フ様ニ行
カナイ、是モ御示ニナツタ材料ニ依ッテ
吾々ハ窺ヒ得ル、併シ是モ私申上ゲタ
ト思ヒマスガ、昨年夏以來方々歩イテ
聞イテ見ルト、誰カラカモ御話ガリマ
シタガ色々ナ事情ニ依ッテ中々借リラ
レナイ、其他ノ低利資金悉クサウ云フ
事情ニアルヤウデス、借リタイト思ッテ
モ中々借リラレナイ、偶、目的ヲ達シテ
配付ヲ受ケタガ、僅ニ十圓カ二十圓シ
カナイト云ツタヤウナ場合モ多イト云
ヤウナコトヲ地方ノ人ハ頻ニ訴ヘテ居
リマス、謂ハ、ソレダケノモノヲ借リ
ルニモ、非常ナ努力ヲシナケレバナラ
ヌ、努力ノ結果漸クソナヤウナモノニ
アリツクト云ツタヤウナ實情ノ場合ガ
多イ、即チ蚊ノ涙程ノ僅カノ金ヲ借リ
ルノニモ、豆粒ノヤウナ大キナ汗玉ヲ
流シテ努力シナケレバナラヌト云フヤ
ウナ農村ノ實情デアアルコトヲ思フ時、
私ハモウ少シ農村ノ窮狀ヲ救済スルニ
ハ、徹底的ノ御方法ヲ御考ヘ下サルコ
トガ至當デハナイカト考ヘルノデアリ
マスガ、低利資金ノ問題ハ、私ハ此程
度ニ措イテ次ニ進ミマス
私ハ以上ノ御尋ニ依ッテ、大體ノ農村
ノ經濟狀態而シテ之ニ對スル政府ノ對
策等ニ付テ一通リ御伺ガ出來マシタ
ガ、ソコデ私ハ此機會ニ於テ尙ホ承ッ
テ見タイト思ヒマスコトハ、二月二日
ノ豫算總會ノ質問應答ニ於テ、大藏大
臣ハ砂田君ノ質問ニ對シテ斯ウ云フ答
辯ヲシテ居ラレマス、農民ガ疲弊困憊
シテ居ルコトハ十分承知シテ居ル、ダ
カラ政府トシテハ是ダケノ處置ヲシテ
居ル、是デ十分デアリマス、是レ以上

ハ議論デス、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ルシ、又他ノ場所ニ於テ、先刻農村ニ對スル農林大臣ノ答辯サレタダケノ施設ヲシテ居ル譯デアリマス、斯ウ言ッテ居ラレマスガ、大藏大臣ハモウ現内閣ガ此行詰ッタ農村ニ對スル施設對策ハ是ダケデ十分デアリマス、是レ以上ハ議論デス、斯ウ言ッテ突放シテ居ラレマスガ、農林大臣モアナタノ立場カラ御考ニナリマシテ、今日ノ行詰ッタ農村ニ對スル對策ハ、是ダケデ十分デアルト御考ニナリマスガ、此大藏大臣ノ御答辯ハ不適切デアルト御考ニナリマスガ、御所見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○町田國務大臣 農村ノ今日ノ窮狀ヲ救フ爲ニ、マダ／＼考ヘナケレバナラヌコトモ多イシ、現ニ考ヘテ居ルコトモアリマス、ソレニハ屢、私ガ申ス通り、根本的ト申シテ宜シウゴザイマス

カ、或ハ、常時ニ對スル農村改善ノ施設ト申シテ宜シイカ、其施設モ多々アルト存ジマス、此異常ナル一般經濟界、就中農村ノ不振ニ對シテ、應急的ナ施設ヲヤラナケレバナラヌモノモマダマダアルト思ヒマス、先刻私ガ其中ノ斯様ナコトモ考ヘテ居ルト申シタノモ其一ツデアリマス、大藏大臣ガ是デ澤山デアルト言ハレタノハ、恐ラク言葉ノ出シ方ガ少シ不用意ト申シテ宜シイ

カ、考ヘ以上ニ強ク言葉ニ現ハレテ居ルノデハナイカト思ヒマス、其證據ニハ、差當リモット努力シ、一日モ早く實現シタイト日々苦心ラシテ居ル、一億五千萬圓ノ低利資金モ、何等カノ方法ヲ早く講ジテ、暫ク之ヲ延期若クハ借換ラシテ、此不景氣ノ際ニ年賦金ヲ取ルコトヲバ何トカ緩和シタイト云フコトニ對シテ、農林大臣ト同様大藏大臣モ努力シテ居リマスカラ、二月二日ニ答ヘマシタ澤山ダト云フコトハ、ドウ云フ意味デアッタカ知リマセスガ、事實ニ於テハソレデ澤山デナイカラ、モト色々ナ事ヲシタイト大藏大臣モ考ヘテ居ルコトダケハ、私ガ茲ニ責任ヲ以テ御答シテ宜イト思フ、大藏大臣ガマダ是デハ足ラヌト考ヘテ居ルコトノ一例トシテ、低利資金ノ借換ノ問題ニ對シテモ、目下兩大臣ノ間ニ苦心中デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○東郷委員 大藏大臣ガ十分デアルト言ハレタノハ、ソレハサウデハナイト農林大臣ハ御認ニナッテ居ル、私モサウダラウト思ヒマスガ、念ノ爲ニ確メテ置イタノデアリマス、ソレカラ更ニ大藏大臣ハ二月二日ノ豫算總會ニ於テ砂田君ノ質問ニ對シマシテ斯ウ云フコトヲ答辯ニナッテ居ラレマス、「此世界ノ不景氣ノ中ニ處シテ日本ダケガ景氣ガ好クナル、愉快ニ暮セル、人ガ有利ニ

暮セル、人ガエライ金儲ガ出來ルト云フコトガ考ヘラレマスガ、アナタ方ハ色々ナ御説ヲ唱ヘルケレドモ、是マデ農村ナリ總テガ自覺ガ足ラズ、放漫ナ考ヲ持ッタカラコンナコトニナッタノデアリマス」ト言ウテ居ラレマスガ、今日ノ我國ノ經濟ノ行詰リ、殊ニ農村ガ行詰ッタト云フコトハ、農村ナリ總テガト云フノデスカラ、農村ノ人ノミナラズ、日本國民總テガト云フ意味デアリマセウガ、自覺ガ足リナイデ、放漫ナ考ヲ持ッテ居ッタカラ斯ウ云フコトニナッタノダト、如何ニ今日ノ行詰リ、此農村ノ生活ノ窮迫ト云フモノハ、農民自ラノ罪デアルガ如ク述ベラレテ居リマスガ、之ニ付テハ農林大臣ハ所謂御立場カラ御考ニナレバ餘程御注意下サラナケレバナラヌ又重要ナ點デアラウト思ヒマスガ、農林大臣モサウ御考ニナリマスガ、今日ノ此行詰ッタ實狀ハ農村ナリ總テノ國民ノ自覺ガ足ラヌデ、放漫ナル考ヲ持ッテ居ッタカラ斯ウ云フコトニナッタト云フ大藏大臣ノ御答辯ニ御共鳴ニナリマスガ、之ヲ御伺シタ

御満足ノ行キヤウナ御答辯ハ出來スト思ヒマスガ、大體私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、申スマデモナク農家バカリデハナク、日本ノ財界ガ大戰以後ニ一時特別ナル理由ニ依ッテ膨脹シタ爲ニ、物價モ騰貴シ、盛ニ事業モ勃興シテ、其基礎ノ薄弱ナルモノモ少クナカッタ、同時ニ生活ノ程度モ、都鄙共ニ向上ト申シテ宜イカ、餘程進シダノデアリマス、之ニ對シテ政府モ國民モ又當時ハ左程ニ思ハナカッタガ、後カラ見レバ相當警戒スベキモノガアッタガ、大勢ノ赴ク所之ヲ止メルコトガ出來ズ、一時經濟界ノ膨脹ヲ來シテ其反動ガ來タノデア

ル、其間ニ都鄙共ニ永ク續ク、基礎アル、收入ニ伴ハザル生活ガ向上シタ事實ハアラウト思ヒマス、此處ニ居ラレ多木サンナドハ、始終其點ヲ御議論ニナッテ居ル、即チ經濟界ノ膨脹ニ伴ッテ、大阪邊ノ勞働者ガ非常ニ高イ賃銀ヲ取リ、之ガ爲ニ一時永續セザル收入ヲ基礎トシタ生活ガ向上シタ事實ハアルト思ヒマス、農村ノ負債ガ四五十億アルガ、此不況ノ際ニ何故ニ斯カル負債ガ出來タカ、其原因ヲ糺シテ惡原因ニ依ッテ生ジタ負債者ノ負債ハ其儘ニシテ置クト云フヤウナ殘酷ナル考ハナイガ、農村ニ負債ガ四五十億出來タ、其原因ヲ檢討シテ見マスト種々ナル原因ハアラウガ、一時米ガ五十圓、六十圓シテ

來ス所ガアリマス、隨ッテソレニ對シテ、私ガ同意致スカトノ御尋ニ對シテ

來ス所ガアリマス、隨ッテソレニ對シテ、私ガ同意致スカトノ御尋ニ對シテ

津々浦々マデ農家ノ生活ガ一時向上シ
タト申シテ宜イカ、或ハ改良シタト申
シテ宜イカ、兎ニ角生活ガ一時進シ、
此習慣ヲ一時ニ取除ク譯ニ行カズ、其
情性ノ爲ニ收入ニ伴ハザル生活ガ向上
シテ、ソレガ爲ニ負債ノ分量モ殖エタ
分ガアリハシナイカ、斯ウ云フ考ハ率
直ニ申ストアルト思ヒマス、其意味ノ
コトヲ或ハ大藏大臣ガ言ハレタノデハ
ナイカト思ヒマス、自覺ガ足ラナカッタ
爲ニ、農家其他一般ノ負債ガ殖エテ、
今日ノ不況ヲ來シタト云フノハ、斯様
ナ意味デ大藏大臣ガ申サレタノデハナ
イカト私ハ考ヘマス

○東郷委員 大藏大臣ノ言ハレタ其内
面的ナ考ヲ、農林大臣ニ御聞シテモ無
理デアリマスガ、併シ斯ウ云フコトヲ
言ハレテ居ルノハハッキリ農林大臣モ
頭ニ置イテ戴クコトガ必要デアルト思
フシ、又今ノ農林大臣ノ話カラ見ルト
或程度マデ御認ニナツテ居ル、詰リ今日
農村ノ行詰ハ好景氣時代ノ所謂生活ガ
贅澤ニナツタ其爲デアル、斯ウ云フヤウ
ナ點モアルヤウニ御話ニナツテ居リマ
スガ、ソレハ幾分アツタカモ知レヌ、ア
タカモ知レヌガ、併ナガラ能ク農村ノ
コトハ御分リダラウト思ヒマスガ、農
村全體カラ見レバ、ソシナ贅澤ヲスル
ト云ツタ餘裕ノアル者ハホンノ一部分
デアルト思フ、ソレハ農林當局ハ既ニ

御承知ノコトデスカラ、茲ニ私ハ統計
ヤ數字ヲ以テ御説明申上ゲル必要ハナ
イト思フ、ダカラ今日物價ガ安クナッ
タ、サウシテ米ノ値ガ租稅ヲ納メルダ
ケモノイト云ツテ苦シンデ居ルノハ、オ
前達ガ自覺ガナクテ、放漫ナ考ヲ持ッ
ヤツテ來タカラコンナコトニナツタノ
ト云フヤウナコトヲ國務大臣ガ仰シヤ
ルコトハ、餘リニ農村ニ御理解ノナイ
是ハ放言ダト思フ、私ハ農林大臣ハ其
點ヲモット私達ノ考ヘテ居ルヤウナ意
味ニ御解釋ニナルダラウト思ッダガ、案
外サウデナカッタコトヲ甚ダ遺憾ニ思
ヒマス、サウシテ更ニ一步進シテ御伺
シテ置キマスガ、大藏大臣ハ今ノ御説
明ニ引續イテ、終リノ方ニ於テ、「大體
ヲ申シマス整理ノ時代——其整理時
代ニ際シテハ、先刻農村ニ對スル農林
大臣ノ答辯セラレタダケノ施設ヲシタ
譯デアリマス」ト、斯ウ言ッテ居ル、ダ
カラ今日ハ整理時代、此時代ニ於テハ、
先刻農林大臣ガ御述ニナツタ、其施設ヲ
シタ譯デアリマス、斯ウ言ハレテ居リ
マスカラ、詰リ先程ノアノ場合ニ於ケ
ル大藏大臣ノ考ト、此處デモ同ジナノ
ダ、今日ハ是ダケノ程度デ以テヤツテ
行ケバ先づ宜イノダ、斯ウ云フ御考ノ
ヤウニ私ハ思フノデス、ソコデ私ハ御
尋シタイト思ヒマスガ、今日ハ整理ス
ベキ時代デアル、是ハ財政上ノ意味モ

アリマセウ、或ハ放漫ナ經營ヲシテ居
タ工業其他ノ整理ヲヤル、現内閣ガ熱
心ニ御唱導ニナツテ居ル所謂産業ノ合
理化、斯ウ云ツタヤウナ意味ヲモ含マレ
テ居ルコト、思ヒマスガ、ソコデ私ハ
農林大臣ノ御考ヲ承リタイ、今日ノ商
工業ニハ、所謂合理化ヲ行ッテ、或ハ勞
働者ノ數ヲ減ラストカ、或ハ其他ノ無
駄ヲ排除シテ行クト云フヤウナ遣方ガ
必要デアリマセウ、又サウ云フ餘地モ
アリマセウガ、併ナガラ農村ニ今日果
シテサウ云フ餘地ガアリマセウカ、農
家經濟ノ生活ハ、先程農林大臣モ言ハ
レルヤウニ、或ル部分ニハ放漫ナ贅澤
ヲシテ居ッタ者ガアルカモ知レヌ、併シ
全體カラ申セバ負擔ハ重イ、借金ハ
多イ、ソレハオ前達ガ好景氣ノ時分ニ
勝手ナ事ヲシタシタカラト云フ議論モ
立チマセウガ、併シソレハ殘酷、事實
ハ現在五十億ノ借金ヲシテ居ル、其借
金ニ苦シミ、負擔ノ過重ニ先程來論議
シタヤウニ惱ンデ居ル、此際殆ド何物
モ餘裕ガナイノデス、サウ云フ場合ニ
農村ノ經營ノ上ニ整理ノ餘地ガアリマ
セウカ、生活ノ上ニ整理ノ餘地ガアリ
マセウカ、私ハ無イト思フ、ナゼナラ
バ私ガ説明申上ゲルマデモナク、日本
ノ農業經營ハ大企業ヂヤナイノデス、
大抵中小ノ、所謂自家勞力ニ於テ、自
作ナリ小作人ガ攷々營々トシテ經營シ

テ居ルノデアリマスカラ、力一バイニ
働イテ居ル、力一バイニ働イテ居ッテ、而
シテ幾ラ働イテモ働イテモ今日餘裕ガ
ナイ譯デス、斯ウ云フ場合ニコンナコ
トヲ申上ゲテハドウカト思ヒマスケレ
ドモ、私ハ此農村ノ實情カラ見ルト、
働イテモ働イテモ食ヘナイ、働ケド働
ケド吾ガ暮シ樂ニナラザル、ヂット手ヲ
見ルト云フ啄木ノ歌ガアリマスガ、
其儘ノ生活ガ今日ノ農村ノ真相デア
ル、サウ云フ所ニ整理ノ餘裕ハナイ、
一家五人デ耕シテ居ル、工業デアッタ
ラバ其中ノ一人ハ解雇スル、或ハ二人
ハ解雇スルト云ツタヤウナ方法ガアリ
マセウガ、農村ハ家族經營デスカラサ
ウ云フ方法ガナイ、而モ肥料代其他公
課ヲ除ケバ勞銀デアル、勞銀ヲ儉約シ
ヨウト言ツタツテ其餘地ガナイ、シテ見
レバ此農村ノ實情ハ、整理ヲスルニハ
家族ヲ勘當スルカ、ソレデナケレバ親
子心中デモシテ首ヲ縊ッテ死ヌヨリ外
ナイノデハナイカト、私ハ極端ニ言ヘ
バ思ハレルノデス、サウ云フヤウナ窮
境ニアル農村デアリマスガ、ソレデモ
尙ホ整理ノ時代ダカラ整理シナケレバ
ナラヌ、先刻農村ニ對スル農林大臣ノ
答辯サレタヤウナ施設ヲシテ居ルノ
ダ、ソレデ宜シイノダ、斯ウ云フ大藏
大臣ノ御答辯ハ甚ダ私ハ當ヲ得ナイ、
農村ヲ御理解ニナツテ居ナイ御答辯デ

ハナイカト思ヒマス、ソコデ私ハ農村ヲ能ク御理解ニナッテ居ル農林大臣ニ對シテ、大藏大臣ノ言ハレルヤウニ、今日農村ニ整理ノ餘地ガアリマセウカ、其點ニ關シテ御意見ヲ承ッテ置キタイ思ヒマス

○町田國務大臣 今日ノ質問應答ハ、

農村經濟ノ根柢ニ關スル御質問モアリ、私モ努メテ御理解ヲ得ルヤウニ申シテ置キマシタガ、只今御話ノ中ニ、言葉ノ綾ニ近イト私ハ失禮ナガラ解釋シテ居リマスガ、私ノ申シタコトヲバ、寧ロ申シタ以上ニ強ク解釋セラレテ御發言ニナッタコトモアリマス、私ハ一ソレニ私ノ考ヲ再ビ申述ベルト時間ガ掛リマスカラ、私ノ申シタ所ヲ速記録ニ付テ御讀ミ下サレバ、私ノ申シタ意味ト、東郷サンガ私ノ意味ヲ斯ウ解釋スルトシテ申サレタ意味ノ間ニ多少ノ相違ガアルヤウニ思ヒマス、餘程強イ言葉ヲ使ハレテ居ルヤウデアリマシタガ、併シソレハ速記録ニ就テ御覽ニナレバ、私ノ趣意ガ分ルコト、思ヒマスカラ、一々ソレニ對シテ反駁メイタ言葉ヲ使ッテ茲ニ繰返シハ致シマセヌ、大藏大臣ノ整理ト云フ言葉ハ、恐ラクハ私ハ今ノ商業全體ニ互ッテノ——農業モ入ッテ居ルカモ知レマセヌガ、主トシテ商業ノ今日ノ狀態ニ對シテ言ハレタコト、私ハ解釋シテ居マス、御話

ノ通り農業今日ノ狀態デ、極メテ規模ノ小サイ農業ニ於テ、餘リ整理スベキモノガ多クナイコトハ御同感デアリマヌ、若シ強ヒテ生産費ヲ出來ルダケ安クスル爲ニ、經營法ヲ改善スルト云フナラバ相當意味ガアリマス、併シ經營ヲ改善シテ、農家勞力ヲ極端ニ節約スルト云フ急激ナル方法ハ、今日我國ノ農業狀態ニ於テドウデアルカ、ヤリタクハアリマス、併シ農村勞力ヲ節約スル意味ニ於テノ農業經營ヲ餘リニ急激ニヤルコトハ、日本ノ經濟組織ノ根柢ニ餘程大ナル變化ヲ來シ、從テ餘レル勞働者ヲ如何ニスルカト云フコトニ對シテハ、商業其他ノ方面ニ用ヒルトシテモ、多少ノ時日ガ掛リマスカラ、

今ノ所デハ其方面ハ考ヘズニ、或ハ共同經營、畜力利用等ノコトニ付テ自然ニヤルコトヲ考ヘテ居リマス同時テ、耕地面積ノ狹隘ナルニ拘ラズ、集約耕作其他種々副業等ヲ獎勵シテ、今日ノ農業ノ狀態ヲ維持改善シテ行キタイト云フ考ヲ以テ居リマス、大藏大臣ノ言ハレタ、整理時代ガカラ整理スルガ宜イト云フ意味ハ、恐クハ主トシテ大戰當時ノ日本ニ於ケル經濟界ノ一時變態ナル膨脹ニ伴ッテ、基礎ノ確實ナラザル事業ガ非常ニ興ッテ、其結果目下非常ニ困難ナ狀態デアルカラ、之ヲ

合理化シ之ヲ整理スルト云フ方面ニ主トシテ言ハレタコトデ、農村問題ニ對シテハ、左様ナ強イ意味デナイト私ハ解釋シテ居リマス、併シ若シ是ガ農村問題ヲ解決スルニ、此點ヲ明白ニシテ行ク必要アリトスレバ、明日デモ大藏大臣ニ來テ貰ッテ、大藏大臣ノ眞意ヲ此處デ申述ベマスルコトニ努力致シテモ宜シウゴザイマス

○東郷委員 大藏大臣ノ言ハレタコト

デスカラ、是レ以上私申上ゲマセヌ、唯大藏大臣ノ言ハレタコトヲ農林大臣ハドウ御考ニナリマスカ、是ハ農村當局トシテ私ハ重大ダト思ヒマスカラ御話シテ置キマス、併シ大藏大臣ガ言ハレタコトハ、主トシテ商工方面ダラウト解釋スルト云フコトデアルガ、私ハサウデハナイト思フ、何トナレバ農村問題ニ付テ砂田君トノ質問應答ガ長ク續イテ、サウシテ農村對策ニ付テ御話ニナッテ、整理時代デアアル、此整理時代ニ對シテハ、農村ニ對シテ先程農林大臣ノ言ハレルヤウナ施設ヲシタノデハ決シテ私ガ言ヲ誇大ニシテ申上ゲルノデハナイト斯ウ信ジマス、併シ是ハ他ノ機會ニ於テ大藏大臣ニ御尋スル時ガアラウト思フカラ、是レ以上申上ゲマセヌ、唯私最後ニ此問題ニ付テ希望的ノ點ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマ

ス、私ハ何レノ内閣モサウカモ知レナイガ、ドウモ現内閣ハ農村ニ御理解ガナイヤウニ思フ、大藏大臣ガ只今言ハレタヤウナ點カラ考ヘテ見テモ、又昨日總理大臣代理ガ私ガ產業政策ノ根本ニ付テ御尋スルト、是ハ私ノ不得手ナ方面デアルト仰シヤル、苟モ一國ノ總理大臣ガ國務ノ大方針ヲ聽カレタ場合ニ、得手不得手ガアル筈ガナイ、サウ云フ氣分デ農村問題ノ御答ヲ爲サルト云フコトハ、實ニ私ハ遺憾ダト思フ、今日ノ特ニ行ッタ農村ヲ打開スルニハ總理大臣始メ、本當ニ眞劍ニヤッテ行カナケレバナラス、是ハ農林大臣モ御同感ダラウト思フ、私ハ斯ウ云フ處デ申上ゲテハ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、感極ッテ居リマスカラ御許ヲ得テ申上ゲテ見タイト思ヒマス、明治四十四年ノコトデスガ、歐羅巴デ牛肉ノ値ガ非常ニ上ツタ、歐羅巴各國ハコンナニ牛肉ノ値ガ上ツタノデハ生活ヲ脅スカラト云フノデ、此牛肉ニ對スル關稅撤廢ノ「デモンストレーション」ガ各國ヲ通ジテ盛シニナツタ、サウシテ外國ヨリ安イ牛肉ヲ持ッテ來ルコトニナツタ、其際獨逸ノ農政協會ガ伯林デ委員會ヲ開キ、其處ヘ「カイザー」ガ總理大臣、農林大臣等ヲ引連レテ臨席シテ、

トガ國民生活安定ノ爲ニ必要ナル所以
ヲ、堂々學術講演ヲ「カイザー」ガヤッ
タ、其次ニ總理大臣ガ同ジヤウナ熱心
ナル演說ヲシテ、吾々國家ヲ維持スル
上ニ於テ食糧自給ニ付テ吾々ノヤッテ
居ル政策ハ誤ッテ居ナイカラ、暫ク我慢
シテ、國民モ一緒ニ此大政策ヲ遂行シ
テ吳レト、熱心ニ大演說ヲシテ、輿論
ガドウデアラウト、自說ヲ執ッテ其政策
ヲ實行スルト言ッテ、翌日ノ「ペルリナ
ー、ターゲブラット」ガ、農業宰相――

思フ、大藏大臣然リ、私ハセメテ農林
大臣ハ農業農林大臣ト云フ氣分デ一ツ
一生懸命ニヤッテ戴キタイ、農村ノ農民
ヲ上カラ指導スル、監督スル意味デナ
ク、農村農民ヲ後楯ニシテ、其代表者
トシテ、此行詰ッタ農村ヲ打開スルト云
フ此重大ナル政策ヲ、一ツ自分ガ農業
農林大臣トナッテ打開シテヤルト云ッ
ヤウナ意氣込デ、町田農林大臣ガ御盡
力アラシコトヲ痛切ニ御願ヒ申上ゲル
ノデアリマス

○町田國務大臣 熱誠ナル御意見ヲ拜

「アグラール、ライヒスカンツラー」ト
云フ問題デ以テ非難攻撃ヲシテ居ッテ、
總理大臣ヲ農業主義ノ農業總理大臣ト
言ッテ非難シテ居ルノヲ見マシタ、其當
時私ハ伯林ニ居ッテ此新聞ヲ手ニシテ
實ニ此處ダト思ッテ、獨逸ガ商工業ガ盛
ンデアッテ、同時ニ農業ヲ維持シテ行ッ
タ、而シテソレガ他日アノ世界大戰爭
ニ世界ヲ敵トシ、而シテ敵ハ周圍ヲ封
鎖シ糧道ヲ絶ッテ、食糧攻ニシタケレド
モ、尙且ツ四年半ノ間國家ヲ維持シタ
所以ハ是ニアル、私ハ日本ノ農業總理
大臣ト世間カラ惡口ヲ言ハレルヤウナ
農業總理大臣ガ出ナケレバ、日本ノ今
日行詰ッタ此農村ノ實情ヲ打開スルコ
トハ出來ナイト思ッテ居ル、然ルニ總理
大臣代理ガ、其方面ハ不得手デアルナ
ドト云フヤウニ、公ノ委員會ノ席デ言
ハレルヤウナ有様デハ、實ニ心細イト

聽シテ、私トシテハ感謝ニ堪ヘマセス、
出來ルダケ御希望ニ副ヒタイト思ヒマ
ス、尙私モ幸ニ委員諸君ノ御許ヲ得テ
極ク簡單ニ私ノ意見ヲ申上ゲルコトガ
宜カラウト思ヒマス、歐羅巴戰爭ノ結
果、農業ノ問題ハ世界ヲ舉ゲテ重大視
スルヤウニ相成ッタコトハ御承知ノ通
リデアリマス、殊ニ獨逸ノ戰爭デ敗北
シタ原因等ヲ考ヘテ見マシテモ、只今
東郷サンガ、四十四年ノ當時ノ獨逸ノ
總理大臣ノ演說ヲ御引用ニナッタガ、戰
争後ニ於キマシテ、各國ノ經濟政策ハ
著シク變化ヲ來シテ居ルコトハ御承知
ノ通りデアリマシテ、殊ニ人口食糧問
題ニ對スル各國ノ根本政策ハ、餘程變
化シテ來タト私ハ思ッテ居リマス、我國
ニ於テハ世界ニ冠タル國體竝ニ尊重ス
ベキ歴史ヲ持ッテ居ルト云フコトハ申

スマデモナイ、元ハ農ヲ以テ立ッタ國デ
アリマスガ、世界ノ大戰ニ依ッテ、商工
業モ發達サセナケレバナラヌコトハ申
スマデモアリマセス、私ハ時々或ル公
會ノ席ナドデモ申シマスル通り、ドウ
シテモ世界ノ商工業ガ、結局農業ノ總
高ニ支配サレルト云フ此原則ヲ私ハ確
信シテ、今乏シキヲ農林當局ニ奉ジテ
居リマスガ、常ニ其覺悟ヲ持ッテ居リマ
ス、即チ三年前ノ萬國經濟會議ニ於ケ
ル決議ト云フコトヲ私ハ屢ニ申シマス
ガ、世界ノ商工業ノ繁榮ハ、結局農產
物ノ總高ニ依ッテ支配サレルト云フ原
則ノ下ニ決議ヲシタ、此意味ハ、其決
議ノ要ヲ得タコトニ私ハ深ク之ヲ信賴
シテ、就中日本ニ於キマシテ商工業ノ
繁榮ハ結局日本ノ農產物ノ總高ニ依
テ支配サレルト、斯ウ引直シテモ宜カ
ラウト思ヒマス、況ヤ日本ハ人口ノ過
半ヲ占メテ居ル農家經濟ガ裕カナラ
ヌケリヤ、商工業即チ日本ノ總テノ生
產費ニ對スル購買力ハ進ミマセス、一
面外國貿易ヲ主トシテ、輸出ヲ圖ルト
共ニ、過半數ヲ占メテ居ル農家經濟ヲ
出來ルダケ向上セシメテ、内地ニ於ケ
ル購買力ヲ盛ニスルニアラザレバ、商
工業モ繁榮シナイト云フ、此原則ニ對
シテハ私ハ深ク之ヲ信用シテ居リマ
ス、唯日本今日ノ狀態デハ一日モ早ク
經濟ノ建直シ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニセナ

クシテ、從來ノ如ク參レバ、恐ラクハ
經濟的若クハ對外的ニ日本ノ信用ヲ根
柢カラ破壊シ、隨テ日本ノ經濟界ニ今
日以上ノ恐ルベキ打撃ヲ來ス虞ガアル、
故ニ萬難ヲ排シテ、國民互ニ多少ノ苦
痛ヲ辛抱シテモ、先ヅ此大根本ヲ確立
スル爲ニハ、政府ト云ハズ國民ト云ハ
ズ相當ナ決心ヲ以テ之ヲ忍ブト云フ、
此對策ヲ先ヅキメルコトノ必要ガアル
ガ爲ニ、先頃カラ御話ノ金解禁ガ爲替
相場ヲ上セテ物價ヲ下落シタノデヤナ
イカ、節約方針ガ内地ニ於ケル購買力
ヲ幾分減ジタデヤナイカ、此點ニ對シ
テ日本不景氣ノ原因ノ一ツニハ算ヘ得
ラレルト云フコトハ私モ同意シテ居
ル、ドウゾ私ノ意ノ在ル所ヲ御諒承願
ヒタイノデアリマス

○東郷委員 私ハ大體大キナ方面カラ
農村ノ經濟的實體ニ付テ御尋ヲシテ、
大體ハ政府ノ考ハ分リマシタ、今度ハ
進ンデ米穀ノ問題ニ付テ御伺シタイノ
デアリマスガ、米穀法ニハイル前ニ少
シバカリ承ッテ置ク方が便宜ト思ヒマ
スカラ御尋致シマス

第一ハ私が申上ゲルマデモナク、現
下ノ米穀ハ非常ナ暴落デアリマス、石
十七圓、庭相場十五圓、一俵六圓位シ
カシナイト云フ狀態デアッテ、是デハ地
主モ、自作モ、小作人モ成立タナイ、
儲ガナイ、所謂生活苦ニ脅カサレテ居

ルノハ、主トシテ日本全國カラ言ヘバ米ノ値ノ不當ナル暴落ノ結果ダト斯ウ考ヘマスガ、此米ノ現在ノ價格ハ是デ適當デアルト御考ヘニナリマスカドウカ之ヲ承リタイト思ヒマス

○石黒政府委員 米價が大暴落ニ依リマシテ、其影響ヲ受ケテ下リマシタ其結果、農業關係者其他各方面ニ打撃ヲ與ヘテ居ルト云フコトハ、政府トシテモ認メテ居ル譯デアリマス、即チ其値段ト云フモノハ、安キニ失シテ居ルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、故ニ米穀法ニ依ル資金ハ少クナッテ居リマスケレドモ、之ヲ運用致シマシテ、前後二回ノ買上ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、其他色々ナ米穀政策ノ活動ヲ致シマシテ、外米ニ對シ其他色々ナ方策ヲ執リマシタヤウナ譯デアリマス、之ヲ以テ御諒承ヲ願ヒタイト考ヘマス

○東郷委員 現在ノ米價ハ適當デナイ、モット何トカシテ適當ナル所マデ持ッテ行ク、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ釣上ゲナクテハナルマイト、斯ウ云フ御考デアリマス、大略ヲ言ヘバ石十七圓ト云フ相場ハ適當デナイ、斯ウ云フ御考デアリマセウカ

○石黒政府委員 左様ニ考ヘテ居リマス、故ニ米穀法ノ發動ヲ極力致シマシテ買上ヲ致シテ、前後通計致シマスト三百萬石ト云フモノヲ市場ニ現レマス

ノヲ取去リマシテ、是ガ騰貴ヲ圖ラウト云フ考デ從來ヤリマシタノデアリマ

○東郷委員 只今ノ政府委員ノ御考デハ十七圓ハ安過ギルト云フ意味ノ御解釋ノヤウデアリマス、尙ホ序ニモウ少シ疑問ヲ質シテ置ク方ガ宜イト思ヒマス、御尋致シマス、現内閣ノ物價政策ハ所謂低物價政策ヲ執ッテ居ラレル、産業合理化ノ方カラ行ッテ、ソレモ目的デアリマセウシ、又事實財政ノ上カラシマシテモ、其他ノ色々ノ經濟上ノ施設ハ成ベク物價ヲ安クスル、ソレニハ生産費モ安クシナケレバナラスト云々、御盡力ニナッテ居ルヤウニ思ヒマス、此建前カラ言ヘバ、モット米ノ値ハ安イ方ガ結構ダト云ッテ御考デハナイノデアリマセウカ、井上大藏大臣ハ豫算總會ニ於テ、コンナコトモ言ッテ居リマス、米ハ買上ゲマス、併ナガラ米ハ買上ゲテモ米ノ値ヲ維持シ得ルカドウカ疑問ダト、斯ウ云ッテヤウナコトモ言ッテ居ラレマス、同ジ國務大臣デアアル大藏大臣ガサウ云フヤウナコトヲ言ッテ居ル所カラ見テモ、私ハ甚ダ疑問ガアルノデス、低物價政策カラ御考ヘニナッテモ、現在ノ石十七圓ハ少シ安キニ過ギルト云フ御考デアリマス、諄イヤウデハアルケレドモ、之ヲハッキリ致シテ置キタイト思ヒマスカラ、モ

ウ一遍御答ヲ願ヒマス

○石黒政府委員 現内閣ノ低物價政策ト云フコトニ付キマシテハ、私ガ御答ヲ致スダケノ地位デナイト思ヒマス、故ニ此事ハ御答申上ゲマセス、併ナガラ米價ノ十七圓ト云フモノハ低キニ失シテ居ル、故ニ米價調節ノ爲ニ米穀法ヲ發動セシメタト云フコトダケハ事實デアリマス、今申上ゲマシタ通りニ前後二回ノ買上ニ依リマシテ三百萬石ヲ市場ノ流動カラ取去リ封込メテ、米價ヲ幾分ナリトモ上ゲルト云フコトニ致シタイト努メタノデアリマス、之ニ對シマシテハ現内閣ノ對米價政策トシテヤッタモノデアリマスカラ、低物價政策ト云フモノガドウ云フモノデアリマスカ、私ハ茲ニ申上ゲル必要モナイト思ヒマス、何等ノ矛盾ハナイモノト私ハ考ヘテ居リマス

○町田國務大臣 只今農務局長カラ今日ノ米價ガ低落ノ程度ガ過ギテ居ルガ故ニ、米穀法ヲ發動シテ、所謂米價ノ暴落ヲ防グ意味ニ於テ既ニ三百萬石ヲ買入レ、二百數十萬石ヲ農家ニ貯藏セシメ、今日ハ既ニ七十萬石ト申シテ宜シイト思ヒマスガ、相當ノ價格ヲ以テ海外ニ輸出シテ數量ヲ減ラスコトニ努力シテ居ルナド、皆米價ノ低落ヲ防グ施設デアリマス、又外國カラ少クトモ二百萬石、多クテ五百萬石ハイッテ來ル

外國米ノ輸入ヲ、出來ルダケ防止スル政策ヲ執ッテ居ルノモ、皆米價ノ異常ナル低落ニ依ッテ、農村ニ及ボス惡影響ノ大ナルコトヲ考ヘマシタ施設デアリマス、ソレカラ大藏大臣ノ低物價政策ト云フコトハ色々ナ意味ガ其中ニハイッテ居ッテ、是ガ爲ニ施設サレタコトノ箇條モ多ク岐レルト思ヒマス、例ヘバ金解禁ヲ致シテ爲替相場ヲ本態ニ復スルノモ、其結果トシテ物價ハ或ル程度下ルノハ勿論デアリマス、消費節約ヲ致シタコトモ其方面デアリマス、就中最モ大ナル消費者タル政府並ニ町村府縣ニ及ンデ節約シタコトモ、物價低落ノ一ツノ原因ヲ爲シテ居ル、此物價低落ガヤガテ日本ノ貨幣制度ノ根柢ヲ固メ、輸出貿易ヲ盛ニシテ、茲ニ真正ナル基礎ノ下ニ經濟界ガ發展スルト云フ意味デアリマセウ、此點ニ對シテハ私モ無論同意デアリマスガ、併シ已ムヲ得ザルニ際シテ國家トシテ必要ナル應急施設ニ對シテハ大藏大臣ノ所謂低物價政策ニ逆行ト申シテハ如何カ知ラヌガ、ソレト併行スル以外ノ、稍、反對ノ方向ニ進ムコトノ政策ヲ執ルコトモ、已ムヲ得ザル必要ノ點ニ對シテハ執ッテ居リマス、例ヘバ先刻ヨリ御批評ノアツタ七千萬圓ノ低利資金ノ如キハ、此低利資金ガ出マセスケレバソレダケ通貨ノ膨脹ガ無クナリマス、隨テ低物價

政策ニハ都合ガ好イカ知リマセヌガ、農村今日ノ事情ニ鑑ミテ、大體ノ方針ハ大藏大臣ノ財政政策ヲ是ナリトシテ居リマスケレドモ、失業公債三千萬圓ヲ出ストカ、農村救済ノ爲ニ七千萬圓ノ低利資金ヲ出スト云フ特別ナ事情アルモノハ、大藏大臣ノ立テマシタル財政政策ノ流レヲ喰止メルノデハアリマセヌガ、其政策ノ實現ニ、多少ノ效果ノ現レル時間ヲ幾分カ延バヌダケノ、反對ナル現象ノ現レルト云フコトハ覺悟ノ前デアリマス、恐ラク農林省ノ七千萬圓ハ、若シ是ガ一時ニ出マスケレバ七千萬圓ノ通貨ヲ膨脹シ、隨テ物價低落ノ趨勢ヲ幾分カ緩メルト云フコトガアルノデアリマス、唯是ガ爲ニ農林省ニ於キマシテモ、現内閣ノ一般ノ財政政策ノ根本ニ妨ゲナイヤウニスル爲ニ、七千萬圓モ恐ラク一時ニ出マスマイ、數箇月掛リマセウ、其間ニ先ニ出タモノハ又中央ニ戻ッテ、後カラ出タモノガ地方ヘ行ク間ニハ、先ニ出タモノハ通貨收縮ノ形ヲ爲スト云フヤウナ按配ニ、根本ノ財政政策ト餘リ衝突セヌ意味ヲ以テヤッテ居ルノデ、農林省ノ此度ノ七千萬圓等ハ一言ニシテ申シマスレバ、財政政策ノ根本主義カラ見マスレバ、幾分其處ニ衝突ヲ來ス性質ニナリマスケレドモ、是ハ已ムヲ得マセヌ

○東郷委員 只今大臣ノ御答辯デ、現

内閣ガ低物價政策ヲ執ッテ居ラレル立場カラ見テモ、十七圓ノ相場ハ安過ぎルカラ之ヲモット上ゲナケレバナラス、斯ウ云フ御考ガハッキリ致シマシタ、ソレデハドノ位ノ程度ガ適當デアルト御考ヘニナリマセウカ、ソレヲ承ッテ見タイト思ヒマス

○石黒政府委員 私ハ只今御審議ヲ願ッテ居リマスル米穀法改正案ノ上カラ見マシテ、率勢米價下値二割、即チ十八圓幾ラニナリマスカ、其近邊以下ソレヲ下リマスケレバ、茲ニ買上ヲ出動ヲ致スト云フコトニスルノガ最モ適當ダラウト考ヘテ居リマス

○東郷委員 サウスレバ現在ノ相場ハ少クトモ十八圓何ガシデナケレバイケナイ、斯ウ承知致シテ宜イカト思ヒマス、ソコデ私ハ更ニ進ンデ御伺ヲ致シマスガ、先程大臣カラモ御説明ノアッタヤウニ、此米ノ對策トシテ曩ニ二百萬石ヲ御買上ニナリ、又最近第二次トシテ百萬石ヲ御買上ニ決シタ、其外或ハ米ノ輸入關稅ノ率ノ改正、或ハ制限ノ期間ノ延長ト云ッタヤウナコトヲ御實施ニナッタコトハ承知致シテ居リマス、關稅ノ定率ノ引上デアルトカ、制限ノ期間ノ延長デアルトカ云ッタヤウナコトハ、是ハ大體必要ナ場合ニハドウシテモサウ爲サラナケレバナラス施

大暴落ニ對シテ、サウ大シタ影響、效果ハ齎シ得ナイデハナイカト云ッタヤウナ感ジモ私致シマス、是ハ感ジダケノ話デアリマス、ソレカラ二百萬石ノ買上、更ニ第二次百萬石ノ買上、斯ウ云ッタヤウナコトヲヤッテ、政府ガ所謂現在ノ米價ハ適當デナイカラ、モウ少シ吊上ゲョウト云フヤウナ御苦心ニナッテ居リマスガ、ソレガ現在ドノ位ノ效果ヲ收メタデアリマセウカ、何カ其點御説明ガ得ラレルナラバ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石黒政府委員 ドウ云フ影響ヲ米價ノ上ニ齎シタカト云フコトハ是ハ米價表ヲ御覽願フノガ一番早イト思ヒマス、此買上ニ付キマシテ色々議論ガアリマシテ、思フ程ノ高値ヲ持來サナイ、是ハ高クナレバナル程宜シイト云フ風ニ考ヘテ居ル方面カラ言ヘバ、其通りデアラウト思ヒマス、併ナガラ買上ニ付キマシテ色々要求ノ條件ヲ考慮ニ入レマシテ、サウシテ多數農村ノ希望ヲ容レテヤッタ買上デアリマス、合計三百萬石ノ買上ヲ其方針ヲ以テヤッテ、是ダケノ買上ト云フモノハ是ハ積極消極ニ二百萬圓買上ノ效果ト云フモノハ、無論數量ノ上ニ於テ次第ニ米價ノ上ニ響イテ來ルト云フコトハ爭ハレナイ、吾々ハ其程度ニ於テ數量ヲ閉込メルト云フ方法ニ依ッテ出來ルダケノコ

トヲ致シテ、又外カラハイッテ來ルモノニ對シテ出來ルダケノ防ギヲ致シテ、其結果ヲ待ツ外方法ハナイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○東郷委員 是等ノ施設ガ米價ニドウ云フ影響ヲシタカト云フコトハ、米價表ヲ見レバ分ルト云フダケデ御説明ハナイノデスガ、私手許ニ米價表ヲ持ッテ居リマセヌカラ、政府當局ニ大體ノ御説明ヲ願フ積リデ御尋シタノデアリマス、ドウ云フ風ニナッテ居リマスカ、其細カイコトノ御説明ガ面倒ナラバ聽カヌデモ宜ウゴザイマス、聽カヌデモ宜ウゴザイマスガ、私ソレデハモット素人的ニ御尋致シマスガ、二回ニ互ッテ三百萬石ノ米ヲ御買上ニナッタガ、或ル意味ニ於テ此買上ノ時機ガ遅レテ居ッタ爲メニ、所謂餘リニ餘裕ノナイヤウナ方面ノ農家ニハ大シタ恩惠ガナカッタデハナイカ、第一回二百萬石モ其通りデアリマス、殊ニ第二回ノ今度オキメニナッタ買上モ、其通りデアルト云フヤウナ感ジガ致スコトガ一ツデス、ソレカラ三百萬石御買上ニナッテモ御理想ノ十八圓ニハ中々上リサウモナイデスガ、是ハ色々原因モアリマセウガ、サウスルト是ハドノ位今後御買上ニナレバ御理想ノ十八圓何ガシノ程度マデ行キ得ルカ、サウ云フコトニ何カ御目安ガ付イテ居リマセウカ、極ク素人分

リノスルヤウニ一ツ説明ヲ願ヒマス
○石黒政府委員 ドノ位買上ゲタラ十

八圓ニナルカト云フコトニ付テノ數量

ヲ申上ゲルコトハ、私トシテハ出來マ

セヌ、若シ逆ニ申上ゲレバ、十八圓ニ

ナルマデ買フ外、的確ニ十八圓ニスル

コトハ出來ナイト、斯ウ申上ゲルヨリ

外アリマセヌガ、ソレハ答ニナルマイ

ト思ヒマス、故ニ數量トシテ私カラ申

上ゲ兼ネマス、唯併シ御諒解ヲ願ハナ

ケレバナラスト思ヒマスルノハ、二回

ノ買上ト云フモノガ其機ヲ失シタヤウ

ナ御話ガアリマスルガ、是ハ農林當局

ト致シマシテハ最モ注意ヲ致シマシ

テ、出來ルダケノ材料ヲ、出來ルダケ速

ニ取揃ヘマシテ、米穀委員會ニモ諮リ

マシテ、二回共最モ急速ニ其審議ヲ經

マシテ買上ノ手段ヲ實行シタノデアリ

マス、此點ニ付キマシテハ色々ナ手續

カラ、サウ外部デ御考ヘニナル程速ニ

買フト云フコトハ出來兼ネルノデアリ

マ、只今ヤリマシタ二回ノ買上ト云フ

モノニ付キマシテハ、ソレハ私共ト

致シマシテハ出來ルダケノ努力ヲ致シ

タノデアリマス、ソレカラ米價ノ影響、

是ハ正確ナコトハ米價表ニ依ッテ御覽

ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、大

體ニ於キマシテハ御話ノ如ク十八圓ニ

達シテ居ラナイコトハ事實デアリマ

ス、併シナガラ之ニ依リマシテ異常ナ

ル低落ヲ防ギ得タト云フコトダケハ、

少ナクトモ言ヘルト考ヘルノデアリマ

ス

○東郷委員 買上ノ結果マダ十八圓ト

云フ理想ニハ達シテ居ナイ、併ナガラ

低落ノ傾向ヲ阻止シタト云フ效果ハ確

ニアルト云フ御話デアリマシタガ、ド

ウモ是ハムヅカシイ問題デアルト思フ

ノデス、果シテ低落ヲ十七圓デ止メタ

ノガ買上ノ結果デアッタカドウカト云

フコトハ、是ハ非常ニムヅカシイ問題

ダト思ヒマス、デスカラマア農林當局

ガ少クトモ米價ヲ今日十七圓臺ニ保

テ居ルコトハ、此效果ダト仰シヤレバ

ソレハサウ云フ解釋ガ出來ルカモ知レ

マセヌガ、ソレハ私ハ申上ゲマスマ

イ、唯先程農務局長ガ其效果ハ米價表

ヲ見レバ分ルト云フ御話デアリマシタ

ガ、私手許ニアリマセヌ、或ハ御示ニ

ナッテ居ル參考書ニアルナラバ何處ニ

アルカ御示ヲ願ヒタイノデス、詰リ米

ノ買入ヲヤッタ結果ノ效果ヲ數字ニ示

シテ戴キタイ、米ノ足取ガアルナラバ

ソレヲ示シテ戴キタイ、是ダケノ註文

ハ差支ナイト思ヒマスカラ御願致シマ

ス

○石黒政府委員 ソレハ早速拵ヘテ差

上ゲマス、前ノ方ハ數字ガ米穀要覽ニ

細カク書イテアリマス、ソレカラモウ

一ツ申上ゲテ置カナケレバナラスノ

ハ、若シモ米穀需給調節特別會計法ニ

於テ許サレタル資金ノ限度ガ、現在ノ

如キ狀態デナク、餘力ガ十分ニアルト

スレバ、是ハ買上以外ニ力ガ非常ニア

ラウト思ヒマス、併ナガラ御承知ノ如

キ現狀デアッテ、而シテ茲ニ買上ゲナケ

レバナラス數量ガ澤山アルト云フコト

デアリマスルカラ、ソコデ之ヲ使ッテ買

上ゲタガ宜シイカ、買上ニ何時デモ出

ラレルヤウニ殘シタガ宜シイカ、是ハ

餘程考ヘナケレバナラス點ダト思フノ

デアリマスガ、併ナガラ今回ノ如キ大

豐作、隨テ米價ノ低落ト云フコトヲ目

前ニ見マシテ、此法律ガ現存シテ居リ

マシテ、サウシテ餘力ガ少ナイト雖モ

茲ニアル、是ハ之ヲ買上ゲテ果シテ何

處マデ維持ガ出來ルカト云フコトハ明

確ニ承知スルコトハ此處デ發動シナケレ

來ルダケノコトハ此處デ發動シナケレ

バナラスト云フ狀況ニナッテ發動シタ

ノデアリマス、其點ハ十分ニ御諒承ヲ

願ッテ置キタイト思ヒマス

○東郷委員 事務的ノ御説明ハ承リマ

シタガ、私農林大臣ニモウ少シ承ッテ

罪キタイト思ヒマス、是ハ申上ゲルマ

デモナク今回ノ米價ノ大暴落、是ハ非

常時ノコトデアルト思ヒマス、一面ニ

於テハ非常ナ不景氣、ソレニ一面ニ於

テハ近來ト云フカ、未ダ會テナカッタ大

豐作、斯ウ云フヤウナ場合デアリマス

カラ、農林當局ト致シマシテハ、此對

策ハ餘程思切タル對策ヲ講ゼラレル、

所謂普通ニ遍ノ事務的ノ考デナクシ

テ、大決心ヲ以テ非常時ニ處セラレル

ト云ッタヤウナコトガ必要デアッタデハ

ナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、ソコ

デ私ハ此意味ニ於テ申上ゲテ宜イカド

ウカ知リマセヌガ、農林大臣モ御記憶

デアラウト思ヒマス、昨年八月二十九

日ニ私達同志ノ者ガ、農林大臣ノ官邸

ニ御訪ネ致シマシテ、ドウモ今年ノ米

ハ非常ノ豐作ノヤウデアルガ、若シ吾

吾ノ豫想シテ居ルヤウナ大豐作デアレ

バ、出來秋ニハ米ノ大暴落ヲ見ル虞ガ

アルト信ジマスガ、之ニ對シテ農林大

臣ハドウ云フ對策ヲ御考ヘナッテ居リ

マスカト云フコトヲ御尋ネ致シタコト

ガアリマス、ソレニ對シテ農林大臣ハ

御考ヲ御漏シニナリマシタ、吾々ハ農

林大臣ノ御考ニ對シテ、ドウカ出來秋

ノ非常時ニ對シテハ遺憾ナキ處置ヲ

執ッテ戴キタイト云フ御注文ヲ申上ゲ

テ引下ッタノデアリマスガ、是ハ農林大

臣モ御記憶デアラウト思ヒマス、八月

二十九日、吾々ハ八月二十九日頃カラ、

此出來秋ハ非常ノ場合ヲ生ミ出スニ違

ヒナイカラ、非常ナ決心ヲ以テ米ノ對

策ハ御考究ニナラナケレバナライ

ト、斯ウ申上ゲテ來タノデスガ、併ナ

ガラ實際ニ於テハ中々早急ニハ御運ビ

ニナラナカッタ、今農務局長ノ御話ノヤ
ウニ、色々事務的ニ直グニア、云フ方
法御買上ゲニナルノガ適切デアアルカ
モ知レヌガ、併ナガラ私ハ非常時ノ場
合ノ御處置トシテハ甚ダ手温イ、生温
イ御發動デアッタと思ヒマス、此點ハ甚
ダ遺憾ニ思ッテ居ルノデスガ、農林大臣
ガ大キナ立場カラ、アレガ最モ適切ナ
ヤリ方デアッタト御考ヘニナッテ居ルナ
ラバ、モウ少シ私達ノ納得ノ行クヤウ
ニ説明シテ戴キタイト思ヒマス、事務
的デナク御考ヘヲ願ヒマス

○町田國務大臣 私ノ御答ガ御満足デ
アルヤ否ヤ知リマセヌガ、チヨット數分
ノ時間ヲ——私ハ出來ルダケ御諒解ノ
得ルヤウニ努メマス、折ニ觸レテハ大
體申シマシタ、幸ヒ今日ハ各委員ガ御
集リノヤウデアリマスカラ、重大ナ問
題デアリマスカラ——私ノ昨年執リマ
シタ米價對策ノ大要ヲ申上ゲマス、
分ッテ五ツトナッテ居リマス、第一ハ先
刻東郷サンノ御話ニアッタ通り、關稅ノ
改正ヲ行ッテ、外國米ノ輸入ヲ防止スル
施設ガ一ツデアリマス、輸入許可制度
ヲ設ケマシテ、關稅以外ニ入ッテ來ルモ
ノニモ制限ヲ加ヘテ、例年少クトモ二
百萬石乃至五百萬石入ッテ來ル外國米
ノ輸入ヲ、出來ルダケ之ヲ防止スル政
策ヲ執ッタノデアリマス、御承知ノ通り
出來秋ニナリマシテ、翌年ノ二三月マ

デノ間ニ、米穀ノ價ノ著シク低落スル
ノガ日本ノ常態デアリマス、公租公課
ヲ納メル爲メノ必要上、多ク賣リ出ス
ト云フコトモアリマセウ、正月ヲ迎ヘ
ル爲ノ金ヲ調ヘル爲ニ、百姓ガ多ク賣
出スト云フコトモアリマセウ、併シ吾
吾ノ常ニ寒心致シテ居ルノハ、僅カニ
三ヶ月ノ間ニ、十一月以降二月マデノ
間ニ、朝鮮カラ内地ニ移入致シマスル
米ノ多クノ分量ガ、僅カ此三四ヶ月ノ
間ニ内地ニ殺倒シテ、是ガ爲ニ内地ノ
米價ヲ著シク低落スルト云フコトハ東
郷サンノ御承知ノ通りデアリマス、故
ニ對策トシテハ、朝鮮カラ入ッテ來ル米
ヲ、出來ルナラバ月割平均ニ入レタイ
ト努力致シマシタガ、月割平均トハ參
ラナカッタノデアリマシタ、併シ昨年ノ
朝鮮ノ豐作ハ内地以上ノ豐作デアリマ
シテ、朝鮮カラ内地ニ移入スベキ分量
ハ約九百萬石ト唱ヘラレテ居リマス、
御承知ノ通り一昨年ハ五百萬石ヲ中心
トシタ程度デアリマスガ、朝鮮カラ更
ニ四百萬石モ多ク移入サレ、内地ノ米
作ハ平年作ニ比シテ六百八十萬石モ多
イト云フ、即チ朝鮮ト内地ダケヲ合セ
テモ、一昨年ニ較ブレバ一千萬石以上
多イト云フ此供給ノ高デアリマスルガ
故ニ、之ヲ總テ政府ノ力ニ依ッテ買上グ
ルト云フコトハ、恐ラクハ如何ナル内
閣デモハ困難デアラウト思ヒマス、

故ニ米穀法ハ出動致シマスルモノ、
國家ガ、出動スルト相俟ッテ色々ナ施設
ヲスル一ツトシテ、朝鮮カラ入ッテ來ル
米ノ入り方ヲ調節シ、相當ナ値合ヲ世
界各國ニ調査セシメマシテ、供給高ヲ
減ラス一ツノ案トシテ、輸出米ノ獎勵
ヲシテ、先刻申上ゲタ通り七十萬石ハ
既ニ外國ニ向ッテ行ッテ居ルノデス、ソ
レカラ外國カラ入ッテ來ル米ハ今年ハ
殆ドナイ、一昨年ハ朝鮮臺灣内地ヲ合
セテマア二百萬石足ラズ入ッテ居ッタノ
ヲ、之ヲ二十五萬石乃至三十萬石位ノ分
量ニ堰キ止メルト云フヤウナ意味合ヲ
以テ、此一千八十萬石餘ト云フ米ノ中、
輸出ニ依ッテ出來ルナラバ百萬石減ラ
シ、輸入ヲ防止スルコトニ依ッテ約二百
萬石ヲ減ラシ、朝鮮カラ入ッテ來ルモノ
ヲ調節シテ、一時ニ殺倒スルコトヲ防
グ、此政策ノ外ニ、從來執ラザリシ——
從來嘗テ執ラザリシ新シキ施設トシテ
四百六十萬石ノ初、玄米ニ直シテ二百
三十萬石ヲバ端境期マデハ賣出サセヌ
努力ヲ致シタノデアリマス、御承知ノ
通り歷代ノ内閣ノ中ニハ、國立倉庫ニ
政府ガ米穀法ノ出動ニ依ッテ買入レタ
分量ハ極メテ少クシテ、例ヘバ其時ノ、
其米穀會計年度ノ出來秋ニ向ッテ、七百
萬石乃至八百萬石ハ市場ニアルト云
フ殘存米ヲ七八百萬石ト見積ッタ時代
モ相當多イノデアリマス、併シ私共ハ

農村ノ今日ノ不況ノ際ニ於テ、當年ノ
端境期ニ於テ自由ニ賣買セラレル所ノ
殘存米ヲ七八百萬石ト積ルコトハ、對
策カラ見マシテモ、農家經濟ヲ緩和ス
ル點ニ於テモ宜シクナイト云フ點カ
ラ、今ノ計畫ハ當年ノ端境期ニ於テハ、
自由ニ賣買セラレル分量ハ多分三四百
萬石ノ間ト私ハ記憶シテ居リマスガ、
ソレ位ニ、米價ヲ下落セシムル原因ヲ
出來ルダケ取除イテ居ルノデアリマス
ルカラ、第二回ニ買ヒマシタ百萬石ハマ
ダ政府ノ手ニ入ッテ居リマセヌ、マダ
民間ノ自由供給高ノ中ニ這入ッテ居リ
マス、ソレガ遠カラズ政府ノ手ニ入
リマシテ、自由ニ賣買セララル、所ノ
市場ノ米價ヲ、直接ニ米價ニ影響スル
分量以外ニ、除カル、ト同時ニ、先般
來ヤッテ居リマスル所ノ穀貯藏ガ漸次
進行シテ參リマスルト、先刻申シマシ
タ通り當年ノ端境期ニ於テ自由ニ市場
ニ賣買セラル、殘存米ト云フモノハ、
從來ニナイ少ナイ分量ト相成ルト考ヘ
テ居リマス、モウ少シ御待チ下サレバ、
私ハ此米價モ相當ナ程度マデ維持セラ
レルコト、考ヘテ居リマス、大體昨年
以來執リマシタ米價對策ノ骨子ダケヲ
私カラ申上ゲテ置キマス
○東郷委員 次ニ御伺致シタイト思ヒ
マスコトハ、詰リ今日ノ此米價、之ヲ
以テシテハ政府ガ御獎勵ニナッテ居ル

國營開墾、或ハ耕地整理開墾助成、或ハ自作農創定、斯ウ云ツタヤウナ農業施設、農業政策ノ遂行ニ非常ナ故障ヲ來シテ居ルコトニナツテ居ラナイダラウカ、例ヘバ國營開墾ガ私ガ御説明申上ゲルマデモナク、工費ハ段當リ二百五十圓トシテ、米價ハ一石三十圓、斯ウ云フヤウナコトヲ基礎トシテ御見積リニナツテ居ルシ、ソレカラ耕地整理開墾助成ナド、云ツタモノハ、段當リ工費ガ平均百七十五圓、其内田ハ平均二百二十圓、畑ハ百三十圓、最高七百圓、斯ウ云フコトニシテ、御計畫ニナリ、

サウシテ米價モ二十七圓、斯ウ云フコトカラ出發シテ居ルヤウニ記憶致シテ居リマス、自作農創定ノ維持計畫モ、是ハ段當リ四百圓ト云フヤウナ見當ニシテ、サウシテ借入償還ノ基礎モ米價ヲ二十六圓乃至三十圓、斯ウ云ツタコトデ資金ノ融通ガ出來テ居ル、斯ウ云フ建前ニナツテ居ルノデアリマスカラ、既ニ資金ノ償還ニ當ツテ居ルモノモアルシ、又事實私共ノ知ツテ居ル所ヲ申シマシテモ、サラヌダニ開墾等ノ事業ガ豫定ノ仕事ガ進マナイデ非常ニ困難ヲシテ居ル、財政的ニ非常ナ窮地ニ陥ツテ居ル事例モ少クナイノデアリマス、是ハ私申上ゲルマデモナク當局デ十分御調査ノコトデアリマスガ、サウ云フノデアリマスカラ、サウ云ツタ高

想スルコトノ出來ナカッタモノデアリマスガ故ニ、本年ニ於キマシテハ甚ダ困難ナ事情ニ陥ツテ居ルト云フコトハ、否ムベカラザルコトデアリマス、ソコデ耕地整理ノ方、是ハ耕地整理組合ヲ以テ實行致シマスル開墾等モ含ミマシテ、耕地ノ改良擴張ニ對シマシテ出テ居リマスル資金ノ額ガ、凡ソ一億二千萬圓バカリアラウカト想像致シマス、ソレ等ノモノ、本年ノ償還額ト云フモノガ寔ニ困難ヲ感ズルト云フヤウナ次第デアリマス、又自作農創定ノ方ニ融通致シマシタル資金ニ付キマシテモ、本年ノ償還ニ付テハ御話ノヤウナ困難ガアルノデアリマス、ソコデ之ニ付テハ農林大臣ヨリモ屢々御話ガアリマシタヤウニ、大藏大臣ト直接色々御話合ヒガアリマシテ、何トカーツ考慮ヲシテ方法ヲ付ケタイト云フコトヲ御相談ニナツテ居ル次第デアリマス、私共ト致シマシテモ斯ウモシタラドウカト云フヤウナ案ハ二三立テマシテ、一方大藏省、一方遞信省等ニ事務的ニモ色々相談ヲ遂ゲテ居ル譯デアリマス

○西村委員長 ドウデスカ、委員長トシテハモウ少シ續ケテ戴キタイガ、折角胎中サンカラア、云フ御動議ガ出タノデスガ、如何デスカ——ソレデハ今日ハ胎中サンノ御發議モアリマスカラ、此程度デ散會シマシテ、ソレデ明後日ハ午前十時カラ開クコトニ致シマス

午後五時四十一分散會

○石黒政府委員 只今東郷サンノ御話ノ點ハ、御話ノヤウニ中々農家ノ困難ト云フコトハ各地カラ申シテ參ッテ居リマスシ、私共モ承知シテ居リマス、ソレ等ニ對シマシテハ平常カラ成ベク米價ノ見積リ、數年平均ノ見積リ以テ計畫ヲ立テサセルヤウニト云フコトニ、指導ノ方針ヲヤツテ來テ居リマス、隨ヒマシテ過去ノ米價其モノヲ、其年ニ取ツテヤツタト云フヤウナコトハナイノデ、數年ノ平均デアリマスカラ、思ッタヨリモ安イ米價ヲ基ニ致シマシテヤツテ居リマス、ノミナラズ償還ニ付キマシテ成ベク萬一ノコトニ備ヘルヤウニ相當ノ準備ヲサセテ置クト云フコトモ、一方獎勵ヲシテ居ルノデアリマス、併シ是ハ多クノ組合ガサウ云フ準備ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲルノデハナイノデアリマスガ、サウ云フ方針デ獎勵ヲシテ來テ居リマス、ニモ拘ラズ本年ノ米價ノ低落ト云フモノハ、到底豫

想スルコトノ出來ナカッタモノデアリマスガ故ニ、本年ニ於キマシテハ甚ダ困難ナ事情ニ陥ツテ居ルト云フコトハ、否ムベカラザルコトデアリマス、ソコデ耕地整理ノ方、是ハ耕地整理組合ヲ以テ實行致シマスル開墾等モ含ミマシテ、耕地ノ改良擴張ニ對シマシテ出テ居リマスル資金ノ額ガ、凡ソ一億二千萬圓バカリアラウカト想像致シマス、ソレ等ノモノ、本年ノ償還額ト云フモノガ寔ニ困難ヲ感ズルト云フヤウナ次第デアリマス、又自作農創定ノ方ニ融通致シマシタル資金ニ付キマシテモ、本年ノ償還ニ付テハ御話ノヤウナ困難ガアルノデアリマス、ソコデ之ニ付テハ農林大臣ヨリモ屢々御話ガアリマシタヤウニ、大藏大臣ト直接色々御話合ヒガアリマシテ、何トカーツ考慮ヲシテ方法ヲ付ケタイト云フコトヲ御相談ニナツテ居ル次第デアリマス、私共ト致シマシテモ斯ウモシタラドウカト云フヤウナ案ハ二三立テマシテ、一方大藏省、一方遞信省等ニ事務的ニモ色々相談ヲ遂ゲテ居ル譯デアリマス

○東郷委員 今日ハモット御進行ニナリマスカ

○胎中委員 ドウデゴザイマセウ、東郷君ノ質問モ段々進ンデ來マシテ、聞ク所ニ依レバ是カラ米穀法ニ入ルヤウデゴザイマスガ、今日ハ是デ散會ヲサ